

平成 28 年度

事業報告書

社会福祉法人 至泉会

法人本部

法人本部

1. 概況

(1) 運営面について

通所施設では、出席（通所）率をいかに上げるか、また入所施設では入所定員の確保をいかにしていくのかということを目標に運営をしてきましたが、あけぼの園は職員の欠員が埋まらず受け入れる園児を昨年度に比べて減らしたため収入が減少しました。すこやか園は、昨年度に比べて契約者数が少ない状態でスタートし、グループ編成を見直したり、登園日を増やしたりしましたが、幼稚園等との並行通園をしている園児や家族の都合で欠席する園児がいるグループは、出席率が低かったこともあり、全体の延べ利用人数は昨年度に比べて361名少なくなり、収入は減少しました。ソーレ平塚地域支援センターは、昨年度に比べて体調不良や入院、施設入所により通所者が減少し、当初の見込みより減収することになってしまいました。精陽学園は、今年度は成人サービスへの移行支援により高卒者は1名となり6月から満床となり、年間を通じて50名の入所が継続できました。入所児童は男児が多く、今後、男児は居室の関係で受けることが難しい状況です。そのため関係機関には、なるべく女児、もしくは男児であれば幼児を紹介してくれるようお願いしています。ソーレ平塚においては、利用者の高齢化に伴う体調不良により入院が多くなり、毎月数名が入院している状態であったのと、体調不良等による退所者が出た後、入所候補者が中々決まらなかったこともあり、5月から7月まで定員に空きがある状態が続きましたが、8月以降は満床状態が継続できました。

(2) 職員採用について

今年度も年度途中での欠員（保育士、生活支援員、看護師）補充ができない状態が一部の施設で続き、療育や支援等に支障が出ている状況があり、インターネットでの求人、派遣、人材紹介等を活用して募集していますが良い人材が見つからず苦慮しているところです。

(3) 相談支援について

計画相談支援は、あけぼの園、ソーレ平塚生活支援センター、すこやか園において実施していますが、年々相談件数が増え、かつ相談内容も多様化してきており、質の高いサービスを提供するため、相談員の質の向上と地域ネットワークの形成等、他事業所等との連携がより必要になってきています。年度途中にすこやか園のパート相談員が退職したため、10月にソーレ平塚地域支援センター（ソーレ平塚生活支援センター）からすこやか園に相談員を1名異動させ、ソーレ平塚生活支援センターへはソーレ平塚ケアセンターから1名職員を

内部異動させ、相談業務に支障をきたさないよう配慮しました。

(4) 防犯・防災対策

当法人では、年度当初の事業計画に示してある法人の基本理念を念頭に利用児者の安心と安全を守り、療育や支援等の各種サービスを提供することを目標としてきました。そんな中、津久井やまゆり園の事件が起こり、各施設で応急の対策は取りましたが、これまで前例のなかった事件であり、どのような対策をとることが良いのか、法人内でまだ検討している状態です。また、近年、地震や台風の被害が多く出ていますが、今年度はソーレ平塚において8月に台風9号が関東地方に上陸した際、近くの川が警戒水位を超えたため、利用者を2階に避難させました。これまでは、避難訓練はしても実際の台風で避難するということはありませんでしたが、昨今の異常気象や地震の発生を考えるとより具体的な避難計画等を作成しておかなければならないと感じさせられました。

(5) 設備改修・改善

各施設とも経年劣化に伴う建物や設備の補修・交換工事や交換が増えています。大きな工事では、今年度、ソーレ平塚において昨年度内に工事が行えなかったナースコール設備の更新工事を行いました。また、同様に昨年度内に導入できなかった記録ソフトを今年度導入し、職員の業務の軽減と情報の共有に大いに役立っています。あけぼの園では、電話のリース契約が切れるのに伴い、新たなリース契約と合わせてインターネットのウィルス対策用機器（UTM）を購入しました。また、精陽学園では、高圧受電設備の自家用波及事故防止のために漏電遮断装置（PAS）を設置しました。

2. 平成28年度 経営目標

(1) 法人の基本理念に基づく療育及び支援の充実

利用児者が安心して通ったり生活したりできるよう、本人や家族の意見を聞く等、利用児者が主体の療育や支援を行うように努めました。また、地域のニーズに応えるべく、短期入所、日中一時支援、タイムケア事業の充実に努め、重症心身障害児や医療ケア等の処遇困難な利用児者を積極的に受け入れましたが、あけぼの園において職員の欠員が埋まらず9月から日中一時支援を一時休止しましたが、年度内に職員が確保できたので、来年度は、再開する予定です。また、ソーレ平塚においても常勤看護師の補充ができなかったのとアルバイトの夜勤看護師がダブルワークをしている関係で障害福祉サービス等地域拠点事業・障害福祉サービス地域ネットワーク強化事業（湘南西部あんしんネット）の実施に必要なシフトを組めず、十分な受け入れができませんでした。

あけぼの園の療育は一昨年11月に不適切なかかわりと疑われるようなことがあったため、昨年1月にプロジェクトチームを立ち上げ、療育の見直しを行い、4月から新しい療育をスタートし、試行錯誤しながら療育を行ってきましたが、この一年で職員の意識も変わり園児と職員が喜びや楽しみを共有することが増え、少しずつ新しいあけぼの園の療育の形が作られてきました。

(2) 職員の育成、人事考課の実施、メンタルヘルス予防、法定雇用障害者数の達成

人事考課は、昨年度が見直しの時期でしたが大きな変更はなく、6月に昨年度の後期分を実施し、12月に今年度の前期分を実施しました。

ストレスチェックは、本来対象とならないあけぼの園とすこやか園も含め、法人内の全施設を対象として実施しました。また、今年度より、あけぼの園とすこやか園にもおいても精陽学園とソーレ平塚で委託契約している産業医にお願いして年に2回訪問していただき、ストレスチェックの結果診断と職員や職場の安全衛生管理の指導をしていただくようにしました。

昨年度、すこやか園において4月から2名の知的障害者を清掃員として雇用しました（1日4時間：週5日）が、今年度は、7月にソーレ平塚において1名身体障害者を支援員補助として雇用（1日4時間：週5日）しましたが、この方の採用で法人全体での法定障害者雇用数を達成することができました。3名とも欠勤することなく元気に働いています。

(3) 利用定員の確保を行い安定した経営を行う。

あけぼの園では、職員の欠員が続き園児の受け入れを制限したこともあり、月平均の在園園児数が昨年度に比べて減少したため収入が減少しました。すこやか園においては、昨年度、卒園児が多かった影響で昨年度に比べて契約者数が少ない状態でスタートし、グループ編成を見直し登園日を増やしたりしましたが、概況で述べたような理由から利用人数が減少し減収となりました。精陽学園においては入所者が6月から満床になりましたが、定員ぎりぎりを推移しており厳しい状況だったため、短期入所を多く受け入れて補うようにしました。ソーレ平塚においては、5月、6月、7月以外の月は、定員は充足していましたが毎月1名程が入院をしていたのと退所者が出た後、すぐに入所者が決まらなかったため、当初の見込みより若干収入が減少しました。

(4) 各施設の防災対策等の危機管理並びにリスク管理の充実

各施設は、事業計画に則り防災訓練を実施すると共に、法人として森社会保険労務士を招き総括安全衛生委員会を9月と2月に開催し、各施設の熱中症・感染症対策、安全衛生状況、労災状況、ストレスチェック実施状況を確認し、併せてソーレ平塚とすこやか園の防災設備、備品、職場内環境の点検を行いま

した。さらに今年度は、津久井やまゆり園の事件を受けて、法人内の事業所でのような対策をしたら良いのか検討し、すこやか園に防犯ベルを設置し、精陽学園では、防犯用玄関鍵を取り付けました。また、警察署と情報を共有し、平塚市と伊勢原市の警察署が主催した防犯訓練に参加し、各施設でも警察署員を呼んで防犯訓練を実施し、実際にどのような対応をしたらよいのかを学びました。

防災については、施設ごとに日ごろから地域との関わりを大切にして、地域の自治会や防災組織と連携をとるように努め、災害時に地域で孤立しないようにしています。

(5) 法令遵守に基づく法人運営、情報の公開、組織の強化、社会貢献活動の実施

会計については、毎月、八木時雄税理士事務所の会計指導を受け適正な会計処理が行われているかどうかを指導していただきました。

今年度も法人機関紙「しせん（第3号）」を発行し、各施設の現況ならびに法人の事業報告及び決算報告を掲載しました。また、法人と全国経営協会のHPに法人の事業報告ならびに決算報告、監事監査報告を掲載しました。

各施設の組織を強化し、円滑な運営を行うため、あけぼの園に副園長を新たに配置しました。

社会貢献活動は、以下の活動を行いました。①独居老人への配食サービス（精陽学園）、②神奈川県特別支援学校PTA役員会、金田地区地域史研究会等へのレインボーホールおよび会議室の開放（ソーレ平塚、およびケアセンター）③保護観察対象者の社会貢献活動の受け入れ（ソーレ平塚、およびケアセンター）。

(6) 理事長の交代と社会福祉事業振興資金連帯保証人の変更

これまで法人設立から理事長を務めてきた森三郎氏が11月19日をもって退任し、同日付でソーレ平塚地域支援センター長の辻隆造氏が新理事長に就任しました。森前理事長は、新定款が認可された後、新たに顧問に就任し、法人の運営等についてのサポートを担うことになりました。

また、理事長の交代に伴い社会福祉事業振興資金連帯保証人の変更を行い、新たに辻理事長と清水常務理事が保証人となりました。

(7) 社会福祉法改正に向けての対応

平成29年4月から大きく変わる社会福祉法改正に向けて、法人本部が中心となり各種セミナーへ参加したり、改正について直接県に話を聞いたりして4月からスムーズに移行できるよう対応しました。なお、新定款は、平成29年2月13日に認可されました。そして、新定款が認可された後の平成29年3月

10日に新評議員を選任するための評議員選任・解任委員会を開催し、4月1日からの新評議員を選任しました。

2. 理事会開催状況及び主な議題

(1) 平成28年5月21日(土) 場所：秦野市文化会館

- ①平成27年度 事業報告
- ②平成27年度 決算報告
- ③平成27年度 監事監査報告
- ④ソーレ平塚車両購入について

(2) 平成28年11月19日(土) 11:00~12:00 場所：秦野市立北公民館

- ①平成28年度 上半期事業報告
- ②ソーレ平塚車両の購入について
- ③平成28年度 資金収支補正予算について
- ④評議員の退任、新評議員の選任について
- ⑤規程の変更について

(3) 平成28年11月19日(土) 12:00~12:15 場所：秦野市立北公民館

- ①理事長の選任について

(4) 平成28年11月19日(土) 14:00~15:00 場所：秦野市立北公民館

- ①役員・評議員報酬等既定の変更について
- ②定款の変更について
- ③評議員選任・解任委員会運営細則の制定について
- ④評議員選任・解任委員の選任について
- ⑤平成29年4月1日からの新評議員の推薦について
- ⑥規程の変更について
- ⑦その他

(5) 平成29年1月31日(火) 14:00~15:00 場所：あけぼの園

- ①神奈川県指導監査並びに実地指導の結果について
- ②社会福祉事業振興資金連帯保証人の変更について

(6) 平成29年3月19日(土) 場所：精陽学園

- ①平成28年度 補正予算について
- ②規定の変更について
- ③理事・評議員の退任、新理事の選任、新評議員の就任、顧問の選任について
- ④平成29年度 事業計画について
- ⑤平成29年度 収支予算について

3. 評議員会開催状況及び主な議題

(1) 平成28年5月21日(土) 場所：秦野市文化会館

- ①平成27年度事業報告
- ②平成27年度決算報告
- ③平成27年度監事監査報告
- ④ソーレ平塚車両購入について

(2) 平成28年11月19日(土) 10:00~11:00 場所：秦野市立北公民館

- ①平成28年度 上半期事業報告
- ②ソーレ平塚車両の購入について
- ③平成28年度 資金収支補正予算について
- ④理事(理事長)の退任、新理事の選任について
- ⑤規程の変更について

(3) 平成28年11月19日(土) 13:00~14:00 場所：秦野市立北公民館

- ①理事長の選任について
- ②役員・評議員報酬等既定の変更について
- ③定款の変更について
- ④評議員選任・解任委員会運営細則の制定について
- ⑤規程の変更について
- ⑥その他

(4) 平成29年3月19日(土) 場所：精陽学園

- ①平成28年度 補正予算について
- ②規定の変更について
- ③理事・評議員の退任、新理事の選任、新評議員の就任、顧問の選任について
- ④平成29年度 事業計画について
- ⑤平成29年度 収支予算について

4. 評議員選任・解任委員会開催状況及び主な議題

実施日：平成29年3月10日(金) 場所：ソーレ平塚

内 容：平成29年4月1日からの新評議員の選任について

5. 監事監査の実施

実施日：平成28年5月17日(火) 場所：ソーレ平塚

内 容：平成27年度事業報告及び決算の監査

6. 内部監査の実施

実施日：平成 28 年 11 月 25 日（金） 場所：すこやか園

内 容：すこやか園の利用児・者への支援、請求事務等の監査

7. 法人内表彰および外部表彰

(1) 法人内表彰

①法人功労表彰

氏 名：森 三郎 氏（前理事長）

内 容：理事長として、法人設立からこれまでの施設運営に対する多大な功績
を称え顕彰した

②法人永年勤続表彰

対象者：17 名

内 容：勤続 7 年、10 年、15 年、20 年、30 年の職員の表彰

③法人特別表彰

氏 名：米満 妙子 氏（すこやか園）

内 容：アルバイト看護師として、多年にわたりすこやか園に通所する園児、
利用者の健康管理に務めたことを称し、顕彰した

(2) 外部表彰

①全国社会福祉協議会

内 容：厚生労働大臣表彰

氏 名：重野 美樹 氏（精陽学園）

②神奈川県社会福祉協議会

内 容：県社協会長表彰（15 年以上永年勤続者表彰）

氏 名：加藤 尚通 氏（ソーレ平塚生活支援センター）

下前 満喜子 氏（すこやか園）

③関東・甲信越地区身体障害者施設協議会

内 容：表彰（10 年以上表彰）

氏 名：福井 朱美 氏（法人本部）、加藤 雪子 氏（ソーレ平塚）

吉川 千代子 氏（ソーレ平塚）、奥野 昭子 氏（ソーレ平塚）

8. 債務の返済状況

(1) 元金

借入先	借入総額	借入残高 (H28. 4. 1)	償還金	借入残高 (H29. 3. 31. 現在)
神奈川県 社会福祉協議会	10,000,000	3,000,000	500,000	2,500,000
独立行政法人 福祉医療機構	286,000,000	28,600,000	14,300,000	14,300,000
合 計	296,000,000	31,600,000	14,800,000	16,800,000

(単位 円)

(2) 利子

借入先	償還金利子 (H28 年度予定額)	償還金	償還金利子残高 (H29. 3. 31 現在)
独立行政法人 福祉医療機構	657,800	657,800	0

(単位 円)

9. 会議・委員会・職員研修会の開催

(1) 経営会議

実施日：毎月1回

内 容：法人の課題検討、各施設の運営状況等

(2) 事務員会議

実施日：平成28年8月31日(水)

場 所：ソーレ平塚

内 容：会計処理の仕方について

(3) 総括安全衛生委員会

①実施日：平成28年9月9日(金)

場 所：ソーレ平塚

内 容：各施設の熱中症対策、感染症予防対策、感染症の発生状況、その他の安全衛生について

労災事故の発生状況について

防犯・防災対策について

ストレスチェックの実施状況について

ソーレ平塚の防災設備・備品・職場内環境の点検

②実施日：平成 29 年 2 月 17 日（水）

場 所：すこやか園

内 容：各施設の防犯対策について

各施設の感染症予防対策、感染症の発生状況、その他の安全衛生について

労災事故の発生状況について

防犯・防災対策について

すこやか園の防災設備・備品・職場内環境の点検

ストレスチェックの結果について

(4) 表彰・懲戒委員会

①実施日：平成 28 年 4 月 26 日（火）

場 所：ソーレ平塚

内 容：あけぼの園職員の「新療育の保護者への説明会」での不適切な言動についての審議及び当該職員への聞き取りを実施し、理事長へ意見を具申しました。

理事長は、委員会からの具申を受け、就業規則第 77 条及び第 78 条の規定に基づき懲戒処分（譴責）を決定しました。

②実施日：平成 29 年 1 月 17 日（火）

場 所：ソーレ平塚

内 容：永年勤続表彰、次年度の外部表彰推薦について

(5) 法人機関紙編集委員会

実施日：平成 28 年 5 月 20 日（金）、平成 28 年 7 月 8 日（金）

平成 28 年 8 月 8 日（月）

場 所：ソーレ平塚

内 容：法人機関紙「しせん」第 3 号の発行および発行に向けての打合せ

(6) 社会保険労務士との打ち合わせの実施

実施日：不定期

場 所：ソーレ平塚

内 容：社会保険、就業規則、労災、職員採用等の相談

(7) 税理士による会計指導の実施

定例打ち合わせ

実施日：月 1 回及び決算時期

場 所：ソーレ平塚

内 容：社会福祉法人会計の指導、月次巡回監査、決算業務指導

TKC経理ソフト導入による委託契約

(8) 法人新採用（1年目）職員研修

実施日：平成29年3月15日（水）

場 所：ソーレ平塚

内 容：法人全体の理念の理解、不適切なかかわりをしないため、虐待防止についての再確認をする、組織の一員としての立場と役割の理解、仕事上の悩みや課題の共有を通して自己の成長を促し、療育や支援の向上につなげる、人が人を支援することの意味を考える

10. その他

(1) 寄付金 7件…140,000円

(2) その他の会議、研修等への参加状況

実施日	内容	会場	参加者
平成28年4月1日	法人辞令交付式	ソーレ平塚	理事長他
平成28年4月1日	法人新採用職利エンタージョン	ソーレ平塚	理事長他
平成28年4月4日	法人永年勤続表彰式	ソーレ平塚	理事長他
平成28年4月15日	かながわライフサポート事業総会	ホテルモントジ ャパン	常務理事
平成28年5月11日	社会福祉法改正に関する説明会	かながわ県民センター	常務理事
平成28年6月11日	第1回法人就職説明会	すこやか園	常務理事他
平成28年7月17日	寿徳会夏祭り	はだの松寿苑	常務理事他
平成28年7月22日	法人職員交流ボーリング大会	伊勢原ボウル	常務理事他
平成28年7月27日	社会福祉法改正に関するセミナー	ホテルモントジ ャパン	常務理事
平成28年8月6日	よるべ会納涼祭	わらべの杜	常務理事
平成28年8月12日	第1回福祉のしごとフェア	日石横浜ホール	常務理事他
平成28年9月22日	第2回福祉のしごとフェア	横浜文化体育館	常務理事
平成28年12月8日	社会福祉法改正に関する説明会	伊勢原市文化会館	常務理事他
平成29年1月6日	神奈川県賀詞交換会	ホテルモントジ ャパン	理事長他
平成29年3月17日	経営協経営者部会総会・研修	ホテルモントジ ャパン	理事長他

平成 28 年度

事業報告書

社会福祉法人 至泉会

あけぼの園

I 児童発達支援事業

1. 概況

平成 28 年度は療育内容の見直しを検討し始めて後の具体的な実施の年度となりました。また、個人情報管理という面でも改めて見直しをはかる等、今までのやり方を見直す良い機会となりました。

『あけぼの園療育プロジェクト』において、療育支援の骨子となる部分を見直す中、平成 28 年度を迎えました。具体的な実施方法においては、従来の療育の中で残すものと変えていくものについて、試行錯誤しながらのスタートであり、日々の支援を通して見直しを行いました。

個人情報の管理では、個人が特定される情報をどこまで盛り込むか、その情報をどこまでの範囲の人や団体等に伝えるかについて検討しました。機関誌『80センチ』については園児の写真のないものにし、配布を当園に関わる個人や団体に限定しました。卒園児文集については、執筆者のフルネームや日頃の療育場面の写真を入れたものにし、配布先を園児と法人内の各施設に 1 部としました。

また、10月の職員会議にて、“法人の基本理念の基に各施設の理念や運営目標がある”ことを基本に組織体系と、法人人材育成・職員研修の体系図を通し人材育成の考え方について確認しました。

2. 運営目標の取り組みについて

概況でも示したように、全体的には、従来の方法の残す部分と変える部分についてあいまいな中でのスタートなり、日々の支援の中での小さな変更の連続だったため、子どもにとっては分かりにくい環境での療育となりました。しかし一方では、個々の場面や職員との関わりの中で、子どもの“できた！”と思う気持ちを子どもと職員とが喜び合い、楽しさを共有することの多い一年でした。

『子どもの言動をどのように見て対応するか』については、嘱託医である児童精神科医の子どもへの助言や職員に対する解説を通して学び、個々の園児の支援に活かしました。また、個別支援計画の立案時に、一人ひとりの子どもについて大切なこと、および保護者のニーズを支援調整会議で検討・確認をして計画を立て、日々の療育に当たりました。

保護者に対しては、園のありのままの状態やわが子の様子を知ってもらうことを目的に、7月より3ヶ月間の試行期間を経て、ほぼいつでも療育の様子の見学ができるように変更しました。

3. 利用児の状況について

平成 28 年度は 8 月に在籍児 34 名となりましたが、1 名退園し、10 月以降は在籍児

が33名でした。

在籍児童の居住地は2市1町（秦野市、伊勢原市、二宮町）で、年齢は2歳児から5歳児でした。中でも、4歳児が一番多く、全園児の45.5%を占めました。（9ページ 表1-1および表1-2参照）。退園については途中退園児が1名、年度末の卒園児・退園児は12名でした（9ページ 表1-3参照）。

在籍児童のうち7名が居住地に近い幼稚園や保育園で交流保育を行いました。

また、在籍児童の状態については、9ページ 表1-5、10ページ 表1-6の通りでした。

4. 療育内容について

(1) 利用児の支援

①日々の支援について

1ページ、1、概況および2、施設運営目標を参照

②理学療法士の支援について

対象児8名、延べ33名が理学療法士の支援を受けました。

③個別支援

一人につき（内容：手先課題、弁別課題、粗大運動、歩行等）1回あたり45分間、年6回行いました。

④家庭訪問

新入園児および前年度中途入園児を対象に、5月に実施しました。

⑤交流保育

・秦野市立北幼稚園との交流保育

年間7回行いました。最初の5回は当園の5歳児を中心とした園児4～5名が幼稚園で1時間過ごし、残りの2回は幼稚園の5歳児が当園で1時間楽しみました。

・居住地交流

秦野市在住の園児4名を対象とした事業で、月1～2回1時間、幼稚園で過ごし、当園の職員も同行しました。

・その他の交流

伊勢原市保育サポート事業の利用、および保護者と幼稚園との契約で行う交流で、3名の園児が幼稚園・保育園と交流しました。

これらの交流保育を通して、対象園児の幼稚園や小学校での過ごし方のイメージができ、保護者が進路選択をする参考となりました。

(2) 保護者支援

①保育参加と父親保育参加

6月に保護者が療育に参加をする保育参加を、9月に父親に限定した療育参加を実施し、保護者に療育を実感していただきました。2月の保育参加は、クラスごとに横浜八景島シーパラダイスに行き、イルカショーを見学する等、楽しいひとときを過ごしました。

②保護者面談

個別支援計画立案のために保護者の意向を聞くことと、当期の支援の評価、確認等を行うことを行いました。1人につき、概ね年3回実施しました。

③講演会

芳賀デンタルクリニック院長芳賀定先生に『子どもたちの「食べる力」は「生きる力」の原動力』をテーマに講演していただきました。

当園囑託医で横浜市東部療育センター所長の大屋彰利先生に『発達の遅れや偏りのある子どもの心と環境や対応』のテーマで講演していただきました。

(3) その他

①内科検診

4月と9月に、囑託の小児科医に園児を診ていただきました。

②歯科検診

6月と11月に、秦野伊勢原歯科医師会のご協力を得て実施しました。園児の検診の後、同席した保護者へアドバイスをしていただきました。

③身体測定

隔月で行いました。

④給食

委託業者の富士産業(株)の職員と連携を図り、日々の給食の提供を行いました。月1回の給食会議で、翌月の給食や懸案事項の検討や確認をして園児に給食を提供しました。

手や腕の動きが不十分で、通常の皿ではスプーンで食材をすくうことが困難な園児に対して、園で購入した食器を厨房で管理してもらい、園児の給食支援に活かしました。

⑤行事について

12ページ、表2-3を参照

5. 組織等

組織図については、13ページ、表2-4を、職員構成および異動については、表2-5を参照

6. 委員会・会議

職員が共通認識して業務ができるよう職員会議、療育会議、クラス会議を月1回行いました。また、園の運営が円滑に遂行するために運営会議を、療育に関する懸案事項の検討をクラス運営会議で必要に応じ行いました。委員会については、それぞれの委員会（安全衛生委員会、リスクマネジメント委員会、防災建物管理委員会）で頻度を決めて実施しました。

園児の支援については、個別支援計画立案のために、支援調整会議を園児1名につき、前期1回後期1回の2回実施しました。

7. 研修等

(1) 内部研修

臨床心理士（嘱託職員）より、療育支援について3回講義を受けました。また、児童発達管理責任者が12月より月1～2回、子どもの発達についての勉強会を行いました。

(2) 外部研修

昨年に引き続き、幼児の療育支援を行っている横浜市東部療育センターと大和市第1松風園に、それぞれ2名ずつ2日間の実習に行きました。この実習は、次年度の療育支援の考え方と方法を検討する上で、職員の共通認識に役立つものになりました。

8. 衛生・安全・防災

(1) 衛生面について

給食中に園児が嘔吐をしたことがきっかけとなり、限りある職員での対応方法を見直しました。また、吐物処理グッズの内容と必要箇所の確認および追加をしました。このことが起こったのが冬で、溶連菌、インフルエンザ、O-157の流行する時期でもあったため、これをきっかけに消毒（ジェスパ：次亜塩素酸ナトリウム液）に力を入れ、排便後はもとよりトイレ使用后や給食の配膳前のテーブルへ消毒するようにしました。また、園児が登園する前の時間に各部屋や廊下・玄関ホールを、そして園児が使用した玩具を支援終了後の掃除時間に消毒するようにしました。

給食を作る富士産業（株）職員には、大量調理施設衛生管理マニュアルに基づき対応してもらいました。

害虫駆除を年2回実施しました。

(2) 安全面について

日々の支援の中で、事故につながりそうな出来事をヒヤリ・ハット報告書に、園児が怪我をした場合は怪我報告書に、そして事故が起こった場合は事故報告書に記載すると共に、日々の帰りの打ち合わせで共有を図りました。月1回の職員会議にて、1ヶ月の事故等が起こる時間帯、傾向並びに対応について確認しました。

また、パソコンのセキュリティ強化の機器を購入しました。

(3) 防災について

1ヶ月ごとに行う避難訓練は地震や火事を想定して実施しました。しかし、11月の県の監査にて「火事の訓練は1ヶ月に1回以上行うこと」という指摘があつてからは、園外に出ている園児やバスの送迎中に火事が起こったことを想定して訓練を実施しました。火事の際の非常ベルの音が届きにくい場所についても、職員間で共有しました。3月に大規模地震の際の園児の保護者への引き渡し訓練を実施しました(12ページ表 2-2参照)。

消防用設備器具の保守・点検・整備を年2回実施しました。

9. 関係機関との連携

(1) 当園への入園について

入園を視野に考えている保護者に対して、園の見学をしていただきました。見学までの手続きについては、市町の方法に基づいて行いました。

入園選考については、市町単位で希望者を出していただいて選考し、希望者の在住市町職員より入園の可否を伝えてもらいました。

入園が決まった子どもについては、所属先がある場合には保護者の了解を得た上で、所属先との引き継ぎを行いました。

(2) 就学について

就学予定先の市町や学校からの現状確認の見学や引き継ぎの申し出、あるいは前年度に就学した学校からの相談等に対応しました。

(3) 幼稚園への入園について

依頼に応じて、書面にて子どもの状況を伝えました。全員が、幼稚園に交流保育に行っていたため、交流保育を通して、幼稚園と当園とで子どもの状態の確認をしました。

(4) その他

秦野市については自立支援協議会こども部会、就学指導委員会および社会福祉協議会施設部会に、職員が委員として出席しました。また、保育の日のつどいに職員が参加しました。

児童発達支援関係では、圏域児童通所連絡会に出席して、各施設の状況や問題点等を認識しました。

10. その他

(1) 指導監査・実地指導について

平成28年11月16日に神奈川県障害福祉課の実地指導・指導監査を受けました。

実地指導では、平面図の変更の届け出が速やかになされていないことについて、文書での指摘を受けました。指導監査では、消火訓練を月1回以上実施することについて文書指摘を受けましたが、いずれも、速やかに改善をしました。指導監査の指摘事項については、理事会に報告し、その議事録の写しを添付して神奈川県障害福祉課に提出しました。

(2) ボランティアについて

秦野市北地区民生委員児童委員協議会の方が、月1回、園児と関わりを持ち、運動会やクリスマス会でお手伝いをしてくださいました。

また、ボランティア団体『おはなしころりん』が、年3回、来園してパネルシアターや手遊び・歌遊び等の楽しい企画をして、園児と一緒に楽しく過ごしてくださいました。

個人ボランティアの方も園児と関わってくださいました。

(3) 実習生・他機関見学者

東海大学医学部の学生が2クールに分かれ、2名ずつ1週間、実習に来ました。

12月に、秦野市たんぼぼ教室職員4名が地域の社会資源を知るために、来園されました。

(4) 広報活動

ホームページを月1回更新しました。

機関紙『80センチ』と卒園児文集『あけぼの』を年1回ずつ発行しました。

(5) 職員の健康管理

今年度よりストレスチェックを開始することに伴い、ソーレ平塚の産業医である前田医師に当園の産業医になっていただきました。ストレスチェックの質問紙への回答を通し、職員の心身の状態について、確認していただきました。

健康診断とインフルエンザ予防接種を例年通り、年1回実施しました。

(6) その他

①寄付金 10件 総額 279,700円

Ⅱ 日中一時支援事業

1. 概況

昨年度に引き続き就学児については休止した状態で、昨年度からの在籍児 16 名でスタートしました。その後 2 名増え、18 名の在籍で事業を行いました。

担当職員の退職に伴い、一部市町における職員配置基準を満たさなくなる中、新たな職員の採用のめどが立たず、新入園児を受け入れることが困難となりました。また、特定の市町に在住の児童だけが利用するのは適切かどうかという公正性の観点から、9 月に事業の休止をしました。

その後、12 月に職員の採用はできましたが、園や園児に慣れていないため、今年度の事業の再開を見合わせました。

2. 運営目標の取り組みについて

一日あたり 1～3 名と利用児が少なかったことから、利用児の興味・関心や体調に合わせて活動や玩具の提供をすることができました。降園時には、子どもの様子を保護者に伝え、自宅に帰ってからの過ごし方の参考にしてもらいました。

3. 利用状況

開設日や利用人数については、10 ページ 表 1-9 を参照

当園在籍児を対象として、療育後の預かりを行いました。利用理由は、母の就労やレスパイト、家族の通院、学校行事等でした。

Ⅲ 障害児相談支援・指定特定相談支援事業

1. 概況

今年度は新たな相談支援専門員が従事してスタートしました。在園児を中心に相談支援を行いました。在園児ではない地域の児童6名の相談支援およびサービス等利用計画の作成も行いました。

2. 運営目標についての取り組み

さまざまな考えやニーズを持った子どもやその保護者の相談に応じるには、幅広い見識が必要であるため、今年度は多数の外部研修に参加しました。あわせて施設見学をさせていただき、どこにどのような社会資源があるかについて確認することができました。

利用者の中には、複数の社会資源やサービスを利用されている方がおり、利用者と行政、サービス事業所とのパイプ役となり、ニーズにあったサービス事業所を探すため利用者と見学に行くよう努めました。必要に応じて、利用者（保護者）同席のサービス調整会議を開き、利用者が地域の中でより良く過ごせるよう各機関が共通認識できるように努めました。

3. 利用状況

平成28年度の契約者数は38名でした。その内6名が当園に在籍していない子どもですが、いずれもかつて当園を利用していた、あるいは兄弟が当園を利用している子どもでした。サービス等利用計画の作成およびモニタリングは、延べ101件対応しました。

資料1 利用者の状況

表1-1

居住地区別園児の状況 平成29年3月末日現在

	秦野	伊勢原	二宮	計
男	16	8	2	26
女	6	1	0	7
計	22	9	2	33

表1-2

年齢別園児数 平成29年3月末日現在

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
男	1	7	11	7	26
女	0	1	4	2	7
計	1	8	15	9	33

表1-3

市町別年度内入退園状況 平成29年3月末日現在

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
秦野	入所	5	2	1		1								9
	退所						1						5	6
伊勢原	入所	2	1											3
	退所												6	6
二宮	入所	1												1
	退所												1	0
入所計		8	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	13
退所計		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	12	13

表1-4

年度内退園園児の退所先 平成29年3月末日現在

就学による卒園			就学前卒園			転居	計
養護学校	小学校	その他	保育園	幼稚園	その他		
2	7	0	0	3	0	0	12

表1-5

知的分類 平成29年3月末日現在

	最重度	重度	中程度	軽度	境界線	不明	計
男	0	1	12	12	1	0	26
女	0	1	3	3	0	0	7
計	0	2	15	15	1	0	33

表1-6

介護度(全国知的障害児通園施設実態調査による分類)

平成29年3月末日現在

	1	2	3	4	5	計
食事	食べられないため食べさせてもらう	手づかみでは食べるがスプーンは使えない	手づかみやスプーンで食べる	スプーンやにぎりばしで食べる	箸を使って食べられる	
人	2	0	14	13	4	33
排泄	オムツを必要とする段階	大小便とも時間を決めてつれていく(失敗可)	大小便とも予告できる(失敗可)	大小便ともほぼ自立するが、後処理不完全	大小便とも自立	
人	0	20	6	6	1	33
着脱衣	すべて解除が必要(協力動作なし)	介助すれば協力しようとする	かんたんなものは自分で脱げる	着脱はほぼできるが、ボタンかけ等は困難	着脱ができ、ボタンかけ等も自分でできる	
人	0	9	15	6	3	33
移動	自力移動ほとんど不能	何らかの自力移動可能	独歩不能なるもつたい歩き可	独歩可能なるも危なかしい	歩行可能または不自由さはあるが皆と同様に歩ける	
人	0	0	1	3	29	33
言語	話せないし相手の言うことも分からない	話すことはできないが相手の言うことは分かる	身ぶりや声で表現しようとする	単語程度で意思交換可能	大体のことは言葉で通じあえる	
人	3	1	11	8	10	33
対人物関係	無関心、呼ばれても反応を示さない	呼ばれば反応を示す。特定の人や物には一応関心がもてる	人や物に関心をもち、表情や動作に表す	一方的ながら人や物に対して働きかけ、初歩的な関係がもてる	友だちの世話したり今日遊んで遊んだりもする	
人	0	4	13	10	6	33

表1-7

重複障害・合併障害の状況

平成29年3月末日現在

てんかん	2	聴覚障害	1
肢体不自由、運動発達障害	4	顕著な行動障害、行動異常	0
自閉症(広汎性発達障害)	15	その他(ダウン症等)・内部障害(循環器・呼吸器・消化器・泌尿器・代謝)	8
視覚障害(盲・弱視)	1		

表1-8

児童発達支援利用延べ人数

(単位 人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年度	開園日数	20	20	23	21	18	21	21	21	19	19	21	19	243
	初日在籍数	30	32	33	33	34	34	33	33	33	33	33	33	394
	延べ利用人数	530	539	670	593	499	606	580	584	474	484	584	533	6,676
平成27年度	開園日数	20	19	23	23	17	21	22	20	19	19	21	20	244
	初日在籍数	35	35	35	36	36	36	36	36	36	36	37	37	431
	延べ利用人数	621	599	700	707	497	620	696	617	616	587	628	599	7,487

表1-9

日中一時支援利用状況

日中一時支援(幼児)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数	16	16	18	18	18	—	—	—	—	—	—	—	—
開設日数	18	16	18	18	13	—	—	—	—	—	—	—	83
利用者延べ人数	31	39	42	39	35	—	—	—	—	—	—	—	186

資料2 施設運営の状況

表2-1

職員圏外研修

月日	内容	場所	受講者
5/25	障害支援区分認定調査研修	県総合医療会館	木村
6/29	どの子にも優しい子育てと保育	平塚市民活動センター	木村
7/15	発達障害の乳幼児木学齢期における支援体制について	平塚市勤労会館	木村
7/16	ケアマネジメントスキルアップ研修	海老名市文化会館	木村
7/23	相談スキルアップ研修—明日から活かせる実践研修	秦野市役所	木村
7/29~31	発達障害支援スーパーバイザー養成	日本財団大会議室	伊藤(み)
9/28・10/4・26	県相談支援従事者現任研修	県立保健福祉大学	木村
10/1	自閉症セミナー	すみだ産業会館	木村
11/18	発達障害児者等への医療の見たて	ひらつか市民活動センター	村上
11/6	摂食嚥下困難を持つ人への対応	フュージョンコムかながわ	村上
10/14・21	社会福祉法人会計簿記研修上級編	県社会福祉会館	山田
12/2	当事者研究の立場から考える自閉症	川崎市くさぶえの家	木村
11/10	福祉施設のためのリスクマネジメント	横浜馬車ビル	木村
11/11・21	他施設研修	横浜市東部地域療育センター	柴山
11/15・29	他施設研修	横浜市東部地域療育センター	安藤
12/14・15	児童相談所実地研修	平塚児童相談所	木村
12/26	実践報告研修会	県社会福祉会館	木村
1/6	発達支援全体研修	伊勢原市青少年センター	木村
1/11・13	他施設研修	第一松風園	古川
1/12	障害児相談支援の基本を学ぶ	男女共同参画センター横浜	木村
1/24	相談支援研修	県社会福祉会館	木村
1/26・27	他施設研修	第一松風園	武藤
1/27	制度を知り制度を生かす子育て支援	すこやか園	木村
1/28	明日から活かせる実践研修	秦野市東公民館	木村
2/1	防犯研修	ソーレ平塚	稲毛
2/2	自閉症スペクトラム支援の実際	県総合医療会館	木村
2/3	こうさい療育セミナー	弘済学園	千葉
2/18	ライフステージに沿った支援	相模女子大学	安藤・古川・武藤
2/24・25	全国施設管理者等研修	パシフィコ横浜	園長
3/2	日々の関わりこそ権利擁護の最前線	秦野市教育庁舎	木村
3/14	乳幼児の食べる機能・発達に応じた食事支援を行おう	保健福祉秦野センター	稲毛・村上・柴山
3/15	法人一年目研修	ソーレ平塚	宮川
3/15	法人新採用職員研修	ソーレ平塚	宮川

表 2 - 2

防災訓練

月日	訓練	出火想定場所	内容
4/20	地震		安全な場所での危険回避、点呼と状況確認
5/21	地震		安全な場所での危険回避、点呼と状況確認
6/17	火災	厨房	消防本部への火災発生模擬通報訓練・避難経路を経て南空地へ避難・避難誘導、点呼・出火場所への模擬消火訓練
7/27	火災	厨房	消防本部への火災発生通報訓練・避難経路を経て南空地へ避難・避難誘導、点呼・出火場所への模擬消火訓練
8/30	火災	1階倉庫	消防本部への火災発生模擬通報訓練・避難経路を経て玄関前に避難・避難誘導、点呼・出火場所への模擬消火訓練
9/30	火災	厨房	園外療育を数グループに分かれて行っている中で火災が起こった場合を想定し、職員への連絡、避難誘導
10/25	地震後の火災	厨房	園外療育を数グループに分かれて行っている中で地震があり、園内で火災が起こったことを想定しての職員への連絡、避難誘導、消防本部への火災発生模擬通報訓練、出火場所への模擬消火訓練
11/29	火災	厨房	登園便のバス運行の際の火災を想定してのバスへの対処方法の連絡、消防本部への火災発生模擬通報訓練、出火場所への模擬消火訓練
12/20	火災	職員室	消防本部への火災発生通報訓練・避難経路を経て南空地へ避難・避難誘導（園児1名を探してのもの→すぐに見つかる）、点呼・出火場所への模擬消火訓練
1/31	火災	職員室	消防本部への火災発生模擬通報訓練・避難経路を経て南空地へ避難・避難誘導、点呼・出火場所への模擬消火訓練、（屋上への非常ベルの届きにくさを共通認識）
2/10	火災	職員室	消防本部への火災発生模擬通報訓練・避難経路を経て南空地へ避難・避難誘導、点呼・出火場所への模擬消火訓練、（ひまわりの部屋へは非常ベルが届きにくいことを共通認識）
3/8	引取		非常災害を想定し、親に一般交通機関を利用した園児の迎えを依頼（連絡網を利用）
3/9	火災	職員室	消防本部への火災発生模擬通報訓練・避難経路を経て南空地へ避難・避難誘導、点呼・出火場所への模擬消火訓練、（子ども用トイレには非常ベルが届きにくいことを共通認識）

表 2 - 3

行事

月日	事業項目	付 記
4/4	入園のつどい	
7/21	おはなしころりん	
9/4	講演会	講師：芳賀定氏、場所：秦野市立北公民会
9/15	おはなしころりん	
10/8	運動会	場所：秦野市立北小学校
10/17	まきの木まつり	作品展示 場所：秦野市立北公民館
10/31	ハロウィン歩行	
11/5	講演会	講師：大屋彰利氏、場所：秦野市立北公民会
12/16	クリスマス会	場所：秦野市立北公民館
1/27	卒園児親子歩行	
2/2	おはなしころりん	
2/3	豆まき	
3/11	新入園児入園説明会	
3/24	卒園式	場所：秦野市立北公民館
10/17	秦野市福祉展	作品展示 於 秦野市民会館

※お誕生会 …毎月1回実施。

表 2 - 4 組織図

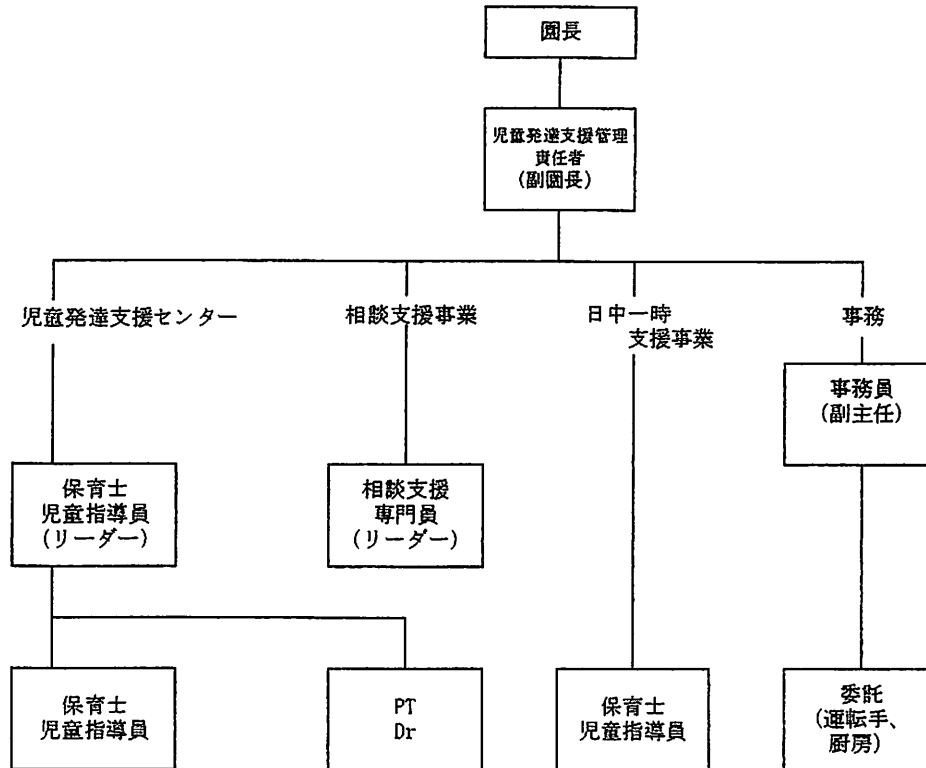


表 2 - 5

職員構成および異動

職 種	平成28年4月1日～平成29年3月31日								平成29年4月1日現在		
	法人内異動		採用			退職			常勤	非常勤	委託
	転入	転出	常勤	非常勤	委託	常勤	非常勤	委託			
園長 (管理者)										1	
副園長 児童発達支援 管理責任者	1								1		
主任		1									
児童指導員	1			2					8 (うち2名新採用)	3 (うち1名育休中)	
保育士			2	3 (うち1名派遣)		1	2 (うち1名派遣)		4 (うち1名新採用)	2	
相談支援専門員									1		
作業療法士											
理学療法士											1
小児科医師											1
精神科医											1
臨床心理士								1			
事務員									1		
合計	2	1	2	5	0	1	2	1	15	6	3

平成 28 年度

事業報告書

社会福祉法人 至泉会

精 陽 学 園

I 福祉型障害児入所施設

1. 概況

4月当初は48名の在籍で始まり、6月初旬より50名満床になりました。10月に退所があり、49名になりましたが、長期対応の緊急一時保護があり、実質的には50名の入所が継続しました。内訳としては、措置39名、契約10名（内成人契約1名）、緊急一時保護1名となっています。

移行支援では、平成25年度以降、20名が移行しています。内訳としては、施設入所支援（身障）5名、施設入所支援（知的）3名、療養介護施設（重心等）5名、自立訓練施設3名、グループホーム2名、大学進学（学生寮）1名、就職（職員寮）1名となっています。一人ひとりの障害の状況や進路希望に合わせた移行支援は、対象の幅が広く、複数回のカンファレンス、複数個所の見学、体験利用、事務手続き、心のケア、未成年後見人の申請等、多くの時間と人手のかかる作業になり、専任のファミリーケースワーカーと担当者等が連携して対応しました。

入所児童は、各児童相談所からの依頼と空き情報の連絡を行うことで、随時候補児童を把握し、県枠の割愛を柔軟に対応していただくことで調整が図れました。

職員体制は、昨年度不足していた児童指導員（保育士）の採用が4月に決まり、現場23名（役職者含む）体制が整いました。退職者はおらず、年度替わりの慌ただしさはなく、落ち着いた新体制でスタートすることが出来ました。幼児の日中対応を強化するために、パート職員を増加しました。他の部署では、調理員（準職員）、看護師（パート）の採用に時間がかかりましたが、予定人員を確保することができました。年末に1名私傷病欠勤の職員があり、適任者の補充が出来ず、年度内は欠員で対応しました。

2. 運営課題

(1) 平成28年度 運営目標の結果

① 児童の受け入れと高等部卒業生の地域移行

平均在籍数は、49,2人でした（昨年度49,0人）。入所児童は4件ありました。入所経路としては、家庭2名、乳児院1名、一時保護所1名となっています。入所理由は、虐待2件、父子家庭による介護困難、父親の疾病（長期療養）となっています。退所は、4件ありました。退所先は、療養介護施設（重心施設）18歳男性、家庭引き取り5歳女子、障害者支援施設（知的）18歳女性、自立支援施設18歳男性です。療養介護施設への移行では、家族の対応に課題があり、一度は見送られた経

過がありましたが、誠意を持って対応したことにより、円満に移行することができました。家庭引き取りは、虐待による入所ケースでしたが、家族の努力と、てんかんの治療の成果もあり、短期入所の定期的な利用及び、児童発達支援センター等への通所を前提に家庭復帰することが出来ました。その他、一般企業に障害者雇用として就労できた児童もいますが、当面職場に慣れる間は措置停止の対応を取っています。

高校3年生は5名在籍しており、3名は過齡児として待機することになりました。昨年度から継続している1名を加え、障害者支援施設3名(知的1名、身障2名)、家庭復帰(外国)1名の移行調整を継続的に行っています。

緊急一時保護は、5件(実質3名)延べ181日です(昨年度11件148日)。虐待の疑いによる措置入所を前提とした予定が、家族の同意を得ることが困難となり、5か月以上の長期対応が続いています。この間、家庭引き取りも学校に通学することもできず、対応困難になっています。他には、虐待による緊急一時保護入所から措置入所に切り替わったケースがありました。

②個別支援計画の推進と療育の実践

個別支援計画は、本人、ご家族の意向をしっかりと確認し、確認の取れない場合は、本人の状況をより配慮して考えることにより策定しました。本人の思いを取り入れ、具体的で実現可能な内容になるよう配慮し、クラス中心に日々の生活の中で実践しました。

ケース会議は、進路・進学や課題への対応について、また家族支援について等、個別の状況に応じてカンファレンスを開催しました。移行支援については、児童相談所、福祉事務所、相談支援事業所、学校等の関係機関が参加し、一人当たり複数回の会議を開催し、施設見学、体験利用、認定調査、サービス利用計画の作成等を実施しました。一般企業に就職した児童には、未成年後見人を選任しました。

③早期発見、早期対応の健康管理

平成28年4月より、小児科の夜間休日の二次輪番病院から平塚共済病院、東海大大磯病院が撤退し、平塚市民病院のみとなり、今後の緊急時に対応していただけるよう依頼しました。入院が必要な児童については、病院側にも適切に判断して頂き、スムーズな対応が来ています。また、肢体不自由児の身体機能の改善を目的とした入院、手術、リハビリについても、理学療法士と連携し進めました。

入院状況は、11件延べ116日でした。昨年度は、18件438日だったので大幅に減少しています。入院の内容は、疾患による入院は1件であり、原疾患に伴う整形外科の手術、リハビリ及び、検査が中心でした。

感染症の対応については、早期発見、早期対応、手洗いうがいの徹底、消毒液の

使用、清掃の強化等、全体への感染を予防してきました。また、昨年度から継続してコンサルタントを導入した感染症予防マニュアルの策定に取り組みました。9月の下旬にRSウイルスに罹患した児童がいました。また、1月末から2月にかけてインフルエンザA型の集団発生がありました。複数の通学先で発症している生徒から感染したと思われます。その後、内部で感染が広がりました。11月に50名中48名は予防接種を受けていますが、感染力が強く防ぐことが出来ませんでした。全員が軽症で治癒しました。

毎年2回の健康診断を行っていただいている小児科医師の変更を行いました。

④人権と権利擁護

虐待防止対策については、「支援者のための利用者虐待ハンドブック」を使用した自己チェックを行い、課題を取りまとめました。身体拘束については、個別支援計画と連動して行い、半期で見直しを行いました。

⑤家族支援と関係機関との連携

入所児童の家族との関わりについては、進路相談、家族の状況確認、兄弟姉妹との関係維持、定期的な面談、心理判定、性教育、入国管理局や児童相談所と連携を取りながら進めました。

県厚木児童相談所、平塚養護学校、城島小学校、大住中学校との業務連絡会を開催し、情報交換を行いました。児童相談所主催の福祉型障害児入所施設業務連絡会、在宅重心関係機関連絡会、心理担当職会議等にも参加し、情報交換を行いました。

⑥働きやすい職場環境

仕事だけではなくプライベートも充実し、職員が元気に働けるよう職員個々から出される勤務希望をほぼ叶えるように調整しました。介護用ベッドの購入により、本人も楽に過ごせるとともに介護負担の軽減を図りました。公用車の入れ替えに伴い、カーナビが使える車種を増やしました。医務室にファクシミリを新たに設置することで、薬局との通信が行いやすくなりました。インフルエンザA型の集団発生時、希望職員に対して、リレンザの予防投与代金の半額助成を行いました。

⑦行政への働きかけ

平成30年度の報酬改定に向けて障害者政策総合研究事業「障害児入所施設の質の向上を検証するための研究会」が立ち上がり、日本肢体不自由児連絡協議会より委員として参加しています。2年間でアンケート調査、タイムスタディ調査等を行うことになりました。

日本肢体不自由児療護施設連絡協議会では、7月の総会（東京都世田谷区）、9月の臨時施設長会議（大阪市）により、厚生労働省への要望書の検討を行い、社会的養護、被虐待児への支援、移行支援等を盛り込み、12月に厚労省へ提出しました。

また、民進党の障がい・難病対策推進議員連盟のヒアリングに参加しました。

県知的障害者福祉協会児童発達支援部会では、県内全域（14 施設）の福祉型障害児入所施設が加盟しており、情報交換を行いました。また、県知的障害者福祉協会企画政策委員会において、神奈川県及び市町村（政令指定都市、中核市を除く）に対して、移行支援の対応強化を要望書に盛り込み、提出しました。県障害福祉課へは、平成 30 年度以降の過齢児対応の意見交換を行いました。

3. 事業内容

(1) 生活

①児童の成長、発達に応じた支援

一人ひとりの発達に合わせた療育を行う上で、担当が中心として作成する個別支援計画及び多職種連携、主治医のアドバイス、児童相談所の心理判定、カウンセリング、学校の先生との情報交換、家族との面談、本人の希望を元に生活を考えています。また、必要に応じて適宜カンファレンスを行い、方針の決定、情報の共有化を図りました。

②理学療法士による機能訓練

子どもの今の生活を見つめ、また将来の生活を見据えることで、必要な支援やそのために工夫できることを保育士等と情報を共有し、実施できるようにしました。また、一人ひとりの身体機能を評価し、必要に応じて個別プログラムの実施、補装具等の作成、また学校の先生に協力して頂き、運動を行うことで、運動機能の維持や向上、日常生活動作の改善を図りました。更に、歩容の改善を目的とした手術、股関節亜脱臼を改善するための手術等、必要に応じて主治医と相談し、手術目的を分かりやすく保護者や職員に伝えて頂き、手術後のフォローも務めました。子ども自身への障害の理解や受容に対してもアプローチを行い、自らの興味関心、生活の幅を広げられるようにしました。

嘱託医（整形外科）は、月に 1 回来園され、初診 4 件、補装具作成 32 件、手帳の意見書作成 6 件、整形外科的相談 3 件、定期受診 31 件、手術関連相談 8 件、その他書類作成 2 件を行っていただきました。入所児童 51 名に対し、一人当たり年 1 回から 5 回、延べ 85 名の診察を受けました。

(2) 健康管理

一人ひとりの基礎疾患、障害特性、病状の変化に細心の注意を払い、保育士等との情報交換を元に一步先を見越した対応を心掛けました。定期通院、緊急通院等においても病院側との交渉を念頭に置き、最善の対応ができるようにしました。常勤看護師 2 名がオンコール対応を行い、夜間帯での急変に対応できるようにしました。夜勤職

(3) 栄養管理

一人ひとりの口腔機能に適した食事形態を提供できるようになりました。芳賀歯科医による摂食指導及び研修会、受診により、多くの助言をいただき、日々工夫を重ねました。

献立の作成では、季節の食材を多く取り入れ、美味しいと感じられる食事を目指しました。残食の量は平均的に少なく、一人ひとりがしっかりと摂取出来ていると考えられます。身長、体重等の変化に対しては、食事委員会を中心に現状の再評価を行いました。

毎月、栄養士が子どもたちと食育に関する話合いの機会を持ち、季節の野菜の栄養の必要性、外食の栄養のバランス、カルシウム等必要な栄養素等を分かりやすく説明し、食事に関する理解を深めました。個別に指導が必要な児童には、一人ひとりに合わせて話をしました。

行事食では、慣習行事を中心に目で見て楽しみ、味わって楽しみ、心が潤うように工夫を重ねました。毎月の誕生日会では、選択食を行い、選んで楽しめるようにしました。

(4) 幼児教育・学校教育

通園、通学先は、土屋幼稚園、城島小学校、大住中学校、私立旭丘高校、平塚養護学校の1園、4校です。城島小、大住中、平塚養護とは業務連絡会を定期的に行い、意見交換を行っています。他の学校では、定期的な三者面談に参加するとともに、個別の問題に対して適宜情報交換を行っています。送迎時の情報交換、連絡帳の交換、電話連絡等、日頃の関係を大切にしています。城島小学校では、自力通学に向けた練習も行いました。また、平塚盲学校幼稚部の教育相談に月に1回通い、盲児支援のアドバイスをいただきました。

(5) 幼児デイケア（未就学児）・日中活動支援（過齢児）

幼児療育を充実できるようにプログラムの見直し、職員配置の見直し等を図りました。対象児童が7名おり、肢体不自由、知的障害、重症心身障害等、様々な障害があるのでグループ編成を行って対応しました。

室内では、集中して行える活動や運動、感覚、音楽リズムを取り入れました。室外では、散歩や公園、遠足に行き、体力を使うことや色々な遊具を使って遊ぶことを行いました。外部との交流としては、定期的に土屋幼稚園、あけぼの園、ソーレ平塚療育園（部屋の貸し出し）に出かけました。新たに中原保育園と連携を取り、開放保育に参加させていただきました。

過齢児の日中活動は、当初2名から10月からは1名と対象者が減りました。利用者の得意な活動に重点を置き、運動、音楽、製作、散歩等、一日の中でもプログラム

を組み合わせで行いました。地域との交流では、地域活動支援センター平塚二葉会に定期的に通いました。交流行事（遠足）として箱根芦ノ湖、オービィ横浜に行き、外部の人たちと楽しく過ごすことができました。

(6) 子ども会

子ども会の活動としては、毎月話し合いを行いました。内容としては、21時以降のテレビの視聴方法、遊具の使い方、パソコンの使用方法、夏休みの過ごし方、アンケート調査の実施、お風呂場のお湯の温度、温冷配膳車導入後の感想、食堂テレビ用にDVDレコーダーの購入、お正月の過ごし方やメニュー、調理実習等の話し合いを行いました。必要に応じて、男女棟、クラス、運営会議等で検討して回答しました。

課題を検討し合うだけでなく、人の話を聞くこと、自分の意見を言える事、会議時間に集中する事等、コミュニケーション方法を学ぶ場面にもなっています。

(7) 行事

貴船神社例大祭、城島地区子ども大会・レクリエーション大会・盆踊り、七五三等、多くの地域行事に参加しました。施設行事では、夏のキャンプ、秋まつり、クリスマス会は、子ども達も企画から参加し、楽しく過ごすことが出来ました。夏休みには、全員が分かれて外食やプール外出等に参加できるよう事務員、栄養士、看護師、理学療法士等も付き添いに参加した企画を行った他、家系ラーメン店によるラーメン提供、日産労連ふれあい夏まつりの開催、平塚養護学校プール開放（介助付き）、花火大会、城所納涼祭、ソーレ平塚納涼祭等に参加しました。こどもの日、お月見、餅つき大会、書初め、ひな祭り、誕生会等、慣習行事も行い、楽しく過ごせる機会を作りました。

(8) 家族への援助

毎月面会又は外泊が実施できている家庭は27%です。年間1回～10回程度の面会又は外泊が実施できている家庭は56%、保護者不在も含めて実施できていない家庭は17%となっています。約7割の児童は、家族と十分な関わりが持てない状況であり、虐待ケース等は児童相談所も関わっています。また、保護者から食事量について、車いすの対応及び、食事形態について等の要望が上がり、個別に対応しています。

兄弟姉妹が児童養護施設に入所している2名については、児童相談所、施設職員と連携を取り、定期的な面会、外出を実施しました。

保護者会は、2回行い、個別支援計画を中心とした個々面談、日頃の様子、行事の予定等の情報交換を行いました。2回目に恒例のバイキング昼食会を行い、交流を図りました。

(9) 心理担当職員の配置

心理担当職員が1対1で話を聞く機会「こころの時間」を設けています。一人当たり30分から1時間を目安に行っており、日常生活のこと、学校のこと、家族のこと、

困っていること、悩んでいること等、様々な話を傾聴しています。

11月よりカウンセラーを雇用し、日常の生活の中から子どもの状態を観察し、カウンセリングを通じて、必要な支援方法の相談を行っています。☞

4. その他

(1) 防災・防犯・事故対策

平成28年7月26日に起きた津久井やまゆり園での事件により、出入り口、門の施錠時間の再確認、玄関等出入り口の施錠方法の検討及び鍵の設置、非常時の連絡手段、城島駐在所との連携（地域の防犯、秋まつりのパトロール等）、防犯会社の講習会の実施、平塚警察の防犯研修への参加等の対応を段階的に行いました。防犯対策プロジェクトを開催し、防犯マニュアルの作成を行いました。

防災対策としては「かながわ障害福祉施設BCP作成支援ツール」の活用を行うとともに、毎月の避難訓練の内容も見直しました。また、水災害対策訓練の実施、消防計画の見直しも行いました。

事故報告書、ひやりはつと報告書に関しては、毎月委員会を開催し、原因の分析を行い、改善策を講じました。

県障害サービス課(児童相談所等)への事故報告は2件ありました。

① 件名：入浴中の溺水事故

年齢、性別：15歳（高校1年生）、男子

日時：平成28年4月5日（火）

概要：15時40分に入浴を開始し、洗髪、洗体を行い15時50分に浴槽に入りました。15時55分に本人が立ち上がり、バランスを崩して浴槽内に倒れ、沈み込んだところをすぐに気づき抱え上げました。お湯を飲んだ可能性があるために、すぐに背部殴打法にて吐き出させました。同時に看護師を呼び、吸引を行いました。本人の状態が落ち着いているため、救急車の要請は行わず、通院先の調整を行い、16時20分に平塚市民病院内科へ受診しました。診察の結果、右肺に水が入った可能性が高いが入院の必要性はないとのことでした。

原因：通常、浴槽内では見守りを行い、立ち上がった際に手を引き脱衣場へ移動する介助方法を行っていました。最近、歩行中に転倒したこともあり、立ち上がった際にバランスを崩したと思われます。

対応：浴槽内での見守りを行うとともに、浴室全体から浴槽への視界を良くするために、浴槽と階段にある手すりの壁の一部を取り壊し、視界を広げました。同時に新たな入浴介助マニュアルを作成し、介助を行う職員を対象に入浴時緊急対応研修会を実施しました。

②件名：インフルエンザ A 型の集団感染

期間：平成 29 年 1 月 30 日～2 月 16 日 (18 日間)

感染児童：33 名、感染職員：18 名

感染経路：複数の通学先で発症している生徒から感染したと思われます。その後、内部で感染が広がりました。11 月に 50 名中 48 名は予防接種を受けていますが、感染力が強く防ぐことが出来ませんでした。全員が軽症で治癒しました。小学校、中学校、特別支援学校では、それぞれ学級閉鎖も行われました。職員の予防接種も行っています。

対処方法：通院してタミフルの服用と 5 日間から 7 日間の居室の隔離を行いました。職員に対しては、希望者にリレンザの予防投与の半額助成を行いました。

(2) 社会貢献活動

社会貢献活動として、昭和 60 年頃から平塚市城島地区民生委員児童委員協議会と連携して、一人暮らしの高齢者にお弁当を作っています。民生委員による定期的な安否確認や話し相手、健康の維持にもつながることとして、年間 8 回 (一回当たり 26 食) 及び、城島公民館より高齢者教室のお弁当の依頼も受けました。お弁当には、季節の素材を盛り込み、たいへん好評を得ています。昨年度末に行った利用者へのアンケート調査により、お弁当の量が少し多いとの意見が多かったので、容器の変更を行っています。また、夏場の食中毒予防により、6 月から 9 月までは実施しないこととしました。

熊本地震災害義援金を募り、日本赤十字神奈川支部へ募金しました。赤い羽根共同募金の街頭募金に希望児童が参加しました。

(3) ボランティア

秋まつり等の行事のお手伝い、洗濯物の整理、衣類の名前付け、理容、子ども達との遊び相手、デイケアの付き添い、外出の付き添い、テーブル・イス・車いすの清掃等、様々な形でご協力いただいております。団体としては、開所以来継続していただいているつくしグループ、東海大学ワークキャンプ、平塚市理容組合、大住中学校 PTA 厚生委員会、その他社会人、主婦、学生の個人登録者も多数おります。また、㈱ギフト (家系ラーメン店) から出張ラーメン提供もありました。職員が出来ないところをボランティアに関わって頂き、とても助かっております。

年間総延べ数 500 名を超える実績となっています。

(4) 寄付等

現在使用しているトヨタハイエース (車いす 2 台設置仕様) が 16 年を経過し、経年劣化が激しいので、日本財団に日産キャラバン (車いす 4 台設置仕様) の助成を申請しましたが、残念ながら選外となりました。

物品では日用品、遊具、お菓子等の他、関東アイスクリーム協会からアイスクリームの提供がありました。寄付金では、土地の償還金返済、イベントでの食事等に活用しました。寄付金総額は、37件 724,771円となっています。

(5) 衛生管理

毎月産業医との相談を行い、年2回の健康診断の結果報告と職員面接を実施しています。ストレスチェック制度を導入し、必要な職員に面接指導の実施を依頼しました。職員の健康に対する意識の向上、ストレスを抱え込まないための対策を講じるきっかけとなっています。

労災事故は、ありませんでした。

私傷病欠勤の職員が1名おり、12月下旬以降、自宅で療養しています。定期的に産業医と相談し、本人とも連絡を重ねています。

(6) 施設設備の管理

開設から34年が経過し、修理箇所も毎年多く出てきています。日々の建物、物品の損傷等は、用務員が修理することで、業者への依頼を最低限にとどめるよう努力しました。主な建物、機器の購入、修理は、以下の通りです。

介護負担軽減のための介護ベッド(中古品)の購入、廃車に伴うトヨタラウム(中古車)の購入、医務室ファクシミリの購入、かもめ居室カーペット交換(リース)、漏電遮断装置(PAS)設置、防犯用玄関鍵の取り付け(2か所)等を行いました。

修理関係は、男女棟廊下の一部張替え補修、浴室仕切り壁の取り壊し、調理場・食堂・居室エアコンの修理、調理場冷蔵庫・換気扇の修理、調理場排水溝の高圧洗浄、給湯ボイラーのバルブ交換、蟻及びスズメバチ駆除、業務用洗濯機の廃棄及び廃棄に伴う電気工事と家庭用洗濯機の購入、給湯器修理等を行いました。

電力会社の変更を行い、電気料金の削減に努めました。光熱費の使用金額は、全体的に抑えられましたが、冬場のボイラーの使用時間延長に伴い、重油の使用量が増えました。

Ⅱ 障害者支援施設

1. 概況

日中活動は、前年度までの過齡児はすべて地域及び成人施設への移行が出来たため、今春に高等部を卒業した利用者2名（成人契約1名、措置延長1名）で活動を行いました（平成26年度11名、平成27年度4名）。10月からは1名が退所したので、1名で活動を行っています。

活動内容は、散歩、公園や買い物、カラオケ等の外出、作業については、紙ちぎりでのほり絵制作、学習等を行いました。ボールペン等の組み立て作業は対象者がいないので、今年度は行っておりません。

地域との関わりでは、地域活動支援センター平塚二葉会のご協力を得て、週に1回程通所させていただきました。箱根、オービィ横浜への合同遠足にも行きました。

2. 事業内容

(1) 日中活動

学校登校日に合わせて活動しています。短期入所児童や緊急一時保護の児童も活動に参加しています。日中の配置できる職員数に限りがあるため、休校児童や通院が多く入ると活動が難しい時があります。作業的な活動は訓練棟で行い、生活の場面と日中活動の場面を分けるようにしています。外出、散歩も多く取り入れ、運動する機会を設けています。成人としての時間を意識できるように、大人としての関わり方に配慮しました。

(2) 移行支援

2名とも障害者支援施設（知的障害）を移行先として調整しています。措置延長の1名は、川崎市内の施設に10月に移行できました。成人契約の1名は、施設見学を行いながら、施設の空きを待っている状況です。地域の障害者支援施設（知的障害）では、津久井やまゆり園の事件の影響が大きくあり、新規受け入れが困難になっています。また、最近の施設では、ユニットケアを行っているので、男女、障害の程度、利用者同士の相性等、状態像が合わないと利用が難しい状況も挙げられています。

Ⅲ 短期入所事業・日中一時支援事業

1. 短期入所事業

(1) 受け入れ状況

短期入所の定員は2名、契約者数36名（男子18名、女子18名）です。常時利用されている方は17名（男子8名、女子9名）です。今年度の利用は、延べ126件、421日（昨年度112件429日）、ベッドの稼働率は58%（昨年度59%）となっています。

利用日数は、1泊から14泊まであり、3泊までが全体の87%となっています。男女1名ずつの定員枠を調整して予定を組んでいます。通学の関係から、土・日曜日に希望が重なる傾向にあります。

(2) 入所理由

入所理由は、レスパイト（家族の休養）が中心となっています。長期の14泊の方は、第2子出産のためです。定期的な短期入所サービスを利用して、保護者の負担軽減を図っており、平塚養護学校に通学する生徒であれば、利用中の登下校も行っております。

2. 日中一時支援事業

(1) 受け入れ状況

学齡児の放課後支援（夕食含む）、土・日曜日等の日帰りでの利用を行っています。

契約者は4名（男子2名、女子2名）です。常時利用されている方は2名（男子1名、女子1名）です。今年度の利用は、2名、延べ48件の受け入れでした（昨年度58件）。年度末に男子1名が長期入所となり、利用が終了しました。

対象地域は、平塚市と秦野市と契約しています。

(2) 利用理由

利用理由は、レスパイト（家族の休養）と就労（父子家庭）によるものでした。短期入所同様、家族の定期的な利用による休養や就労等、在宅支援にとって大切なサービスとなっています。また、平塚養護学校では、放課後等デイサービスの事業所が23事業所あり、多くの障害児が利用しているサービスになっています。

3. 短期入所の利用状況

(1) 過去10年の短期入所の利用状況

年度	件数	日数	年度	件数	日数
平成19年度	149件	389日	平成24年度	123件	354日
平成20年度	148件	394日	平成25年度	124件	381日
平成21年度	137件	347日	平成26年度	103件	335日
平成22年度	123件	316日	平成27年度	112件	429日
平成23年度	98件	190日	平成28年度	126件	421日

※平成19年度～23年度は、日中一時支援を含んで計上

(2) 月別・市町村別短期入所児童数

平成29年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平塚市	9	27	15	13	12	18	11	6	17	9	5	8	150
伊勢原市	3	3	5	4	6	3	3	3	3	3	0	3	39
秦野市	0	0	0	2	3	0	0	2	0	0	0	0	7
厚木市	9	2	4	8	9	7	7	7	7	8	6	7	81
茅ヶ崎市	0	0	2	2	0	0	2	2	2	2	2	2	16
藤沢市	4	2	11	8	8	7	10	4	4	3	16	18	95
寒川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	6
中井町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
横浜市	0	5	0	0	3	0	5	0	0	5	0	5	23
合計	25	39	37	37	41	35	38	24	33	37	29	46	421

(3) 理由別在園日数表

	2～5日	6～10日	11～15日	16日以上	合計
家族の休養	96	6	0	0	102
家族の疾患	2	0	0	0	2
兄弟姉妹の行事	4	0	0	0	4
体験利用	2	0	0	0	2
引越し	0	0	0	0	0
法事	2	0	0	0	2
学校の休校	0	0	0	0	0
家族の仕事	11	0	0	0	11
その他	2	0	1	0	3
合計	119	6	1	0	126

4. 日中一時支援の利用状況

(1) 月別・市町村別短期入所児童数

平成29年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平塚市	1	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	6
秦野市	4	3	5	2	0	5	4	4	5	3	3	4	42
合計	5	4	5	3	1	6	4	4	6	3	3	4	48

(2) 理由別在園日数表

	4時間未満	4～8時間	8時間以上	合計
家族の休養	0	6	0	6
父子家庭	0	39	3	42
その他	0	0	0	0
合計	0	45	3	48

5. 緊急一時保護の利用状況

(1) 月別・児童相談所別入所児童

平成29年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
県平塚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	0	9
相模原市	12	0	0	0	0	0	8	30	31	31	28	31	171
合計	12	0	0	0	0	0	8	30	31	33	35	31	180

(2) 理由別在園日数表

	1～5日	6～10日	11～15日	16日以上	合計
家族の休養	0	0	0	0	0
家族の疾患	2	0	0	0	2
虐待(疑い)	1	0	1	1	3
その他	0	0	0	0	0
合計	3	0	1	1	5

参考資料（平成29年3月31日現在、在籍48名）

1 入所児童の状況（入所時の年齢）

	入所日	性	年	形態	障害名	児童相談所	入所理由	入所前の所在
1	4月19日	女	12	措置	知的障害	相模原市	性的虐待	家庭
2	5月31日	女	7	措置	知的障害	県中央	性的虐待	一時保護所
3	6月1日	男	3	措置	髄膜炎後遺症	横浜市西部	養育困難	久良岐乳児院
4	6月8日	男	8	契約	先天性筋緊張性ジストロフィー症	県中央	養育困難	家庭

2 退所児童の状況（退所時の年齢）

	退園日	性	年	形態	障害名	援護機関	退所先	退所理由	在所期間
1	4月14日	男	18	契約	脳性麻痺	平塚市	ワケン療育病院長竹	成人移行	2年11か月
2	5月12日	女	5	措置	点頭てんかん	県中央児相	家庭	引き取り	1年4か月
3	10月13日	女	18	措置	知的障害	川崎市子ども家庭センター	川崎市投産センター	成人移行	3年2か月
4	3月21日	男	18	契約	小脳出血後遺症	平塚児相	七沢自立生活支援センター	自立支援	1年3か月

3 年齢

	2才	3才	4才	5才	6才	7才	8才	9才	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計
男	0	1	1	3	2	3	0	2	1	2	2	3	2	2	2	1	3	0	0	30
女	0	0	1	0	1	0	4	1	0	0	1	1	0	4	1	2	1	1	0	18
計	0	1	2	3	3	3	4	3	1	2	3	4	2	6	3	3	4	1	0	48

4 通学児童

	幼	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
男	2	3	0	1	2	2	2	3	2	2	2	1	3	25
女	0	0	4	1	0	0	1	1	0	4	1	2	1	15
計	2	3	4	2	2	2	3	4	2	6	3	3	4	40

5 就学先

	幼	小	中	高	合計
県立平塚養護学校		7	9	8	24
県立平塚盲学校	0	0	0	0	0
県立高浜高等学校				0	0
私立旭丘高等学校				2	2
市立大住中学校			3		3
市立城島小学校		9			9
市立土屋幼稚園	2				2
合計	2	16	12	10	40

6 措置・契約機関（毎月1日現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	合計	備考
県中央	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	74	
	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	33	契約
県鎌倉三浦	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
県小田原	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	契約
県厚木	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84	
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	契約
県平塚	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	46	
	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	契約
相模原市	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	35	
横須賀市	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	
横浜市中心	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	契約
横浜市南部	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	契約
横浜市北部	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	
横浜市西部	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	34	
川崎市こ	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	31	
川崎北部	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
川崎中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
伊勢原市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	成人契約
平塚市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	成人契約
合計	48	48	49	50	50	50	50	49	49	49	49	49	590	

7 入所前の所在

障害名	男	女	合計
家庭	10	5	15
乳児院	11	7	18
知的障害児施設	2	1	3
肢体不自由児施設	0	1	1
肢体不自由児療護施設	1	0	1
重症心身障害児施設	0	0	0
児童養護施設	1	0	1
病院	2	3	5
緊急一時保護	3	1	4
その他	0	0	0
合計	30	18	48

8 主たる入所理由

入所理由	男	女	合計
虐待	15	9	24
養育困難	15	9	24
合計	30	18	48

虐待内訳	男	女	計
身体的虐待	6	5	11
ネグレクト	8	1	9
心理的虐待	1	1	2
性的虐待	0	2	2
合計	15	9	24

養育内訳	男	女	計
母子家庭	4	4	8
父子家庭	2	0	2
母の疾患	3	3	6
母の疲労	2	0	2
その他	4	2	6
合計	15	9	24

9 主たる障害

障害名	男	女	合計
脳性まひ	6	3	9
脳室周囲白質軟化症	2	1	3
硬膜下血腫後遺症	2	2	4
頭部外傷後遺症	1	0	1
水頭症	1	2	3
フロー四徴症	0	1	1
先天性多発腸閉塞症	0	1	1
急性脳症、急性脳炎後遺症	2	0	2
髄膜炎後遺症	1	0	1
裂脳症	1	0	1

総排泄腔外反症	1	0	1
多発奇形症候群	1	0	1
ダウン症	1	1	2
てんかん	1	0	1
SBS(揺さぶられっこ)症候群	0	1	1
レット症候群	0	1	1
部分13トリソミー	1	0	1
先天性筋緊張性ジストロフィー症	1	0	1
自閉症スペクトラム	4	1	5
知的障害	4	4	8
合計	30	18	48

10 日常生活動作

	移動					食事			着脱衣			入浴			排泄				
	自力歩行	一部介助	全介助	(補装具)	(車いす)	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	(オムツ)	(夜オムツ)
男	14	9	7	12	15	12	11	7	9	10	11	3	9	18	8	6	16	20	1
女	10	4	4	7	7	8	7	3	6	7	5	3	7	8	6	7	5	10	5
計	24	13	11	19	22	20	18	10	15	17	16	6	16	26	14	13	21	30	6
	48					48			48			48			48				

11 身体障害者手帳

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
男	10	8	3	2	0		0
女	2	5	3	0	0	0	10
計	12	13	6	2	0	0	33

12 療育手帳

	A1	A2	B1	B2	合計
男	16	0	2	4	22
女	3	5	1	3	12
計	19	5	3	7	34

13 帰宅、面会の状況

頻度	男	女	合計
月に1回以上、帰宅・面会あり	6	4	10
月に1回以上、面会のみ	1	2	3
月に1回未満、帰宅・面会あり	8	2	10
月に1回未満、面会のみ	12	5	17
帰宅面会なし	3	5	8
合計	30	18	48

14 在籍年数

	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	合計
男	2	2	5	5	2	1	2	1	1	0	2	0	4	2	0	1	0	30
女	2	4	1	0	0	1	1	3	0	0	1	2	2	0	1	0	0	18
計	4	6	6	5	2	2	3	4	1	0	3	2	6	2	1	1	0	48

15 食事形態の状況

	食事形態									合計	
	ベビー食	幼児食	特小食	小食器	中食器	大食器	特大	ヘルシー	合計	御飯	合計
ミキサー	2	2	0	1	1	0	0	0	6	お粥ミキサー	1
軟菜	2	4	3	1	0	0	0	0	10	お粥	12
一口大	2	5	1	4	0	0	1	2	15	普通	33
普通食	2	4	2	5	1	0	2	1	17	ヘルシーライス	2
胃瘻	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	8	15	6	11	2	0	3	3	48		48

16 職員の採用・退職状況

	採用										退職											
	常勤		準職員		パート		アルバイト		嘱託		合計	常勤		準職員		パート		アルバイト		嘱託		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
施設長										0											0	
児発管										0											0	
児童指導員	1				1					2	1					1					2	
保育士					1					1	2										2	
看護師					1					1								2			2	
理学療法士										0											0	
管理栄養士										0											0	
調理員				2			1			3								2			2	
事務員										0											0	
介助員							1			1								4			4	
用務員										0											0	
カウンセラー							1			1											0	
合計	1	0	0	2	0	3	0	3	0	0	9	1	2	0	0	0	1	0	8	0	0	12

17 平成29年4月1日現在の職員

	常勤		準職員		パート		アルバイト		嘱託		委託		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
施設長	1												1
児発管		1											1
ファミリーケースワーカー	1												1
児童指導員	5	5	1		1								12
保育士	4	8				2							14
看護師		2				2							4
理学療法士		1											1
医師									2				2
(管理)栄養士		2											2
調理員				2		3		7					12
事務員		1				1							2
介助員								9					9
用務員					1						4		5
カウンセラー							1						1
合計	10	20	1	2	2	8	0	17	0	2	0	4	66

※常勤女子1名産休予定

※委託4名は、洗濯・清掃業務

18 入院状況（入院時の年齢）

	障害名	性	年	入院理由	病院	入院日	退院日	入院期間
1	レット症候群	女	14	発熱	東海大学病院	7月1日	7月8日	8日
2	脳性まひ	女	16	リハビリ評価	総合療育相談センター	8月16日	8月26日	11日
3	先天性多発腸閉塞症	女	11	成長抑制の手術	北里大学病院	8月29日	9月9日	12日
4	水頭症	女	8	股関節周囲筋手術	こども医療センター	10月3日	10月20日	17日
5	同	女	8	手術後リハビリ	総合療育相談センター	10月20日	10月23日	3日
6	同	女	8	ノウイルス院内感染	藤沢市民病院	11月23日	11月25日	2日
7	同	女	8	手術後リハビリ	総合療育相談センター	11月25日	12月22日	28日
8	知的障害	男	6	嘔吐症状精査	東海大学病院	10月17日	10月24日	8日
9	列脳症	男	5	股関節手術	こども医療センター	11月28日	12月16日	19日
10	総排泄腔外反症	男	6	内視鏡検査	こども医療センター	11月30日	12月3日	4日
11	急性脳炎後遺症	男	5	斜視手術	東海大学病院	1月25日	1月28日	4日
	合計							116日

19 通院状況

病院		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	合計
		回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	
東海大学	回数	14	15	18	17	18	19	16	10	18	21	14	15	195
	人数	18	18	22	21	23	23	16	10	21	22	19	18	231
神奈川リハビリテーション	回数	8	8	8	10	7	9	11	11	8	8	8	8	104
	人数	14	11	10	20	14	13	13	16	10	13	11	14	159
平塚共済	回数	1	1	0	1	1	0	2	1	0	2	1	0	10
	人数	1	1	0	1	1	0	2	1	0	2	1	0	10
くもで小児科	回数	2	0	3	4	3	1	1	0	1	1	0	0	16
	人数	2	0	7	10	7	2	2	0	1	1	0	0	32
おしげ皮膚科(往診含む)	回数	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	3	1	10
	人数	0	1	0	2	2	0	6	3	0	6	5	4	29
芳賀デンタルクリニック	回数	8	8	8	4	2	11	12	9	7	5	6	1	81
	人数	11	13	11	6	2	19	16	10	11	6	12	1	118
平塚市民病院	回数	6	6	1	6	2	3	2	2	1	2	2	3	36
	人数	6	6	1	6	2	3	2	2	1	2	2	3	36
こども医療センター	回数	2	3	4	5	1	7	4	7	5	2	5	6	51
	人数	4	3	4	6	1	10	4	8	5	2	5	9	61
休日診療所	回数	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4	0	8
	人数	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	8	0	12
北里大学	回数	3	1	5	3	5	3	4	2	4	4	4	5	43
	人数	3	1	5	3	5	3	5	2	4	4	4	5	44
高橋眼科	回数	1	1	0	0	1	0	1	2	1	0	0	0	7
	人数	1	2	0	0	1	0	1	2	2	0	0	0	9
久保田整形外科	回数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4
	人数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4
藤多パークサイトクリニック	回数	3	8	1	7	5	14	12	16	11	13	22	8	120
	人数	4	10	2	12	10	24	18	22	18	19	39	23	201
四ノ宮耳鼻咽喉科	回数	5	3	4	4	0	2	1	3	3	4	1	2	32
	人数	5	3	6	4	0	3	2	3	3	5	1	2	37
その他	回数	1	6	3	3	3	1	1	1	3	5	0	2	29
	人数	1	6	4	5	4	2	2	1	3	7	0	2	37
合計	回数	60	64	62	69	49	73	73	68	65	73	72	55	746
	人数	71	75	73	96	72	102	92	80	79	89	108	83	1020

20 診療科目通院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	合計
小児科	28	27	32	53	34	53	41	46	39	40	67	51	511
内科	3	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	7
外科	2	2	0	2	0	0	0	1	3	0	2	0	12
整形外科	4	4	5	5	6	6	3	5	3	4	1	9	55
リハビリテーション科	4	4	11	4	6	6	6	6	5	7	5	2	66
眼科	3	10	2	4	3	5	4	4	5	10	2	1	53
歯科	11	13	11	5	4	19	16	9	11	6	3	1	109
皮膚科	0	1	0	2	2	0	6	3	0	6	5	4	29
耳鼻科	10	10	12	9	7	7	8	10	9	10	11	8	111
泌尿器科	0	1	1	3	2	1	2	2	1	1	2	1	17
精神科	2	2	2	2	4	2	1	0	3	2	1	3	24
脳外科	3	0	0	3	2	2	2	0	1	3	0	2	18
救急外来、休日診療所	2	1	0	0	1	0	4	2	0	0	8	0	18
婦人科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
合計	72	75	76	93	72	104	95	88	80	89	107	82	1,033

21 園内医務室処置状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	合計
内科	246	229	216	221	222	202	235	258	259	303	306	2298	4,995
外科	30	31	30	30	31	30	31	30	31	31	28	31	364
眼科	27	12	3	16	2	15	1	7	22	30	31	36	202
皮膚科	496	530	537	573	362	595	588	585	598	626	577	591	6,658
耳鼻科	157	140	116	136	122	120	164	147	151	148	163	204	1,768
泌尿器科	0	31	30	31	31	30	31	30	31	29	28	31	333
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	956	973	932	1007	770	992	1050	1057	1092	1167	1133	3191	14,320

※内科は、一時的な看護対応(頭痛、腹痛、軽度の風邪症状等)、通院後の指示によるもの。

内科以外の科目は、通院後の継続処置によるもの。

22 休校児童数(病気及び通院等)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	合計
人数	5	6	7	10	0	24	23	13	5	13	91	5	202
延べ日数	6	7	8	37	15	24	36	17	20	17	191	5	383
入院	0	0	0	8	14	9	37	34	41	4	0	0	147

23 実習生・研修生等の受入・派遣

実習生の受入

	学校名	年	性	実習期間		
1	大原医療秘書福祉保育専門学校	2	女	6月6日	～	6月17日 11 日間
2	鶴見短期大学	2	女	8月17日	～	8月28日 11 日間
3	鎌倉女子大学	3	女	8月4日	～	8月15日 11 日間
4	和洋女子大学	3	女	8月29日	～	9月10日 12 日間
5	関東学院大学	3	男	2月6日	～	2月18日 12 日間
6	和泉短期大学	1	女	2月14日	～	2月26日 12 日間
7	武蔵野大学	2	女	3月1日	～	3月13日 12 日間

研修生等の受入

	研修名	人数	研修期間		
1	平塚養護学校教職員研修	35名	7月25日	～	8月30日
2	平塚養護学校5年目経験者研修	1名	8月8日	～	8月9日

日本肢体不自由児療護施設連絡協議会 交換研修

	施設名	人数	性	職種	研修期間	
1	白糠学園へ派遣	1名	女	理学療法士	10/24～10/27	4 日間
2	四天王寺太子学園より受入	1名	男	児童指導員	10/26～10/29	4 日間
3	おおぞらのいえへ派遣	1名	女	保育士	11/8～11/11	4 日間

参考資料2

1. 研修会

日時	内容	場所
4月1日	法人新採用職員オリエンテーション	ソーレ平塚
4月1日	全体職員会議(全3回)	精陽学園
5月31日	感染予防研修会③	精陽学園
6月17日	感染予防研修会④	精陽学園
6月26日	喀痰吸引等第3号研修(全2回)	県社会福祉会館
6月27日	入浴時緊急対応研修(全8回)	精陽学園
6月29日	どの子にも優しい子育てと保育研修会	ひらつか市民活動センター
6月30日	不審者対応訓練	精陽学園
7月5日	相談支援従事者初認研修(全6回)	サンパシかわさき
7月9日	高次脳機能障がいセミナー小児編	かたさがプラザ
7月13日	摂食指導	精陽学園
7月19日	感染症対策研修会⑤	精陽学園
7月20日	民間知的障害施設共同会事務研修会	波止場会館
7月21日	小児訪問看護・重症心身障害児者看護研修会(全10回)	県総合医療会館
9月2日	食物アレルギー緊急時対応研修	海老名市文化会館
9月5日	福祉移設向けセキュリティ勉強会	精陽学園
9月6日	平塚市社協施設長研修会	平塚市保健福祉センター
9月7日	障がい者施設への不審者侵入を想定した防犯訓練	貴峯荘
9月7日	送迎車両安全運転講習会	相模原市あじさい会館
9月14日	当日現場責任者研修会(全8回)	精陽学園
9月26日	感染症予防研修会	平塚保健福祉事務所
10月4日	県民間知的障害共同会研修会	横浜市岩間市民プラザ
10月5日	安全運転管理者法定講習	平塚中央公民館
11月1日	平塚養護学校給食見学	平塚養護学校
11月4日	防犯対策プロジェクト(全3回)	精陽学園
11月7日	階層別リーダー研修会(全2回)	精陽学園
11月22日	県神療協事務職研修	足柄療護園
11月25日	到底給食施設等種別講習会及び食生活支援担当者研修	平塚保健福祉事務所
12月5日	かながわ災害福祉広域支援ネットワーク研修会	波止場会館
12月6日	苦情対応の基礎知識と基本姿勢基礎編	県社会福祉会館
12月9日	階層別研修3～4年目研修会(全2回)	精陽学園
12月16日	地域保健活動推進研修会及び特定給食施設等種別講習	平塚保健福祉事務所
12月26日	神奈川県障害福祉職員実践報告会	県社会福祉会館
1月10日	障害者虐待防止リーダー研修会(二日間)	灘尾ホール
1月18日	苦情対応の相談技術応用編	県社会福祉会館
1月22日	喀痰吸引指導者育成伝達研修会(全2回)	ウイング横浜
1月25日	県サービス管理責者研修(二日間)	ヴェルグ横須賀
2月1日	防犯研修会	ソーレ平塚
2月2日	階層別研修1～2年目研修会	精陽学園
2月16日	県神療協栄養職担当研修	ソーレ平塚
2月21日	特定給食施設等種別研修会	平塚保健福祉事務所
3月15日	法人1年目研修会	ソーレ平塚
3月15日	虐待防止のための関係機関管理者・中堅実務者向け研修	平塚市教育会館

2. 業務連絡会

日時	内容	場所
6月15日	平塚養護学校業務連絡会	平塚養護学校
7月11日	厚木児相業務連絡会	県厚木児相
7月11日	城島小学校業務連絡会	城島小学校
7月15日	大住中学校業務連絡会	精陽学園
10月26日	平塚養護学校業務連絡会	平塚養護学校
11月27日	東海大学ワークキャンプ連絡会、交流会	精陽学園
2月22日	平塚養護学校業務連絡会	平塚養護学校
3月21日	床屋さん業務連絡会	精陽学園

3. 学校行事等

日時	内容	場所
4月5日	平養、城島、大住 入学式	各学校
4月8日	土屋幼稚園 入園式	土屋幼稚園
5月12日	YKさん医療ケア打合せ	城島小学校
5月13日	大住中学校 進路説明会	大住中学校
5月21日	城島小運動会	城島小学校
5月25日	城島小学校警報発令引取訓練	城島小学校

5月26日	SNくん土屋幼稚園打合せ	土屋幼稚園
6月4日	土屋幼稚園親子ふれあい保育	土屋幼稚園
6月6日	大住中学校厚生委員会 訪問清掃	精陽学園
6月21日	平塚PTA役員会	平塚養護学校
7月1日	平塚PTA進路見学会	ソーレ平塚
7月11日	平塚養護学校PTA進路見学会	秦野精華園
7月12日	平塚養護学校PTA役員会	平塚養護学校
7月21日	平塚養護学校PTAまつり	平塚養護学校
8月4日	平塚養護学校プール開放(8/5)	平塚養護学校
8月28日	平塚養護学校こどもよかよか	平塚養護学校
9月10日	大住中学校運動会	大住中学校
9月13日	平塚養護学校PTA役員会	平塚養護学校
9月14日	平塚養護学校警戒宣言発令時対応訓練	平塚養護学校
10月1日	土屋幼稚園運動会	土屋小学校
10月14日	土屋幼稚園祖父母とのふれあい	土屋幼稚園
10月15日	旭丘高校PTS懇談会	旭丘高校
10月15日	平塚養護学校こどもよかよか	平塚養護学校
10月18日	平塚養護学校PTA役員会	平塚養護学校
10月22日	城島小学校校内音楽会	城島小学校
10月28日	大住中学校合唱コンクール	大住中学校
11月5日	平塚養護学校ティール大会	保土ヶ谷公園
11月7日	大住中学校厚生委員会 訪問清掃	精陽学園
11月15日	平塚養護学校PTA役員会	平塚養護学校
11月26日	平塚養護学校文化祭	平塚養護学校
12月2日	土屋幼稚園餅つき大会	土屋幼稚園
12月5日	平塚養護学校PTA施設見学	あやとり
12月13日	平塚養護学校PTA役員会	平塚養護学校
12月18日	平塚養護学校こどもよかよか	平塚養護学校
1月18日	平塚養護学校肢体不自由教育部門に関わる連絡会	平塚養護学校
1月29日	平塚養護学校こどもよかよか	平塚養護学校
3月1日	旭丘高校卒業式	旭丘高校
3月7日	平塚養護学校PTA役員会	平塚養護学校
3月10日	大住中学校卒業式	大住中学校
3月10日	平塚養護学校高等部卒業式	平塚養護学校
3月12日	全学校図工・美術写真公募展授賞式	東京都写真美術館
3月14日	平塚養護学校小中学部卒業式	平塚養護学校
3月16日	土屋幼稚園卒園式	土屋幼稚園
3月16日	城島小学校卒業式	城島小学校
3月22日	YKさん大住中学校情報交換会	大住中学校
3月29日	SNくん城島小学校情報交換会	城島小学校

4.地域行事

日時	内容	場所
4月29日	貴船神社例大祭	精陽学園
5月15日	春の用水路、下水路清掃	地域
5月22日	YES,愛,DO!音楽祭	平塚市総合体育館
6月9日	城島地区各種団体代表者懇談会	城島公民館
6月19日	城島地区子ども大会	城島小学校
7月27日	キャンプ	びわ青少年の家
8月6日	城所夏まつり	貴船神社
8月21日	ソーレ平塚納涼祭	ソーレ平塚
10月2日	赤い羽根共同募金運動街頭募金	平塚駅周辺
10月2日	城所自主防災訓練	城所自治会館
10月9日	城島地区レクリエーション大会	城島小学校
10月20日	平塚市社協福祉展	平塚中央公民館
10月30日	ナイスハートふれあいスポーツ広場	ひらつかアリーナ
11月6日	七五三参詣	貴船神社
12月3日	全国車椅子マラソンin横須賀	日産自動車追浜工場
12月3日	すこやか園ふれあい福祉まつり	すこやか園
1月1日	初詣	貴船神社
1月7日	平塚鷺組合木遣り	精陽学園
1月14日	どんど焼き	平塚市城所
2月4日	城所子ども会いちご狩り	杉山いちご園
3月4日	城島公民館まつり(二日間)	城島公民館
3月12日	城所子ども会歓送迎会	城所自治会館

5. 配食サービス

日時	内容
4月15日	配食サービス
5月20日	配食サービス
6月23日	城島公民館高齢者学級お弁当
10月21日	配食サービス
11月18日	配食サービス
12月16日	配食サービス
1月20日	配食サービス
2月17日	配食サービス
3月17日	配食サービス

6. 防災訓練

日時	内容
4月17日	地震想定避難誘導訓練、初期消火訓練
5月15日	火災想定避難誘導訓練、初期消火訓練
6月19日	夜間地震想定避難誘導訓練、初期消火訓練
6月24日	河本防災による法定点検
7月10日	火災想定避難誘導訓練、初期消火訓練
8月30日	通報訓練・緊急連絡網訓練
9月19日	火災想定避難誘導訓練、初期消火訓練
10月23日	夜間火災想定避難誘導訓練、初期消火訓練
11月21日	河本防災による法定点検
11月27日	火災想定避難誘導訓練、初期消火訓練
12月18日	火災想定避難誘導訓練、初期消火訓練
1月22日	水害想定避難誘導訓練
2月26日	地震想定避難誘導訓練、初期消火訓練
3月22日	炊き出し訓練

7. 施設行事

日時	内容	場所
4月3日	入学・進学を祝う会	精陽学園
4月24日	春の保護者会	精陽学園
4月25日	日産チャリティキャラバン	精陽学園
6月12日	内科検診	精陽学園
6月21日	幼児デイケア遠足	精陽学園
6月23日	職員健康診断(全2回)	精陽学園
6月28日	平塚二葉会との合同遠足	箱根芦ノ湖
7月8日	湘南ひらつか七夕まつり	平塚駅周辺
7月13日	職員健康診断	精陽学園
7月13日	歯科検診	精陽学園
7月31日	日産労連ふれあい夏まつり	精陽学園
8月3日	ソールコーポリアフェルコンサート	精陽学園
8月9日	夏休み企画プール・昼食外出(全13回)	秦野市市営プール、レストラン他
8月24日	家系ラーメン昼食提供	精陽学園
8月25日	第三者委員訪問	精陽学園
8月30日	もぐら座	精陽学園
9月15日	お月見会	精陽学園
9月25日	秋まつり	精陽学園
11月6日	内科検診、インフルエンザ予防接種(全2回)	精陽学園
11月13日	秋の保護者会	精陽学園
11月18日	デイケア柿狩り	伊勢原栗窪
11月27日	東海大学ワークキャンプ連絡会、交流会	精陽学園
12月28日	餅つき大会	精陽学園
1月1日	書初め	精陽学園
1月4日	新年会	精陽学園
2月3日	節分	精陽学園
2月23日	職員健康診断	精陽学園
3月3日	ひな祭り	精陽学園
3月7日	平塚二葉会との合同遠足	オービィ横浜
3月16日	歯科検診	精陽学園
3月25日	卒業を祝う会	精陽学園
	他に毎月誕生会	

8. 外部会議等

日時	内容	場所
4月1日	法人辞令交付式	ソール平塚

4月4日	法人表彰授与式	ソーレ平塚
4月5日	アグネス園竣工式	アグネス園
4月8日	企画政策委員会	県社会福祉会館
4月13日	療育園あいさつ	ソーレ平塚
4月14日	民進党議員連盟ヒヤリング	衆議院第2議員会館
4月15日	中原保育園あいさつ	中原保育園
4月15日	法人プロジェクト会議	すこやか園
4月18日	法人経営会議	あけぼの園
4月20日	県障害福祉施設・事業所団体説明会	神奈川県民ホール
4月21日	平塚二葉会あいさつ	平塚二葉会
4月23日	いずみ保育園竣工式	いずみ保育園
4月25日	身障協研修研究委員会	足柄療護園
4月25日	平塚市社協福祉施設部会 監事監査	市社会福祉会館
4月26日	城島小学校 評議委員会	城島小学校
4月26日	法人表彰懲戒委員会	ソーレ平塚
5月12日	城島地区社協総会	城島公民館
5月13日	身障協施設長会議	かながわ県民センター
5月16日	法人経営会議	精陽学園
5月17日	法人監事監査	ソーレ平塚
5月18日	平塚市社協福祉施設部会総会	グラントホテル神奈中平塚
5月20日	法人機関紙委員会	ソーレ平塚
5月24日	企画政策委員会	県社会福祉会館
5月25日	法人プロジェクト	あけぼの園
5月30日	児童発達支援部会 引継	くるみ学園
6月5日	障害児入所施設の質の向上を検証するための研究全体会	東京八重洲ホール
6月9日	県社協共同募金会 あいさつ	県社会福祉会館
6月16日	ありがとう運営協議会役員会	市社会福祉会館
6月17日	県移行支援担当者連絡会	弘済学園
6月17日	YKさん平塚市民病院医療ケア対応依頼	平塚市民病院
6月17日	児童発達支援部会	川崎市中央療育センター
6月20日	法人経営会議	ソーレ平塚
6月22日	平塚市虐待ネットワーク実務検討会議	平塚市役所
6月22日	ありがとう決算総会	平塚市役所
6月27日	身障協研修研究委員会	足柄療護園
6月29日	企画政策委員会	県社会福祉会館
6月30日	平塚市成年後見支援ネットワーク協議会	平塚保健センター
7月4日	平塚養護学校評議委員会	平塚養護学校
7月5日	身障協研修研究委員会	リエゾン笠間
7月6日	日肢療連総会、施設長会議(2日間)	本目眞理子宅
7月8日	法人機関紙編集委員会	ソーレ平塚
7月13日	平塚市障がい福祉施設連絡協議会	平塚市社会福祉会館
7月13日	ありがとう役員会	平塚市社会福祉会館
7月19日	法人経営会議	すこやか園
7月20日	企画政策委員会	県社会福祉会館
7月28日	平塚市障がい者自立支援協議会子ども部会	平塚市役所
8月2日	平塚市障がい福祉施設連絡協議会	平塚市役所
8月8日	法人機関紙編集委員会	ソーレ平塚
8月10日	県障害者支援施設部会合同会議	県社会福祉会館
8月25日	平塚市高齢者及び障害者虐待防止等ネットワーク協議会	平塚市勤労会館
8月30日	JSYネット定例会	はだの松寿苑
8月31日	法人事務員会議	ソーレ平塚
8月31日	企画政策委員会	県社会福祉会館
9月6日	県障害児施設入所児成人サービス等移行支援事業担当者	ひばりが丘学園
9月7日	日肢療連課題検討会議	大阪市青少年センター
9月8日	身障協研修研究委員会	リエゾン笠間
9月9日	法人総括安全衛生委員会	ソーレ平塚
9月15日	平塚市障がい福祉施設連絡協議会施設長会議	平塚市役所
9月20日	法人経営会議	あけぼの園
9月21日	児童発達支援部会	横浜訓盲院
9月29日	県中央児相在宅重心関係機関連絡会議	県総合療育相談センター
10月7日	臨時法人経営会議	あけぼの園
10月12日	ありがとう運営協議会役員会	平塚市社会福祉会館
10月18日	法人経営会議	あけぼの園
10月19日	平塚市虐待ネットワーク実務検討会議	平塚市役所
10月20日	県及び横須賀市との福祉型障害児入所施設業務連絡会	県総合療育相談センター
10月24日	企画政策委員会	県社会福祉会館
10月28日	平塚市トリアーナ共和国との事前キャンプに関する協定締結記	ホテルサンライフガーデン

11月11日	東京工科大学臨床実習指導者会議	東京工科大学
11月14日	法人経営会議	あけぼの園
11月17日	平塚市障がい者自立支援協議会子ども部会	平塚市勤労会館
11月17日	日肢療連全国大会	ねむの木学園
11月21日	平塚養護学校評議員会	平塚養護学校
11月22日	児童発達支援部会	七沢学園
11月25日	法人内部監査	すこやか園
11月25日	在宅重心児者療育連絡会議	厚木合同庁舎
11月25日	平塚児相心理担当職員との連絡会	平塚児童相談所
12月4日	障害児入所施設の質の向上を検証するための研究全体会	東京八重洲ホール
12月6日	臨時法人経営会議	あけぼの園
12月15日	日肢療連厚労省訪問	厚生労働省
12月19日	法人経営会議	あけぼの園
12月21日	平塚市虐待ネットワーク実務検討会議	平塚市役所
1月6日	県社協賀詞交歓会	ホテル横浜キャメロットジャパン
1月8日	城島地区賀詞交歓会	城島公民館
1月10日	臨時法人経営会議	すこやか園
1月12日	企画政策委員会	県社会福祉会館
1月12日	城島公民館まつり展示部門会議	城島公民館
1月16日	法人経営会議	精陽学園
1月17日	平塚市虐待ネットワーク実務検討会	平塚市役所
1月17日	法人表彰・懲戒委員会	ソーレ平塚
1月17日	平塚養護学校PTA役員会	平塚養護学校
1月19日	平塚市高齢者及び障害者虐待防止等ネットワーク協議会	平塚市勤労会館
1月24日	身障協施設長会議	かながわ県民センター
1月31日	法人理事会	あけぼの園
2月4日	NPO法人たてば理事会	平塚二葉会
2月14日	城島小学校評議員会	城島小学校
2月15日	平塚市虐待ネットワーク実務検討会	平塚市役所
2月16日	身障協研究研修委員会	空と海
2月16日	JSYネット定例会	はだの松寿苑
2月17日	法人総括安全衛生委員会	すこやか園
2月17日	平塚養護学校評議委員会	平塚養護学校
2月17日	児童発達支援部会	ぼらいと・えき
2月18日	新春の集い落合かつひろと平塚をつくる会	平塚プレジール
2月19日	金子修一新春の集いと市政報告会	平塚市民センター
2月20日	県障害者施策説明会	神奈川自治会館
2月21日	法人経営会議	ソーレ平塚
2月27日	企画政策委員会	県社会福祉会館
3月4日	県立子ども自立生活支援センター竣工式	さらし
3月8日	水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管	厚木市文化会館
3月11日	KAくん野口観光新入社員保護者説明会	登別石水亭
3月13日	法人経営会議	すこやか園
3月18日	法人理事会、評議員会	精陽学園
3月22日	県障害福祉課訪問	県庁
3月24日	あけぼの園卒園式	秦野市北公民館
3月28日	平塚市障害者自立支援協議会子ども部会	平塚市勤労会館

9.在学生の移行支援(高校生 対象児童8名)

日時	内容	場所
4月14日	MNさん移行カンファレンス	精陽学園
4月20日	SMさん施設見学	ソーレ平塚
5月11日	SMさん施設見学	丹沢レジデンシャルホーム
6月3日	MNさん移行カンファレンス	精陽学園
6月16日	KA君園内カンファレンス	精陽学園
7月6日	YT君移行カンファレンス	精陽学園
7月22日	MSさん施設見学	アガベセンター
7月26日	KK君施設見学	アガベセンター
7月27日	KK君移行カンファレンス	精陽学園
7月27日	KK君障害支援区分認定調査	精陽学園
8月2日	YT君移行話し合い	精陽学園
8月12日	KK君施設見学	ソーレ平塚
8月16日	KY君施設見学	七沢自立支援ホーム
8月23日	YT君施設見学	れいんぼう川崎
8月26日	KK君施設見学	水平線
8月31日	KA君就職活動	平塚市ハローワーク
9月8日	KY君移行カンファレンス	平塚養護学校

9月12日	KA君移行カンファレンス	県平塚児相
9月15日	KK君施設見学	丹沢レジデンシャルホーム
9月15日	YT君更相判定事前聞き取り	精陽学園
9月15日	YT君移行カンファレンス	精陽学園
9月27日	KK君移行カンファレンス	精陽学園
9月27日	MNさん移行カンファレンス	精陽学園
9月29日	KY君移行話し合い	七沢自立支援ホーム
9月29日	MSさん障害支援区分認定調査	精陽学園
10月3日	KA君移行カンファレンス	県平塚児相
10月17日	YT君施設見学	桜の風
10月19日	YT君障害支援区分認定調査	精陽学園
10月21日	YT君施設見学	みずさわ
11月9日	KY君障害支援区分認定調査	平塚養護学校
11月11日	KK君移行カンファレンス	精陽学園
11月19日	KK君成人施設入所申請	ソーレ平塚
11月19日	KK君成人施設入所申請	丹沢レジデンシャルホーム
11月24日	MSさん施設見学	水平線
11月30日	KA君移行カンファレンス	県平塚児相
12月2日	KA君移行カンファレンス	旭丘高校
12月2日	KA君後見人申請手続き	横浜家庭裁判所小田原支部
12月5日	YT君移行カンファレンス	精陽学園
12月8日	YT君更相判定	百合丘障害者センター
12月8日	YT君判定会議	百合丘障害者センター
12月12日	MSさん移行カンファレンス	精陽学園
12月19日	KA君移行カンファレンス	県平塚児相
12月21日	YK君成人施設入所申請	七沢自立支援ホーム
12月21日	MSさん成人施設入所申請	丹沢レジデンシャルホーム
12月21日	MSさん成人施設入所申請	ソーレ平塚
12月26日	KK君短期利用面接	精陽学園
12月28日	KA君後見人申請手続き打ち合わせ	県平塚児相
1月12日	KK君ソーレ平塚短期利用契約	ソーレ平塚
1月13日	MSさん施設見学	足柄療護園
1月16日	KA君後見人話し合い	精陽学園
1月17日	YO君園内カンファレンス	精陽学園
1月17日	KK君施設見学	貴峯荘湘南の丘
1月18日	KK君成人施設体験利用送迎	ソーレ平塚
1月19日	KK君体験利用様子伺い	ソーレ平塚
1月20日	KK君成人施設体験利用送迎	ソーレ平塚
1月24日	MNさんグループホーム見学	案野精華園GH
1月25日	KA君戸籍取得手続き	川崎市宮前区役所
1月25日	KA君住民票取得手続き	平塚市役所
1月26日	MSさん入所アセスメント	精陽学園
1月26日	YK君入所面接	七沢自立支援ホーム
1月27日	MSさん体験利用面接	ソーレ平塚
1月29日	YO君面接	精陽学園
1月31日	KA君後見人打ち合わせ	精陽学園
1月31日	KA君後見人申請手続き	横浜家庭裁判所小田原支部
2月7日	NIさん移行カンファレンス	精陽学園
2月12日	YO君家族面接	精陽学園
2月14日	KA君障害支援区分認定調査	精陽学園
2月20日	KA君後見人調査面接	横浜家庭裁判所小田原支部
2月20日	KK君移行カンファレンス	精陽学園
2月21日	KY君移行カンファレンス	平塚養護学校
2月23日	KA君GH体験(送迎)	ファミリー岡崎
2月25日	KA君GH体験(荷物引上げ)	ファミリー岡崎
2月27日	KA君後見人打ち合わせ	精陽学園
3月1日	YO君移行カンファレンス	精陽学園
3月6日	KA君後見人打ち合わせ	精陽学園
3月9日	MNさん移行カンファレンス	精陽学園
3月11日	KAさん就職内定者会社説明会	登別石水亭
3月13日	MSさん移行カンファレンス	精陽学園
3月13日	YT君移行カンファレンス	精陽学園
3月16日	KA君後見人挨拶	県平塚児相
3月21日	KY君退園・移行	七沢自立支援ホーム
3月31日	MNさん進路面接	精陽学園

10. 過齢児の移行支援(対象者3名、アフターケア6名)

日時	内容	場所
4月5日	FEさんサービス等利用計画作成面接	精陽学園
4月8日	SY君サービス等利用計画作成面接	精陽学園
4月12日	FEさんサービス等利用計画確認面接	精陽学園
4月14日	SY君移行	ワゲン療育病院長竹
4月21日	YNさん移行カンファレンス	精陽学園
6月13日	FEさん母との面接	精陽学園
6月20日	FEさん移行カンファレンス	精陽学園
7月14日	YNさん川崎授産学園聞き取り	精陽学園
7月15日	YNさん施設見学	川崎授産学園
7月25日	FEさん移行カンファレンス	精陽学園
8月5日	MSさんアフターフォロー	越谷市 学生寮
9月20日	YNさん移行前カンファレンス	川崎授産学園
9月23日	MTさんアフターフォロー	ばらの里・フロス寺尾
9月29日	MTさんアフターフォロー	七沢学園
10月13日	YNさん移行	川崎授産学園
11月3日	FEさん保護者面接	精陽学園
12月15日	SY君アフターフォロー	ワゲン療育病院長竹
12月15日	DI君保護者面接	精陽学園
1月17日	YNさんアフターフォロー	川崎授産学園

11. 入所児童の関係機関とのカンファレンス

日時	内容	場所
4月18日	RTさんカンファレンス	藤沢市役所
4月21日	EIさんカンファレンス	精陽学園
5月12日	RTさん退所前カンファレンス	精陽学園
6月7日	KA君心理判定報告会	県平塚児相
6月17日	IH君家族支援カンファレンス	精陽学園
6月21日	SN君振り返りカンファレンス	精陽学園
7月14日	KA君心理判定報告会	平塚児相
9月7日	IH君家族支援カンファレンス	聖園こどもの家
9月16日	AR君振り返りカンファレンス	精陽学園
10月18日	ASさん心理導入についての話し合い	精陽学園
11月2日	HH君振り返りカンファレンス	精陽学園
11月30日	TO君カンファレンス	精陽学園
12月8日	IH君家族支援カンファレンス	精陽学園
12月16日	OT君保護者対応話し合い	川崎市こども家庭センター
12月26日	KY君心理判定結果報告会	精陽学園
2月9日	OT君保護者対応話し合い	川崎市こども家庭センター
2月10日	OT君保護者対応話し合い	精陽学園
2月13日	SN君振り返りカンファレンス	精陽学園
2月16日	EIさん振り返りカンファレンス	精陽学園
3月2日	AIさん振り返りカンファレンス	精陽学園
3月8日	IH君家族支援カンファレンス	聖園こどもの家

12. 入所児童の園内カンファレンス

日時	内容	場所
5月12日	S・N入院前のカンファレンス	精陽学園
5月18日	KY進路カンファレンス	精陽学園
5月26日	HYさん通院カンファレンス	精陽学園
6月10日	SN君就学カンファレンス	精陽学園
6月15日	OTくん家族対応カンファレンス	精陽学園
6月16日	KA君進路カンファレンス	精陽学園
6月20日	US君入院カンファレンス	精陽学園
6月24日	YKさん通院カンファレンス	精陽学園
6月27日	RN君生活対応カンファレンス	精陽学園
7月16日	YK君保護者との話し合い	精陽学園
8月5日	OT君家族対応カンファレンス	精陽学園
8月11日	KA君進路カンファレンス	精陽学園
9月2日	SN君就学カンファレンス	精陽学園
9月15日	YT君就園カンファレンス	精陽学園
10月11日	SN君入院カンファレンス	精陽学園
10月31日	MSさん就学カンファレンス	精陽学園
10月31日	IH君就学カンファレンス	精陽学園
11月1日	OY君就園等カンファレンス	精陽学園
11月10日	YT君就園カンファレンス	精陽学園

11月13日	OY君就園等カンファレンス	精陽学園
12月1日	KA君進路カンファレンス	精陽学園
12月9日	OT君家族対応カンファレンス	精陽学園
12月28日	OT君家族対応カンファレンス	精陽学園
1月17日	YO君進路カンファレンス	精陽学園
1月24日	US君入院前カンファレンス	精陽学園
2月7日	OT君家族対応カンファレンス	精陽学園
3月23日	YKさん通院カンファレンス	精陽学園
3月29日	YKさん通院カンファレンスさん	精陽学園

13.短期入所児童の関係機関とのカンファレンス

日時	内容	業者名
2月21日	RTさん情報交換	精陽学園
3月6日	RTさん情報交換	精陽学園
3月14日	SK君情報交換	精陽学園

14.施設管理関係

日時	内容	業者名
4月8日	業務用洗濯機 廃棄	日本アサヒ機工
4月14日	介護用ベッド納入	メディケア
4月18日	医務室FAX設置 設定	ソリューション
4月21日	洗濯場配給水工事	アルプスエフエイ
4月26日	ボイラー点検	アルプスエフエイ
4月27日	男女棟廊下部分補修	小島組
5月2日	調理場排水管清掃	山王総合
5月10日	女子棟汚物除去機 製造業者点検	東京洗染機械製作所
5月23日	カーテンメンテナンス	キングラン
5月24日	自家用電気工作物の年次点検	伊藤電気
5月26日	ボイラーバルブ交換	アルプスエフエイ
5月27日	蟻駆除	精陽学園
6月8日	害虫駆除	秋山興業
6月11日	浴室手すり改修工事	小島組
6月21日	害虫駆除	秋山興業
6月22日	平塚保健所巡回指導	平塚保健所
7月4日	定期床清掃	誠管理
7月14日	電気動力検査	伊藤電気
7月20日	かもめ居室カーペット交換	キングラン
9月1日	害虫駆除	秋山興業
9月15日	スズメバチ駆除	精陽学園
10月21日	ボイラー点検	アルプスエフエイ
10月27日	漏洩遮断装置(PAS)設置工事	伊藤電気
11月30日	防災設備点検	河村総合防災
12月2日	浄化槽法定点検	秋山興業
12月11日	廊下補修工事	小島組
12月21日	女子棟給湯器修理	アルプスエフエイ
1月27日	定期床清掃	誠管理
1月30日	女子棟汚物処理器調整	東京洗染機械製作所
2月3日	ボイラー点検	アルプスエフエイ
3月15日	害虫駆除	秋山興業
3月29日	玄関鍵の取り付け	アイエンタープライズ

15.見学者

日時	対象者・団体	目的
10月4日	寒川町民生委員児童委員	研修会
10月15日	介護労働安定センター受講生	就職見学
11月24日	おぎや一献金	寄付者見学
3月8日	おぎや一献金	冊子掲載

平成 28 年度

事業報告書

社会福祉法人 至泉会

ソ ー レ 平 塚

I 障害者支援施設

1. 概況

(1) 入所者の動向

平成 29 年 3 月 31 日現在、入所利用 52 名（定員 50 名）、短期入所登録者 145 名（定員 6 名）入所待機者は 34 名となっています。

平均年齢は 59 歳で、最高年齢は 77 歳、最低年齢は 21 歳となっています。

65 歳以上の方が 24 名で全体の 46% を占めています。利用者の高齢化に合わせたサービス内容の見直しを今年度も随時行いました。

3 月より一時的に長期入所されていた方が 5 月末に単身生活に復帰され退所されています。また、6 月に長期に渡って胃瘻と吸引を必要とされていた方が昼夜問わず吸引が必要な状態となり、療養型病床へ移行されました。今年度は 2 名の方が退所され、老人保健施設と病院より 2 名の方が新規入所されています。（「表 1-1」～「表 1-5」、「表 3-5」）

(2) 安全配慮への取り組み

利用者の高齢化と重度化により、日々の介助量が増えています。記録などの事務業務の効率化を目指し、記録ソフトを導入しました。多岐にわたっていた記録の一元化や閲覧、確認、情報の共有が迅速に行われるようになったことで、会議や日々のミーティング時間の短縮に繋がり、これにより、利用者支援にかかる時間の確保の改善ができました。

身体機能の低下への対応として、介助方法の見直しを昨年度行ってきましたが、今年度も介助中に起きたと思われる骨折事故がありました。継続的な見直しが必要となり、リハビリ委員を研修に派遣して介助方法の知識を深め、施設内で伝達研修を行い、再度の見直しを行いました。

(3) 地域のニーズへの対応

障害福祉サービス等地域拠点事業・障害福祉サービス地域ネットワーク強化事業（湘南西部あんしんネット）は、看護職員の不足から十分な受け入れが出来ませんでした。看護師の補充を進めながら改善に向けて努力しています。また、地域のネットワーク強化については、湘南西部圏域の短期入所事業所の窓口の連絡会を 10 月に実施しました。窓口担当者が顔の見える関係になることで、利用者を一事業所だけで支えるのではなく、地域の短期入所事業所が連携して支える体制づくりを目指しています。

(4) 安定した職員体制

職員体制については、生活支援員を通常必要とする人数より 1 名多く雇用していましたが、年度途中で 2 名退職した為、1 名の補充が必要となりましたが、年度

内の補充は出来ませんでした。看護師については、常勤の看護師 1 名の補充が出来ていませんでしたが、9 月より派遣看護師を 1 名雇用しています。夜勤看護師は 3 名を新しくアルバイト雇用しましたが、他病院や他事業所を主として働いている方ということもあり、必要なシフトを組むことが難しくなっています。引き続き常勤看護師の募集をしています。

(5) 社会貢献

社会貢献として横浜保護観察所の実習生を 8 月に 2 名、12 月に 3 名の受け入れを行いました。

毎年 4 月には地域の神社のお祭りの神輿の休憩所として協力をさせていただきました。また、施設設備を一般開放して会合や講演会に使用して頂いております。

(6) 防犯対策

津久井やまゆり園で起きた事件を受けて、防犯対策の見直しを行いました。平塚警察と連携しての防犯研修の実施や各出入口の施錠時間や方法の変更などを行い、安心して過ごせる環境作りを検討しました。

9 月に平塚警察が開催した防犯研修に参加し、不審者対応について学びました。2 月には施設内研修として平塚警察署職員を講師に防犯研修を実施しました。

2. 運営課題

(1) 思いに寄り添った支援

利用者の思いをより理解してその思いの実現に繋げるために、利用者と担当職員の意向を尊重し、全職員が一致した関わりが出来るような取り組みをエンパワメント委員会にて実施しました。個別支援計画の実現に向けた利用者本人との話し合いの場を重ねることを大切にし、結論を急がずに進めました。対話を重ねることで信頼関係が築け、本心（ニーズ）が聴けるということを学びました。「クリスマス会で漫才をやりたい。」という思いから対話を重ねたことで、利用者自身が積極的に練習に取り組み、思いを実現することが出来ました。

(2) 活発な地域との関わり

平塚市役所で行われた「てんそく（展示即売会）」（4 月、6 月、10 月、12 月）、や「YES,愛DO！音楽祭」、では作品販売を行いました。13 人の利用者が参加し、ボランティアや来場者との交流の機会を持つことができました。

防災については、今年度も 7 月に寺田縄自治会で行われた防災訓練に職員が参加し、災害時の対応の確認や地域の備蓄情報を交換しました。

また、金田地区地域史研究会による空襲体験者の講話「平塚空襲体験談を聞く」を当施設レインボーホールで開催し、約 40 名の地域の方が参加されました。（表

1-15」 「表 2-6」)

(3) 円滑なリハビリテーションの実施

昨年度より引き続き、非常勤職員として理学療法士 4 名、作業療法士 3 名、言語聴覚士 1 名、鍼灸あん摩マッサージ師 2 名によるリハビリテーションを実施しました。年度途中で理学療法士 1 名の退職がありましたが、リハビリ委員会が中心となり、医師の定期的な診察を基にリハビリ実施計画のカンファレンスを実施し、訓練の計画から評価までを行いました。

(4) 健康管理に対する取り組み

個々が日々の暮らしの中で健康に対する意識を持ち、その人にとって健康で楽しい生活を送れているのかを考えながら健康状態の把握を行っています。優しく寄り添い、居心地の良い雰囲気の中で生活が送れるように配慮し、心身の苦痛の緩和とストレスの軽減を図り免疫力の向上を促しています。加齢に伴う心身の変化の把握に努め、感染予防対策・事故防止対策に対して各職員が共有認識を持って行えるように努めました。

(5) 楽しい食事の提供

今年度も旬彩の日を 4, 6, 9, 11, 2 月に実施し、生しらす丼、鰻の刺身、鰻丼、散らし寿司、マグロの漬け丼を提供し、旬の食材を見た目にも楽しんでもらえました。また、スペシャルランチデーでは、希望が多い握り寿司を 11 月に提供しました。行事食ではお正月にお刺身を提供し大変喜んでいただくことができました。

(「表 1-17」)

(6) 安心できる生活

医療的ケア（痰の吸引、胃瘻）がある方の心身機能の低下に伴い、当施設においてどこまで寄り添い、支援を継続出来るかということに直面しました。夜間も含めて頻回な吸引を必要とする状況では夜間に医療従事者がいなければ適切な対応は出来ないという判断で、病院、家族と話し合っ健康管理が適切に行える療養型の医療機関に移行して頂くこととなりました。利用者にとっては住み慣れた環境で生活が続けることが希望ではありましたが、施設としては現体制での限界であると判断しました。高齢化、重度化に伴い安心できる生活とはどういうものなのかは、継続的な課題として考えていきます。

(7) やりがいの持てる職場づくり

法人の研修計画に則り、内部研修、外部研修への派遣を行っています。階層別研修（6, 7 年目）では昨年度行った地域支援センターとの交換研修で学んだことを整理し、階層別研修（2~5 年目、8~18 年目、リーダー研修）では、虐待防止に関する知識を深め、今までの支援の振り返りを行いました。

7月に名古屋で行われた全国身体障害者施設協議会主催の研究発表大会ではソーレ平塚での人材育成について実践報告を行いました。

外部研修で学んだことを実践の場で生かしていく為に、伝達研修を2回実施しました。研修で学んだことが深まると共に、他職員にも内容をより分かり易く伝えることが出来ました。

3. 事業内容

(1) 生活支援

①個別支援

- a. 利用者と担当者が十分な話し合いを行い年間の目標、課題を達成するための個別支援計画を立案、実施しました。支援目標は、それぞれの項目に評価期間を設定して、カンファレンスを行い、目標課題の評価を行いました。必要があれば再評価期間を設定しました。
- b. 課題の設定及び評価の際には、必要に応じてリハビリ実施計画（生活支援評価表）を活用し、専門職の意見又は評価を取り入れることにより、理論的な検証を行いました。また、可能な限り当事者も参加し、グループ会議を中心に意見交換を行っています。利用者本人の評価は必ず取り入れ、個別支援計画が利用者自身のものとなるように取り組みました。
- c. 利用者の健康管理、安全な生活を確保するうえでやむを得ず、身体拘束にあたる行為をする際には、その状況を適宜見直し、不必要に身体拘束が行われないように取り組みました。

②健康管理

- a. 利用者の健康管理については、生育歴・障害と病歴・家族背景・年齢・服薬の長期継続、生活習慣などによる個別性を考慮し、生活支援員・各セラピスト、看護師・嘱託医（内科医、整形外科医、精神科医）との連携を行っています。専門的な科目が必要な場合は地域の協力病院へ通院を行いました。

入院者は延べ15名で、消化器疾患6名、皮膚感染症3名、呼吸器疾患3名、症候性てんかん発作1名でした。短い間に複数回入退院を繰り返す方が1名いました。誤嚥性肺炎にて入院し、回復が思わしくなく転院し退所となった方が1名いました。消化器疾患の退院後、定期的な排泄ケアが必要となった方が3名いました。尿路感染症を繰り返しカテーテル留置が必要となった方が1名いました。9月下旬から10月中旬にかけて23名の呼吸器感染がありました。伝染病以外の感染症拡大防止対策を見直しマニュアル化しました。9月に居住者49名の胸部レントゲン撮影を行いました。11月に50名のインフルエンザ予防接種を行いました。

た。インフルエンザ罹患者は2名でした。（「表 1-11」「表 1-12」）

- b. 加齢や障害の進行により、疾患の重症化と長期化の傾向がみられ、医療的ケアの必要性が増しています。体調の把握と早期発見、早期対応に繋がる連携を深め、重度化の予防に努めました。また、重度障害児者医療研修の資格取得を進めるとともに、有資格者の知識、手技の確認を行いより安全な医療的ケアの提供を継続するためのフォローアップ研修を2名に対して実施することが出来ました。食事、排泄などの生活にかかわる医療的ケアについては、生活支援員・看護師が協働で取り組みました。
- c. 利用者自身が自分の健康管理に関心を持ち、取り組めるような支援を心がけています。やりたいことの実現に向けて体調維持、感染予防や事故防止の為に必要な環境整備、手指消毒や着衣の調整、水分補給などに配慮しています。

日々の生活が安心して優しさ思いやりを感じながら過ごせるよう、職員はしぐさや言葉遣いに気を配り、利用者に目を向けた支援を心がけました。
- d. 杉山デンタルクリニックの医師には往診と歯科検診のご協力頂いています。口腔内の衛生を保ち、適切なケアを行うことは誤嚥性肺炎を始め合併症の予防と安定した食事摂取などの健康維持に欠かせない部分です。12月に33名の歯科検診を行いました。ありがとうみんなファミリークリニック平塚には、主に臨時通院や肺炎球菌ワクチン予防接種などの協力を頂いています。おしげ皮フ科クリニックには往診のご協力を頂き居住者に負担の少ない遠隔診療も取り入れ必要時は通院を行いました。まきの耳鼻科医院、もりた眼科クリニックには必要時の通院を行っています。久保田整形外科医院には、三木医師と連携し必要時のレントゲン撮影などの協力を頂いています。（「表 1-8」）

③リハビリテーション

a. 理学療法

理学療法士（週2～3回）により、身体機能の評価、個別メニューを実施し、補装具等の作成を行っています。

リハビリ実施計画（生活支援評価表）を活用し、利用者の日常生活動作の再評価を実施しました。

b. 臨床心理

臨床心理士（月に1回）により、定期的なカウンセリングや必要な検査を行いました。

c. 言語療法

言語聴覚士（週に1回）により、定期的な言語指導を個別又はグループプログラムで行っています。また利用者の摂食状況について、随時評価・指導を頂き、

必要な訓練を現場で実施しました。

d. 作業療法

作業療法士（週に3回）より、日常生活動作及び作業等における評価を行い、訓練メニューの実施、自助具の作成等を行いました。

e. 摂食指導

歯科医師の指導内容を基に、個々の障害の状況に適した食事形態のメニューの提供、食事介助、姿勢の保持、個別訓練を定期的にSTやOTの評価を受け、継続しています。

10月と2月に摂食指導の専門医による研修を行いました。

f. 鍼灸マッサージ

鍼灸按摩マッサージ指圧師により、身体の痛みの軽減やストレッチを定期的に11人実施しています。ニーズが増えており、医師、理学療法士と連携して実施回数を調整しています。

④栄養管理

管理栄養士が中心となり、多職種協働で栄養ケアマネジメントを実施しました。食事委員会や食事時間の巡視等を通じて、利用者の健康状態の改善に努めています。今年度は体重計を新調し、利用者の身体的負担の軽減や正確な計測が出来るようになりました。全体の1割程の方が偏食の傾向があるため、継続的に食事摂取量を毎食記録して把握に努めました。体重が減少傾向にある人に対しては、苦手な物は代替品を用意したり、栄養補助食品を提供したりしたことで、体重が増加傾向に改善することが出来ました。過体重の人へのアプローチは難しく課題が残っています。

食形態がミキサー食になると、食欲が湧かず食事摂取量が落ちる人もおり、見た目、美味しさを継続して見直しています。

⑤アクティビティ活動

a. クラブ活動

ボランティアを指導者として、定期的にコーラス、陶芸、車椅子ハッピーダンス、華道・茶道、絵画、七宝焼き、将棋の活動を行っています。書道とパソコンについては、非常勤の生活支援員による活動支援を行っています。発表、展示、販売等の場を通じて目的と意欲を持って活動できるよう支援しました。

b. 趣味活動

利用者が主体となって企画を行い、定期的にローリングバレーボール、卓上競技、ポッチャ、料理、創作、映画を実施しています。地域行事であるYES、愛DO!、展示即売会等にも参加し作品の販売をしています。ローリングバレーにおいては6月の神奈川交流大会では結果を残せませんでした。9月の身障協ローリングバレー

ボール大会ではBブロックで2位、3月のぱっする杯でも見事に2位を獲得することが出来ました。

c. 外出

単独外出が難しい方には職員が付き添い、介護タクシー、バス、電車などの交通機関を利用して外出するなど、個々の自立度に合わせた外出を支援しています。

単独で外出できる方には、口頭で職員に確認して頂き、外出されています。

個別支援計画に沿っての買い物や日帰り旅行を楽しまれる方が増えています。有料ヘルパーや介護タクシー等を積極的に使い、顔なじみとなることで利用者の外出に対する不安が軽減されています。(「表 1-14」)

d. 喫茶アモーレ

隔週の水曜日にボランティアのご協力を頂き、地域支援センターと連携して喫茶店を営業しています。職員の配置と協力いただいているボランティア団体のご都合もあり、回数が減っていますが非常勤職員の役割や、メニューを見直すなどして利用者に満足をしてもらえるような実施方法を随時検討しています。

⑥行事

a. 車椅子が固定できる観光バスにて5月に富士芝桜まつり、9月に東京ディズニーランドに日帰り旅行ができました。職員、ボランティアが付き添い、利用者の皆さんも安心して旅行を楽しむことが出来ました。多くの笑顔が見られて、大変満足して頂くことが出来ました。

b. 8月の納涼祭は、天候が心配されましたが屋上での開催ができました。沖縄のお祭りをテーマに行い、利用者だけでなく来客者にも大変喜んで頂きました。今年度も当日の運営には多くのボランティアにお手伝い頂きました。

c. 展示即売会など、平塚市内の関係施設合同の作品販売の機会には継続して参加が出来ます。日々の創作活動や陶芸、七宝焼きなどの趣味活動の作品を販売用として数多くは制作が出来ないため、ソーレ平塚地域支援センターと協力して出品しました。(「表 1-15」)

⑦社会適応訓練

今年度は地域生活移行プログラムの立案等を必要とするケースはありませんでした。利用者個々の地域生活の可能性を今後も探り、支援を進めていきます。

4. 苦情解決制度

(1) 苦情解決に対しては、施設長が苦情解決責任者となり、苦情解決窓口には3名の職員を配置しています。

苦情解決システムでは、3法人による「J S Yネット」を設置して、8月30日、

2月16日に会合が開かれ、苦情解決責任者、第三者委員が参加しました。

- (2) 施設内では、毎月居住者との懇談会を行っており、情報の提供や日々の生活面の話し合いを繰り返し行っています。同時に、生活委員会を設置し、施設設備面や介助場面での課題の検討を行いました。
- (3) 今年度は1件の苦情を受け付けました。内容はベッド柵の付け忘れ、ナースコールの設置忘れなどが多いので、やるべきことを忘れることなく支援をしてほしいという内容でした。職員2人で介助忘れが無いかを確認することを改善策として取り組み、ご本人に説明をして了承を得ています。

5. 防災訓練

4月に新人職員を対象に消火設備の説明と消火器訓練及びマニュアル説明をしました。6月に平塚消防署を招き、消火器訓練と火災の特徴と施設における火災時の避難方法の講話を行いました。7月は水害想定での避難訓練を実施しました。9月には防災設備の自主点検、10月は防災倉庫の点検、夜間想定での避難訓練、11月は緊急連絡網訓練、2月に通報訓練を実施しました。

また、今年度も7月に行われた寺田縄地区防災訓練に職員1名が参加し、地域の備蓄品についても確認をさせて頂き、ソーレ平塚の備蓄品のリストを自治会担当者にお渡しして情報の共有を図りました。(「表 1-16」)

6. 事故報告と防止対策

(1) 介護事故

①件名：左前腕橈骨、尺骨のひび

日時：平成28年5月26日(木) 19:00頃

対象利用者：62歳、男性、横須賀市による支給決定

概要：車椅子からベッドへの移乗介助(二人で上半身と下半身に分かれて行う)時にご本人の腕がベッド等に当たったり挟んだりしないように上半身を担当した職員が背後から両腕の手首を掴んで移乗介助を行ったところ、ご本人の左手首を痛めてしまう。28日(土)の入浴後に腫脹、熱感がみられ、通院しレントゲン撮影し左前腕橈骨、尺骨にひびが入っていることが分かる。

原因：高齢化による骨の脆弱化と同様の介護を継続してきたことでの負担の積み重ねと介助時に力が必要以上に入ってしまったことが原因と思われる。

利用者の状況：三角巾、シーネ固定。患部を保護する介護を行う。

対策：ご本人の腕を介助者は持たず、ご本人自身で腕を前で抱えて頂く介助方法に変更する。

(2) 転倒事故

①件名：額部の皮下出血

日時：平成 28 年 5 月 23 日 5:30 頃

対象利用者：43 歳、男性、真鶴町による支給決定

概要：起床介助時に車椅子のクッションを厚みのあるものに替えて欲しいと訴えがあったが、座面が高くなることで不安定になると職員が助言するも、ご本人が替えることを強く希望された為、希望に沿ってクッションを替えた。その後、ご本人自身がやはり高さが合わないと思い、一人で前屈して臀部を浮かせてクッションを外そうとしたところ、前方に倒れてベッド柵に額をぶつけて転倒してしまった。

ご本人が声を出して職員を呼び発見され、ボディチェックを行うと額部にたんこぶが出来ており、アイスノンで冷やす。その後通院し CT 撮影するも異常なく、様子観察となる。

原因：車椅子のクッションには適さないクッションを使用したことと、クッションを外す行為を単独で行ってしまったことが原因。

利用者の状況：患部のクーリングで様子を見る。以後、状態に変わりなく過ごされる。

対策：職員側で危険を認識しご本人にその危険な状況をご理解いただけない場合は、対応者を代えるなどして理解して頂く様に努める。また、座クッションをはずす動作は一人では危険であるので、職員を呼んで頂くようにご本人にお話しする。

セラピスト（作業療法士）と相談して、ご本人に合った座クッションの購入をする。

②件名：左足第 5 指ひび

日時：平成 28 年 6 月 10 日（金）5:15 頃

対象利用者：67 歳、男性、平塚市による支給決定

概要：早朝、中庭の地面に直接座っているところを発見し、ボディチェックと痛みの有無を確認して車椅子に移ってもらい、以後は経過観察としていた。19:15 の就寝介助時に右足指を痛がる様子があり、通院しレントゲン撮影をし右足第 5 指にひびが入っていることが分かる。

原因：中庭で育てている植物に水やりと草むしりをするために低い位置にあったホースやプランターに手を伸ばしてバランスを崩して車椅子から落ちてしまったことが原因。

利用者の状況：テーピング固定と痛み止めを処方されるが、痛みの増強もなく、生

活には支障なし。

対策：作業療法士に動作の評価をしてもらい、プリンターを地面に直接置かず台を入れて作業しやすい高さとする。また、水やりに必要なホースは施設内に置き、必要な時に外に出して使用して頂くようにする。

③件名：頭部打撲

日時：平成 28 年 8 月 21 日（日） 17:50 頃

対象利用者：68 歳、男性、藤沢市による支給決定

概要：施設行事の納涼祭時に会場である屋上に施設内の階段を使用して上階に行くとしたところ、3 段目付近で足を滑らせて後方に転倒して後頭部を床に打ち付けてしまう。後頭部にたんこぶができ、痛みもあった為、通院し CT 撮影を行った結果、特に異常はみられず経過観察となる。

原因：当日はご本人が作成したねぶたの披露を担当し、気分が高揚しており注意力が散漫であったと思われる。そのような状況で職員側も階段の使用が危険であるということを注意することが出来なかった。また、屋上への移動には他部署の職員も協力してくれており、その職員にも本人の注意点を十分に伝えられていなかったことが原因。

利用者の状況：1 か月程度は注意して経過観察。1 か月経過後も異常は見られず。

対策：施設内行事などでエレベーターを使用する際は混雑し、エレベーターを待つ時間がある。ご本人も待ちきれず階段で移動したいという気持ちになるので、エレベーターを使用するようにその時に改めて注意喚起する。また、利用者の対応で他部署職員の協力を得る際には身体状況の注意点等の情報をしっかりと伝達し共有する。

④件名：頭部裂傷

日時：平成 29 年 3 月 3 日（金） 18:20 頃

対象利用者：55 歳、男性、平塚市による支給決定

概要：居室よりナースコールがあり、訪室するとベッド柵に掴まって転倒している。左目の上に裂傷があり出血している。看護師により患部を圧迫し止血してガーゼ保護する。裂傷部が深く、頭部を打っている可能性があるため、救急車により平塚市民病院に搬送する。左目上の裂傷は 4 針の縫合を行い、頭部については、24 時間の経過観察となる。

原因：ベッド柵に掴まり、車椅子から立ち上がりベッドに移ろうとした時か、着替えを行おうとした時に足を滑らせて、ベッドの角の金具に左目上をぶつけてしまったことが原因。

利用者の状況：3 月 10 日に通院し、傷が塞がったため抜糸を行い、通常の生

活に戻る。その後も異常は見られず。

対策：本人に一人での移乗等での立ち上がりは危険であるので職員を呼んでいただくように話をする。また、危険性の理解が十分でないので、同時間帯の本人の行動を再度確認して、行動を未然に防げるように訪室する時間を検討する。高次能機能障害により情緒が乱れている時には傾聴や声掛けを行い安定に努める。

ベッドについては、金具部分に緩衝材を取り付ける。

(3) 交通事故

①件名：両膝打撲、右足部捻挫、右肩捻挫

日時：平成 29 年 3 月 19 日（日）11:58 頃

対象利用者：62 歳、女性、平塚市による支給決定

概要：電動車いすにて単独外出で道路右側を走行中に T 字路右側より左折してきた乗用車と接触してしまう。相手方の手配で救急車要請、警察へ連絡。目立った外傷は無かったが救急車にて東海大大磯病院に搬送。レントゲンの結果異常はなし。両膝打撲、右足部捻挫、右肩捻挫と診断される。

原因：相手方の不注意で本人が視界に入っておらずに接触してしまったことが原因。

利用者の状況：右足部はシーネ固定し、痛み止めの内服で経過観察となる。

対策：買い物先へのルートを再確認し、より安全なルートを選んで走行をしていただくようにする。

(4) 誤嚥事故

①件名：誤嚥

日時：平成 29 年 3 月 10 日（金）8:15 頃

対象利用者：50 歳、男性、秦野市による支給決定

概要：食事介助で白米を食べている最中に咽込み始め、タッピングをしても解消しない状況となる。看護師によりタッピング、吸引を行う。酸素飽和度が一時 70 台まで落ちるが徐々に回復する。救急車要請し、平塚市民病院に搬送される。病院到着後、吸引とレントゲン撮影を行う。喉のつまりは解消され、肺もきれいとのことで帰所となる。

原因：疾患による嚥下力の低下に加えて、大腸から小腸にガスが多量に貯留しており、腹部が膨満していたことが原因。

利用者の状況：帰所後より大きな変化はなく、経過している。

対策：食形態を飲み込みやすい形態に変更する。また、排便処置を毎日施行して、腹部が柔軟になるように努める。言語聴覚士の評価のもと、嚥下訓練

を実施する。

②全体的な対策（継続事項）

利用者の機能低下がみられた際には、咀嚼、嚥下力を医師、看護師、言語聴覚士等と評価したうえで食形態を決定して提供しました。また、食事時間におけるアルバイト職員の配置などで見守り体制を強化した対応を継続しています。

（5）服薬事故対策

薬の飲みこぼし、食前薬の飲み忘れ、配薬時のセットミス防止のために、飲み込みまでの確認の徹底、注意喚起の札の活用、セット時の複数確認と対策を立てています。内服薬だけでなく点眼薬なども増えているので、ヒヤリはっと委員会を中心にマニュアルと事故防止対策の見直しを継続しています。

7. 安全衛生

職員の健康管理では、今年度も産業医との個別面談の実施を継続しております。また、ストレスチェック制度の導入についても産業医と相談をしながら準備を進めて、7月に全職員を対象に実施しました。

喫煙場所については、利用者居室に近い屋外に設けていましたが、副流煙の影響を考慮して利用者居室からは離れた施設北側に新しく喫煙所を設置しました。新たに設置した喫煙所は建物の裏で、職員の目が届きにくい場所のため、利用者の安全確保と防犯のためにカメラを設置し、スタッフルームから喫煙所と喫煙所に行くまでの通路の状況を見ることが出来るようにしました。

8. その他

（1）ボランティアの受け入れと地域交流の充実

金田小学校等と定期的な交流は継続していますが、金田保育園は運営主体が市から民間に委託され、先方の都合により交流は出来ていません。今後、徐々に再開をしていく予定です。

前述のクラブ活動への協力以外では、喫茶アモーレ、納涼祭の手伝いを始めとした陸上競技大会や七夕まつり見学等でボランティアを受け入れました。（「表 2-6」）

（2）広報活動

① 法人機関紙「しせん」を9月に発行しました。3月に「ソーレ燦々」を発行しました。

② ホームページを適宜更新し、インターネットによる情報の発信を行っています。

③ 4月、6月、10月、12月のてんそく（市役所展示即売会）、5月のYES,愛

DO!音楽祭、8月のカップ祭り、1月の障害者による展示即売会等で作品の展示や販売をし、地域の方々に当施設の活動を広めています。

- ④ 6月、7月、10月、2月に神奈川県肢体不自由養護学校 PTA 連合会、7月に金田地区地域史研究会にレインボーホールを開放しました。

(3) 外部会議等

施設外部の会議に委員として参加しました。神奈川県身体障害施設協会 卓上競技委員会・体育委員会・文化委員会。(「表 2-4-1」～「表 2-4-3」)

(4) 物品寄付

申請を必要とする寄付はありませんでした。

(5) 補助金

福祉車両 トヨタ エスクァイアの購入

購入後 17 年が経過していたマツダデミオの経年劣化により買い替えが必要となり、中央競馬馬主社会福祉財団から補助金の助成を受けて、車両を 1 台購入しました。

業 者 (株) 横浜トヨペット

金 額 3,395,200 円 (内、助成額 2,420,000 円)

(6) 寄付金

寄付金 34 件 166,000 円

(7) 工事等

① ナースコールシステム入れ替え工事

導入後 17 年が経過し、修理部品の製造も中止されており故障時に対応が出来ない為、入れ替え工事が必要となりました。

業 者 (株) ケアコム

金 額 10,519,200 円

② 記録ソフト「Taskware」の導入

日誌、個人記録、健康記録、看護記録等の事務時間短縮、記録の管理徹底を図り、利用者支援の充実の為に記録ソフト「Taskware」を導入しました。

業 者 (株) アシスト・ワン

金 額 5,000,000 円

(8) 車両の購入

① 福祉車両 トヨタ シエンタの購入

購入後 17 年が経過していたトヨタライトエースの経年劣化により、車両の買い替えを行いました。

業 者 (株) 横浜トヨペット

金額 2,201,640 円

②福祉車両 トヨタ エスクァイアの購入

※P13 (5) 補助金 参照

Ⅱ 短期入所事業

1. 利用者の状況

(1) 安定した良質なサービスの提供

ベッド稼働率は平均 59.9%で、実数として 373 件、利用者延べ数 1,313 人となっています。

窓口担当職員から利用者の近況や家庭の状況、行政や相談支援事業所からの情報を職員に周知し、利用者、家族ともに安心してご利用いただけるよう配慮しました。新規でご利用される方は、面接では聴き取れない部分や普段の様子を、ご家族の了承を頂いて実際に利用している他事業所から聴き取るようにしました。

定期的に利用されている利用者の家庭訪問を 1 件行いました。家庭での過ごし方や在宅介護での家族の思いに寄り添い、より利用者や家族のニーズに近づけていけるよう情報を職員に周知しました。

長期入所者のインフルエンザや風邪の拡大などで、利用を控えて頂くことが 2 回ありました。短期入所サービスを安定して提供するためにも、長期入所者の健康管理が重要となっています。(「表 3-1」)

(2) 関係機関との調整

緊急時の対応では、相談支援事業所との連絡を密に行い、利用者のご家族の安心につなげていけるようにしました。長期利用となる場合は、関係機関から情報を頂き適切な対応ができるように配慮しました。利用に繋がらなかったケースも記録を残すことで次の利用の際にスムーズに対応できるようにしました。

また、湘南西部圏域と神奈川県短期入所担当職員で交流会を開き、情報を交換することで、連携を強化することができました。

(3) 地域支援センターとの連携

地域支援センター職員との情報交換を行い、利用者の ADL 状況などを踏まえ、適切な介助で対応できるようにしました。記録ソフトを活用し、利用中の様子を的確に地域支援センターへ提供することが出来ました。通所時に利用している連絡ノートにご家族とのやりとりを記録し、齟齬が生じないように努めました。

(4) 湘南西部あんしんネット事業の実施

医療的ケアや行動障害などから短期入所を利用することが困難だった重度の障害者に短期入所サービスを実施しています。利用者の状態に合わせて、夜間看護師の配置、生活支援員の増員をして支援を行いました。

今年度は 138 件、延べ人数にして 384 人の利用がありました。全短期入所利用件数のうち 29.2%を占めています。看護師の補充が十分に出来なかったことと、施設内で感染症が流行したことが影響して利用者数の減少がみられました。

7 月と 11 月に「地域ネットワーク強化事業県域会議」が開催され、県内の受託事業者間の現状の情報交換を行いました。他圏域の状況を知ることが出来、当圏域での今後事業展開の参考となりました。

参考資料

1. 利用者の状況 (52名 平成28年4月1日～平成29年3月31日現在)

[表1-1]月別、入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
初日在籍	52	52	52	51	51	52	52	52	52	52	52	52
入所	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末在籍	52	51	51	51	52	52	52	52	52	52	52	52

[表1-2]機関別、利用者数

	湘南西部保健福祉圏域				湘南東部			横須賀・三浦			県央		県西	他	合計		
	平塚	森野	伊勢原	大磯	二宮	藤沢	茅ヶ崎	寒川	横須賀	鎌倉	三浦	葉山	綾瀬	厚木		真鶴	川崎
男性	11	2	1	2	1	3	2	1	2	1	1	0	0	0	1	0	28
女性	10	2	1	0	1	2	1	0	1	0	1	1	2	1	0	1	24
合計	21	4	2	2	2	5	3	1	3	1	2	1	2	1	1	1	52

[表1-3]入退所の経路

	[入所]							[退所]						
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	合計	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	合計
学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在宅 無職	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
在宅 作業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在宅 就労	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在宅 通所施設	1	0	0	1	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0
入所施設	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1
病院	0	1	1	1	2	1	6	0	0	1	1	1	2	5
その他	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	2	6
合計	2	1	2	3	4	2	14	1	1	3	2	4	2	13

[表1-4]障害別、等級別、利用者数

	脳性まひ	脳血管障害	頭部外傷	脊髄損傷	脊髄小脳変性症	多発性硬化症	筋ジストロフィー	悪性リウマチ	てんかん	脊椎カリエス	その他	合計	1級	2級	3級
男性	8	9	6	2	1	0	0	0	0	0	2	28	18	9	1
女性	14	2	1	3	0	1	0	0	2	1	0	24	17	6	1
合計	22	11	7	5	1	1	0	0	2	1	2	52	35	15	2

[表1-5]男女別、年齢表

	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～	合計
男性	0	1	2	2	6	6	6	5	28
女性	0	1	3	3	3	1	5	8	24
合計	0	2	5	5	9	7	11	13	52
平均年齢					男性 59歳	女性 59歳	全体 59歳		
					最高齢 77	最年少 21歳			

[表1-6]障害支援区分

	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	0	7	21	28
女性	0	0	0	1	6	17	24
合計	0	0	0	1	13	38	52

[表1-7]男女別、日常生活動作一覧表

	起座			立ち上がり			着脱衣			整容動作			歩行			車椅子使用			
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	使用無
男性	9	2	18	9	5	15	6	6	17	5	13	11	2	6	21	13	7	7	2
女性	2	6	15	2	7	14	1	12	10	6	10	7	1	2	20	13	6	4	0
合計	11	8	33	11	12	29	7	18	27	11	23	18	3	8	41	26	13	11	2
	食事			入浴			寝返り			おむつ使用			排泄						
	自立	一部介助	全部介助	胃ろう	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	体交	自立	一時使用	常時使用	自立	一部介助	全部介助	導尿等	摘便等
男性	19	5	2	4	2	5	22	13	5	11	7	15	2	12	7	5	17	4	5
女性	10	11	2	0	0	8	15	9	4	10	9	3	7	13	2	5	16	4	5
合計	29	16	4	4	2	13	37	22	9	21	16	18	9	25	9	10	33	8	10

[表1-8]病院別、通院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平塚市民病院	6	12	7	4	7	3	4	4	5	4	3	6	65
平塚共済病院	3	5	6	2	2	6	4	3	6	8	6	3	54
東海大学伊勢原病院	1	2	2	4	2	3	3	4	1	2	3	3	30
東海大学大磯病院	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	5
県総合リハビリテーション病院	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	4
川井内科医院	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
杉山デンタルクリニック	11	9	4	4	1	1	1	3	14	14	16	3	81
もりた眼科	3	6	5	3	2	3	2	5	3	4	4	6	46
まきの耳鼻咽喉科	4	3	3	2	2	3	3	7	4	7	5	3	46
伊勢原協同病院	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2	1	15
久保田整形	0	1	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	7
おしげ皮フ科	2	0	5	4	6	6	0	4	2	3	5	5	42
静岡てんかんセンター	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
済生会病院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ありがとうファミリークリニック平塚	2	8	0	2	1	3	15	1	2	0	9	2	45
内田クリニック	2	2	1	2	0	1	1	2	1	1	1	1	15
その他	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	38	52	41	32	25	33	35	39	40	46	55	36	472

※1回の通院で複数の科の受診あり。

[表1-9]医務室診察状況(嘱託医、協力医)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本多先生(内科)	26	95	96	97	93	99	121	101	52	52	51	51	934
三木先生(整形外科)	4	18	20	21	8	9	9	11	10	17	5	8	140
渡邊先生(精神科)	10	11	8	8	10	11	10	10	10	11	11	11	121
杉山先生(歯科)~往診	9	0	0	8	8	9	6	6	5	6	8	0	65
おしげ皮フ科(皮膚科)~往診	3	6	0	8	0	5	6	12	0	8	11	9	68
合計	52	130	124	142	119	133	152	140	77	94	86	79	1328

[表1-10]診療科目別、通院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	7	11	7	5	4	5	18	4	5	2	14	6	88
神経内科	2	4	2	3	1	3	1	3	2	1	3	1	26
外科	1	1	1	0	0	0	1	0	0	3	0	0	7
整形外科	2	1	4	3	0	0	0	2	0	0	1	2	15
歯科	11	9	4	4	1	0	1	3	14	14	16	3	80
皮膚科	3	1	5	4	6	8	0	5	2	3	5	1	43
耳鼻科	4	3	3	2	2	0	3	7	4	7	5	3	43
眼科	3	6	5	3	2	0	2	5	3	4	4	6	43
泌尿器科	5	10	7	5	6	6	3	7	10	5	5	4	73
小児科	0	1	0	0	1	1	1	2	0	1	1	0	8
循環器科	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3
脳外科	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	4
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	2	0	6
ペイン	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	14
救急外来	0	6	1	1	2	2	3	1	1	1	0	6	24
ストマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	40	55	41	32	27	26	35	41	42	46	58	34	477

[表1-11]医務室処置状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	3	7	33	39	50	31	43	33	31	32	28	36	366
皮膚科	969	1045	845	1058	1078	1247	1166	1084	1176	1314	1285	1211	13478
泌尿器科	284	270	256	283	283	273	282	283	288	288	297	292	3379
整形外科	49	64	104	79	96	56	55	50	45	71	85	83	837
浣腸・摘便	127	139	182	156	161	202	176	177	179	181	166	215	2061
経管栄養	326	365	338	291	293	296	285	281	296	290	277	292	3630
胃瘻	123	125	120	105	101	102	100	102	105	103	94	103	1283
検温	966	910	680	721	825	947	948	726	663	757	982	1169	10294
内科	690	758	741	679	617	779	822	767	667	648	635	770	8573
耳鼻科	31	46	58	30	30	32	61	60	61	95	119	95	718
眼科	738	690	625	834	660	629	686	987	1045	1003	923	1078	9898
健康相談・傾聴	4	9	7	10	6	6	3	10	11	17	10	7	100
ストーマ	2	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	5
検便・検尿	0	2	0	5	0	1	1	0	0	37	1	1	48
採血	3	0	0	17	22	0	0	4	3	38	4	4	95
心電図	1	0	0	0	0	1	0	1	0	21	12	16	52
体重測定	21	20	21	7	21	23	19	28	23	30	21	28	262
胸部レントゲン	0	0	0	0	0	49	0	0	0	0	0	0	49
インフルエンザ予防接種	0	0	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	50
婦人科	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7
その他(※1)	35	33	37	41	42	39	34	42	37	44	48	51	483
合計	4372	4483	4047	4362	4286	4715	4681	4685	4630	4969	4987	5451	55668

(※1) 爪きり、口腔ケア、フットケア、マッサージ、逆さ睫毛抜き、バルン固定水チェック、剃毛、クーリング等

[表1-12]入院状況、入院理由

病院名	4月1日～9月30日		10月1日～3月31日		年間	
	延べ人数	延べ日数	延べ人数	延べ日数	延べ人数	延べ日数
平塚市民病院	7	123	0	0	7	123
平塚共済病院	1	28	3	35	4	63
東海大大磯病院	1	34	0	0	1	34
伊勢原協同病院	1	5	2(1)	23	3	28
小計	10	190	5	58	15	248

	氏名	性	病院	診療科	病名	入院期間	
1	H.M	男	平塚市民病院	神経内科	症候性てんかん	4/12	～ 4/20 9日間
2	S.K	男	平塚市民病院	消化器内科	腸閉塞	5/8	～ 5/18 11日間
3	F.N	男	平塚市民病院	消化器内科	蜂窩織炎	5/20	～ 6/3 15日間
4	S.T	女	東海大大磯病院	総合内科	右臀部膿瘍	5/6	～ 6/8 34日間
5	K.S	男	平塚市民病院	内科	誤嚥性肺炎	5/22	～ 6/8 18日間
6	S.K	男	平塚市民病院	消化器内科	小腸イレウス	6/4	～ 6/17 14日間
7	M.H	男	平塚共済病院	内科	誤嚥性肺炎	5/26	～ 6/22 28日間
8	F.N	男	平塚市民病院	内科	胆石性胆嚢炎	6/6	～ 7/5 30日間
9	F.N	男	平塚市民病院	消化器内科	上行結腸炎	7/24	～ 8/18 26日間
10	F.Y	女	伊勢原協同病院	皮膚科	左下肢蜂窩織炎	9/26	～ 10/4 9日間
11	D.N	女	平塚共済病院	呼吸器内科	腎盂炎・上気道炎 胆石性胆嚢炎 胆石症	9/31	～ 10/14 15日間
12	D.N	女	平塚共済病院	呼吸器内科	尿路感染症・脱水症 胆石症	10/21	～ 11/2 13日間
13	K.S	男	伊勢原協同病院	外科	下血後の精密検査	1/31	～ 2/2 3日間
14	F.K	男	平塚共済病院	消化器内科	イレウス	3/4	～ 3/10 7日間
15	K.S	男	伊勢原協同病院	消化器内科	インフルエンザ 誤嚥性肺炎	2/28	～ 3/15 16日間

[表1-13]趣味・クラブ活動

活動種目	回数	ボラ	1回の参加者
書道教室	週1	1名	5名
パソコン教室	週2	2名	2名
陶芸教室	週1	2名	2名
華道・茶道教室	月1	3名	14名
囲碁・将棋教室	週1	2名	2名
七宝焼きクラブ	月1	1名	5名
コーラスクラブ	月2	1名	8名
絵画クラブ	月2	1名	2名
車いすハッピーダンス	月1	10名	11名
コーロピアチエーレ(コーラス)	週1	1名	3名
ローリングバレーボールクラブ	週1		6名
卓上競技	年3		11名
ポッチャ	年3		10名
創作	年3		10名
映画	年3		7名

[表1-14]外出

外出手段	利用方法	利用者
単独外出	公共交通機関を利用した外出、電動車いすでの外出、近隣への散歩・買い物等	5名
介護タクシーの利用	日帰りでの観光、買い物、美術館、食事等	15名
職員の付き添い	個別支援計画における外出 アクティビティ活動における外出等	47名
その他	職員のボランティアによる外出等	3名

[表1-15]行事

	地域行事	施設行事
4月	春のてんそく(市役所展示即売会) 日枝神社例大祭	花見
5月	Yes.愛do! 県陸上競技大会 金田小学校運動会 まちぐるみ大清掃	菖蒲湯 スペシャルランチデイ 日帰り旅行(富士芝桜見学)
6月	ローリングバレー神奈川交流大会 夏のてんそく(市役所展示即売会)	卓上競技交流大会 ドッグヒーリングスペース
7月	湘南平塚七夕まつり 金田保育園納涼会 寺田縄自治会自主防災訓練	スペシャルランチデイ
8月	金田地区盆踊り ローリングバレー審判実技講習会 カップ祭り	納涼祭 プール外出
9月	県ローリングバレー大会 精陽学園秋まつり	アモーレイベント 金田小4年生との交流 日帰り旅行(ディズニーランド)
10月	赤い羽根共同募金 秋のてんそく(市役所展示即売会) 金田敬老福祉まつり 金田保育園運動会 桑野市文化祭(茶道) 金田地区市民レクリエーション	スペシャルランチデイ ドッグヒーリングスペース
11月	社会福祉展 身障協ステージ発表 平塚ふじみ園作品展示 長持ふれあい祭 まちぐるみ大清掃	インフルエンザ予防接種 卓上競技ソーレ杯 地域交流会(ゴスペル)
12月	すこやか園ふれあい祭 冬のてんそく(市役所展示即売会)	茶道クリスマス会 クリスマス会 ゆず湯
1月	日枝神社歳旦祭 どんど焼き 金田公民館新春の集い 身障協作品展示・販売 障がい者による展示即売会	お屠蘇アモーレ 初詣外出 家族懇談会・コンサート(コーラス) 餅つき 日帰り外出(浅草)
2月	身障協卓上競技大会	節分豆まき
3月	ローリングバレーぱっする杯 金田公民館まつり	スペシャルランチデイ 第三者委員との相談会 ボランティア懇談会

[表1-16]防災訓練

実施日	内容
4月15日	河本防災、ミツウロコによる新採用職員等を対象とした防災設備の説明。消火訓練。
5月30日	消火器の使い方と火災予防の講話。地域支援センターと合同で実施。
7月29日	水害想定での避難訓練。スロープ使用にて3階までの避難。地域支援センターと合同で実施。
9月7日	施設内の消防設備の自主点検。
10月3日	防災倉庫の管理を目的とした、倉庫内の整理整頓と、機材、器具の操作、組立ての確認。非常食の炊き出しと試食。
10月28日	夜間の火災を想定した避難訓練、宿直者との連携。利用者も参加して実施。
11月30日	火災を想定した緊急連絡網を使用しての連絡訓練。
2月1日	防犯訓練。不審者対応について、平塚警察職員を講師に講話と実技の訓練を行う。
2月15日	火災を想定した消防署への通報訓練。

[表1-17]選択食及び行事食

	選択食	行事食
4月	煮豚定食orラーメン	【旬彩の日】生しらす丼 桜エビのかき揚げ
5月	ねぎとろ丼or焼き鳥丼	端午の節句(こどもの日) 羊羹 スペシャルランチ 豪華洋食ランチ
6月	クリームコロッケorやきそば	【旬彩の日】鯉の刺身 もずく酢他
7月	白身魚のトマトチーズ焼きor グリルチキンデミソースがけ	土用の丑の日 スペシャルランチで鰻丼提供
8月	鯉のたたきor釜揚げしらす丼	【納涼祭】 焼き鳥、やきそば、から揚げ、ホットドッグ
9月	秋刀魚塩焼きor南瓜コロッケ	【旬彩の日(お彼岸)】鮪丼 他
10月	海老フライor秋刀魚のかば焼き	ハロウィン パンプキンシチュー スペシャルランチ 秋の和洋折衷ランチ
11月	牛肉の煮込みor 白身魚酒蒸し梅肉ソース	【旬彩の日】秋の味覚ちらし寿司 蛸汁他
12月		クリスマス会 特選ハンバーグ、バターライス、菓子パン(4種類)、フライドチキン、ベジタブルツリー、クリスマスケーキ、ポタージュスープ 他 12/19~25 クリスマスお楽しみ週間
1月	鶏つくねバーグorお魚ハンバーグ	1/1~3 正月料理 御節料理、赤飯、刺身盛り合わせ 他
2月	おでん(5種類)orほっけの干物風	節分 洋風メニュー:ポークビーンズ 【旬彩の日】マグロの漬け丼 浅利汁 他
3月	メバル桜蒸しor豚の角煮	ひなまつり 散らし寿司、茶碗蒸し、桃ゼリー スペシャルランチ 和洋折衷ランチ

[表1-18]食事形態

H29.3末日

形態	形態		摂取量	男	女	合計
	そのまま	ご飯				
常食	そのまま	ご飯	通常 1600kcal	4	3	7
			油脂制限食 1600kcal	1	0	1
	一口大	ご飯	通常 1600kcal	1	2	3
			制限 1400kcal	3	2	5
小計			9	7	16	
軟菜食	一口大	ご飯	通常 1600kcal	1	2	3
			油脂制限食 1600kcal	1	0	1
	お粥	付加 1800kcal	1	0	1	
		通常 1600kcal	1	0	1	
		通常 1400kcal	0	2	2	
		油脂制限食 1400kcal	1	0	1	
		塩分制限 1400kcal	0	1	1	
小計			5	5	10	
ミキサー	中間食	ご飯	通常 1600kcal	1	0	1
			付加 1800kcal	1	0	1
	お粥	通常 1600kcal	4	4	8	
		制限 1400kcal	0	4	4	
		制限 1200kcal	0	1	1	
		小計			6	9
	ソフト食	お粥	通常 1600kcal	1	0	1
			お粥ペースト 通常 1600kcal	0	3	3
			付加 1800kcal	1	0	1
	ペースト食	お粥	通常 1600kcal	2	0	2
お粥ペースト 通常 1600kcal			2	2	4	
小計			5	3	8	
経管栄養	胃ろうのみ			2	0	2
	ソフト食		嚥下訓練食	※1	0	3
	小計			3		5
合計			28	24	52	

※普段は経管栄養(胃ろう)を使用し、昼食のみ訓練食を提供しています。

2. 施設運営の状況

[表2-1]職員採用、退職職員(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	法人内異動		採用				退職				平成29年4月1日現在				合計
	転入	転出	常勤	準職員	パート	バイト	常勤	準職員	パート	バイト	常勤	準職員	パート	バイト	
施設長											1				1
事務員											1				1
管理栄養士											1				1
サービス管理責任者											1				1
生活支援員		1			1	4	2			2	29		5	13	47
看護師					1	3				1	2		2	5	9
看護師(派遣)													1		1
相談員															0
理学療法士															0
医師(委託)														3	3
理学療法士(委託)										1				1	1
作業療法士(委託)										1				1	1
臨床心理士(委託)															0
言語聴覚士(委託)														1	1
鍼灸マッサージ師(委託)														1	1
宿直、日直						1				1				9	9
運転						1								1	1
合計	0	1	0	0	2	9	2	0	1	5	35	0	8	35	78

[表2-2]施設内部研修会等

実施日	内容	講師	対象
4月1日	新採用職員オリエンテーション	施設長、島田、佐藤	新採用職員
2016/4/	新採用職員研修(他、日、日)	各部署担当者	新採用職員
4月22日	全体職員会議(他、25日、27日、28日)	施設長、センター長、各部署担当者	全職員
6月22日	6、7年目研修会	施設長、小原、中川	6、7年目職員
8月3日	2～5年目研修会	施設長、古山、佐藤	2～5年目職員
8月10日	リハビリ研修	尾羽、荻野、佐藤OT	生活支援員
10月5日	8～18年目研修会	施設長、宮、福田	8～18年目職員
10月24日	摂食指導講習会	歯科医師	生活支援員、看護師、管理栄養士
11月16日	リーダー研修会	施設長、島田、佐藤	グループリーダー
1月30日	1年目研修会	施設長、星野、福田	1年目職員
2月1日	防犯研修	平塚警察職員	生活支援員、看護師、管理栄養士等
2月27日	摂食指導講習会	歯科医師	生活支援員、看護師、管理栄養士
3月10日	個別支援計画実践報告会	施設長、センター長	生活支援員、看護師
3月24日	虐待防止リーダー研修報告会	尾羽	生活支援員、看護師

[表2-3]外部研修

実施日	内容	場所	出席者
4月1日	法人新採用オリエンテーション	ソレ平塚	板橋、平野
5月10日	特定給食施設等講習会	平塚保健福祉事務所	小山内
6月15日	らくらく介護研修(他、7月5日、13日)	県立保健福祉大学 実践教育センター	尾羽、大平
6月17日	神療協サービス管理責任者研修	県社会福祉会館	島田
6月22日	食品衛生責任者講習会	平塚中央公民館	小山内
6月27日	施設職員交流研修	足柄療護園	小山内
7月2日	喀痰吸引フォローアップ研修	昭和大学	堀
7月5日	県サービス管理責任者研修補足研修(他6日)	サンビアンかわさき	古山
7月21日	全身協研究発表大会(他22日)	名古屋国際会議場	島田、中川、横尾
8月22日	初任者キャリアパス対応生涯研修(他、30日、10月11日、18日)	県社会福祉会館	板橋、平野
8月25日	中堅職員キャリアパス対応生涯研修(他、9月1日)	県社会福祉会館	関
8月27日	高次機能障害セミナー～理解編～	神奈川県総合医療会館	南里
9月7日	防犯研修	貴峯荘	施設長、島田、小原、 星野、古山、松田
9月13日	相談支援従事者現任研修(他、9/14、10/18)	県立保健福祉大学 実践教育センター	小原
9月29日	関東・甲信越ブロック研修大会	ANAクラウンプラザホテル新 潟	施設長
10月4日	スーパーバイザー研修(他、18日、12月5日)	県社会福祉会館	青木
10月13日	神療協施設長研修会	アガベセンター	宮
10月17日	医療的ケアフォローアップ研修会	ソレ平塚	島田、小原、加藤、
10月26日	接遇・マナー研修		板橋
10月28日	ファンリテーション研修	県社会福祉会館	星野
11月10日	防火防災講演会・危険物施設災害防止研修会	横浜ゴム	星野
11月20日	喀痰吸引等フォローアップ研修(看護師対象)	ウイリング横浜	加藤
12月6日	知的障害者の方の身体機能低下への対応(他13日)	神奈川県リハビリテーション病院	横尾
1月10日	虐待防止リーダー研修(他11日)	新霞が関ビル	尾羽
1月12日	平成28年度社会福祉法人・施設職員災害対応研修	県社会福祉会館	加藤、須藤、松田
2月7日	法人理念を实践する接遇研修(他3月8日)	県社会福祉会館	関
2月16日	神療協栄養研修会	ソレ平塚	小山内
2月23日	湘南西部圏域・障害者差別解消フォーラム2017	平塚市美術館ミュージアムホール	小原
3月3日	神療協サービス管理責任者研修	県社会福祉会館	島田
3月4日	当事者参加検討会支援者向け講習会「災害発生!!ま ず避難!!その後どうする!!」	平塚市勤労会館	小山内
3月15日	法人1年目職員研修会	ソレ平塚	板橋、平野

[表2-4-1]外部会議など①

実施日	内容	場所	出席者
4月4日	法人表彰	ソレ平塚	施設長、対象職員
4月18日	法人経営会議	あけぼの園	施設長
4月20日	社会福祉法人等代表者・施設長合同会議	県民ホール	施設長
5月12日	平塚市福祉事業所合同説明会	平塚市教育会館	小原
5月12日	金田小3年生との交流打合せ	ソレ平塚	島田
5月13日	身障協体育委員会引継ぎ	ソレ平塚	施設長、尾羽、田中
5月13日	神療協施設長会議、身障協総会	県社会福祉会館	施設長
5月16日	法人経営会議	精陽学園	施設長
5月17日	法人監事監査	ソレ平塚	施設長
5月18日	平塚市社協福祉施設部会総会	グランドホテル神奈中	施設長

[表2-4-2]外部会議など②

実施日	内容	場所	出席者
5月20日	法人機関紙編集委員会	ソーレ平塚	施設長、福井
5月21日	法人理事会	秦野市文化会館	施設長、島田
6月11日	法人就職相談会	すこやか園	施設長、日下
6月13日	関東ブロック施設長会(他、14日)	パレスホテル大宮	施設長
6月15日	金田小4年生との交流打合せ	ソーレ平塚	島田
6月20日	法人経営会議	ソーレ平塚	施設長
6月22日	福祉ショップありがとう総会	平塚市役所	施設長
6月27日	横浜保護観察所打合せ	ソーレ平塚	島田
7月1日	身障協文化委員会	県社会福祉会館	星野
7月8日	法人機関紙編集委員会	ソーレ平塚	施設長、福井
7月14日	身障協卓上競技委員会	翔の会研修センター	杉谷
7月19日	法人経営会議	すこやか園	施設長
7月19日	地域ネットワーク強化事業県域会議	日経横浜支局ビル	島田
7月26日	神療協施設長会	県社会福祉会館	施設長
7月26日	身障協施設長会	県社会福祉会館	施設長
8月2日	平塚市障がい福祉施設連絡協議会施設長会	平塚市社会福祉会館	施設長
8月5日	身障協体育委員会	県社会福祉会館	施設長、尾羽、田中
8月8日	法人機関紙編集委員会	ソーレ平塚	施設長、福井
8月8日	身障協文化委員会	太陽の家	星野
8月12日	福祉のしごとフェア	日赤横浜ビル	施設長
8月23日	法人経営会議	あけぼの園	施設長
8月31日	法人事務員会議	ソーレ平塚	施設長、城所
9月8日	身障協卓上競技委員会	翔の会研修センター	杉谷
9月9日	湘南西部重心・医療的ケア支援ネットワーク会議	平塚養護学校	島田
9月9日	法人総括安全衛生委員会	ソーレ平塚	施設長、島田、宮
9月20日	法人経営会議	あけぼの園	施設長
9月22日	身障協体育委員会(前日準備)	座間スカイアリーナ	施設長、笹川、尾羽
9月27日	神療協施設長会	県社会福祉会館	施設長
9月27日	身障協施設長会	県社会福祉会館	施設長
10月3日	身障協卓上競技委員会	太陽の家 体育館	杉谷
10月5日	湘南西部短期入所窓口連絡会	ソーレ平塚	島田
10月8日	法人就職相談会	すこやか園	施設長、
10月16日	金田地区敬老福祉祭り	金田公民館	施設長
10月18日	法人経営会議	あけぼの園	施設長
10月19日	身障協施設長会	県社会福祉会館	施設長
10月22日	福祉のしごとフェア	横浜文化体育館	施設長
10月28日	身障協体育委員会	県社会福祉会館	施設長、尾羽、田中
10月8日	身障協文化委員会	七沢更生ライトホーム	星野
11月1日	JSYネット事務局打合せ	ソーレ平塚	施設長
11月4日	地域ネットワーク強化事業県域会議	日経横浜支局ビル	島田
11月4日	短期入所窓口交流会	県社会福祉会館	島田
11月14日	法人経営会議	あけぼの園	施設長
11月18日	関東ブロック施設長会	全社協	施設長
11月19日	法人理事会	秦野市北公民館	施設長、島田
11月25日	法人内部監査	すこやか園	施設長
11月25日	身障協文化委員会	太陽の家 体育館	星野
12月6日	法人臨時経営会議	あけぼの園	施設長
12月8日	身障協文化委員会	県社会福祉会館	星野
12月15日	身障協卓上競技委員会	太陽の家 体育館	杉谷
12月19日	法人経営会議	あけぼの園	施設長
12月20日	津久井やまゆり園事件追悼集会	横浜市健康福祉総合センター	島田

[表2-4-3]外部会議など③

実施日	内容	場所	出席者
1月1日	日枝神社歳旦祭	日枝神社	島田
1月14日	金田地区新春のつどい	金田公民館	島田
1月16日	法人経営会議	精陽学園	施設長
1月17日	法人表彰懲戒委員会	ソーレ平塚	施設長、島田
1月18日	法人相談員のつどい	ソーレ平塚	島田
1月19日	公民館まつり実行委員会	金田公民館	堀
1月24日	神療協施設長会	県民センター	施設長
1月24日	身障協施設長会	県民センター	施設長
1月26日	重心・医療的ケア支援事業所連絡会打合せ	スプラウト	島田
1月27日	湘南西部重心・医療的ケア支援ネットワーク医療機関懇談会	神奈川病院	島田
2月3日	身障協卓上競技委員会	太陽の家 体育館	杉谷
2月3日	湘南西部重心・医療的ケア支援事業所連絡会	ソーレ平塚	島田、小原、加藤
2月9日	県障害者生産活動支援事業「発注に貢献した企業への表彰」	横浜市開港記念会館	施設長
2月10日	湘南西部重心・医療的ケア支援ネットワーク会議	平塚養護学校	島田
2月10日	第2回短期入所窓口交流会	県社会福祉会館	島田
2月16日	JSYネット定例会	はだの松寿苑	施設長
2月17日	法人総括安全衛生委員会	すこやか園	施設長、島田、宮
2月20日	県障害者施策説明会	神奈川自治会館	施設長
2月21日	法人経営会議	ソーレ平塚	施設長
2月23日	関東ブロック施設長会(～24日)	軽井沢プリンスホテル	施設長
3月18日	法人理事会	精陽学園	施設長、島田
3月22日	神療協施設長会	県社会福祉会館	施設長
3月30日	湘南西部あんしんネット支援協議会	ソーレ平塚	施設長、島田、小原

[表2-5]業務連絡会、ケア会議など

実施日	内容	場所	出席者
4月1日	新規入所希望者施設訪問	衣笠ろうけん	島田、加藤、古山
4月5日	短期入所利用者ケア会議	丹沢自立生活センター	小原
4月12日	サンユートの業務連絡会	ソーレ平塚	施設長、小山内
4月22日	短期入所利用者通所事業所訪問	スプラウト	星野、江口
4月28日	短期入所利用者ケア会議	みのりの家	島田
5月10日	サンユートの業務連絡会	ソーレ平塚	施設長、小山内
5月13日	短期入所利用者家庭訪問	利用者自宅	小原、
5月18日	新規入所希望者施設訪問	衣笠ろうけん	島田
6月7日	サンユートの業務連絡会	ソーレ平塚	施設長、小山内
6月9日	退所者引継ぎ(退所先病院事前面接)	高台病院	島田、加藤
7月11日	短期入所利用者通所事業所訪問	スプラウト	島田、加藤
7月12日	サンユートの業務連絡会	ソーレ平塚	施設長、小山内
7月29日	新規入所希望者病院訪問	千葉療養センター	島田
8月9日	サンユートの業務連絡会	ソーレ平塚	施設長、小山内
9月13日	サンユートの業務連絡会	ソーレ平塚	施設長、小山内
10月3日	短期入所希望者家庭訪問	利用者自宅	小原、
10月11日	サンユートの業務連絡会	ソーレ平塚	施設長、小山内
11月9日	サンユートの業務連絡会	ソーレ平塚	施設長、小山内
12月13日	サンユートの業務連絡会	ソーレ平塚	施設長、小山内
1月10日	サンユートの業務連絡会	ソーレ平塚	施設長、小山内
2月14日	サンユートの業務連絡会	ソーレ平塚	施設長、小山内
2月20日	短期入所利用者ケア会議	秦野日赤病院	島田、加藤
3月14日	サンユートの業務連絡会	ソーレ平塚	施設長、小山内

[表2-6]見学、交流、一般開放など

実施日	見学、交流、一般開放	人数
6月8日	神奈川社会福祉専門学校1年生見学	32 名
6月9日	ホール・会議室開放 (県肢体不自由養護学校PTA連合会)	40 名
6月21日	金旭中PTA厚生委員会見学	4 名
6月27日	平塚市福祉部職員見学	32 名
7月1日	平塚養護学校PTA見学	名
7月7日	ホール・会議室開放 (県肢体不自由養護学校PTA連合会)	40 名
7月24日	ホール開放(金田地区地域史研究会)	30 名
9月9日	金田小4年生との交流会	名
9月16日	金田小4年生との交流会	名
9月23日	金田小4年生との交流会	名
10月15日	介護労働安定センター	7 名
10月25日	ホール・会議室開放 (県肢体不自由養護学校PTA連合会)	40 名
2月14日	ホール・会議室開放 (県肢体不自由養護学校PTA連合会)	40 名

[表2-7]実習生の受け入れ

学校名等	期間	日数	人数	受け入れ先
神奈川社会福祉専門学校2年生	5月9日 ~ 6月10日	23 日	2 人	1F 2F

3. 短期入所事業関係資料

[表3-1]市町別、利用者延べ数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
湘南西部	平塚	42	81	61	56	55	76	44	66	53	65	63	77	739
	秦野	18	19	24	26	18	26	14	22	24	16	8	10	225
	伊勢原	6		29	6	16	12	14	7	9	10	5	3	117
	大磯	2	2	2		2	2	2	2	2	2	2	2	22
湘南東部	二宮			2	4	2	2	2	1	1	4	5	1	24
	茅ヶ崎													0
	寒川													0
県西	藤沢													0
	小田原													0
横・三	中井													0
	横須賀					6			7		3			16
県央	厚木	13		17	16	6	10	8	6	5	7	7	10	105
	綾瀬													0
	横浜													0
	その他	2	5	9	12	5	4	7	3	4	6	4	4	65
合計	83	107	144	120	110	132	91	114	98	110	97	107	1313	
稼働率(%)	46	58	80	65	59	73	49	63	53	59	58	58	59.9	

[表3-2]市町別、利用者件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
湘南西部	平塚	13	26	20	18	16	22	15	21	16	21	19	20	227
	秦野	5	6	6	6	6	6	4	5	4	5	2	2	57
	伊勢原	2		3	2	4	5	3	3	2	3	1	1	29
	大磯	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	11
湘南東部	二宮			1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	12
	茅ヶ崎													0
	寒川													0
県西	藤沢													0
	小田原													0
横・三	中井													0
	横須賀					1			1		1			3
県央	厚木	2		2	2	1	1	1	1	1	1	1	2	15
	綾瀬													0
	横浜													0
	その他	1	1	2	3	2	2	2	1	1	2	1	1	19
合計	24	34	35	33	32	38	27	34	26	34	28	28	373	

[表3-3]入所理由・日数別、利用者数

	1日～5日	6日～10日	11日～15日	16日～20日	21日～25日	26日～31日	合計
入院・療養	239	26	0	0	0	0	265
冠婚葬祭	1	2	0	0	0	0	3
介護困難	5	3	3	0	1	0	12
外出	75	3	0	0	0	0	78
その他	14	1	0	0	0	0	15
合計	334	35	3	0	1	0	373

[表3-4]年度別、利用者数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
件数	175	252	281	301	404	397	371	360	373
延べ人数(上)	343	490	541	602	768	823	810	696	696
延べ人数(下)	285	479	598	629	803	736	588	682	617
合計	628	969	1139	1231	1571	1559	1398	1378	1313

[表3-5]市町村別、契約者数

	湘南西部				湘南東部			横須賀・三浦			県央			県西		県外	合計			
	平塚	秦野	伊勢原	大磯	二宮	藤沢	茅ヶ崎	寒川	横須賀	鎌倉	葉山	厚木	海老名	綾瀬	小田原			松田	中井	横浜
男性	43	10	9	1	1	0	2	0	2	1	0	4	1	0	1	0	1	1	2	79
女性	30	8	5	0	2	0	2	1	1	1	1	7	1	1	1	0	0	1	4	66
合計	73	18	14	1	3	0	4	1	3	2	1	11	2	1	2	0	1	2	6	145

[表3-6]男女別、障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	不明※	合計
男性	1	3	8	8	11	45	3	79
女性	1	2	9	4	17	33	0	66
合計	2	5	17	12	28	78	3	145

※ 新障害支援区分に変更後の利用がない為、不明。

平成 28 年度

事業報告書

社会福祉法人 至泉会

ソーレ平塚地域支援センター

I 生活介護事業『ソーレ平塚ケアセンター』

1. 概況

(1) 利用者の動向

平成 28 年 4 月は登録 40 名で始まり、平成 29 年 3 月末日の登録者は 39 名でした。新規利用者の受け入れはなく、解約者は 1 名でした。通所回数を増加した方は、11 月に 1 名、12 月に 1 名の合計 2 名です。延べ利用者人数は平成 27 年度 3,806 名でしたが、平成 28 年度は 3,752 名で 54 名減となっています。出席率は 86.4%で、昨年度より高くなっています。

今年度も現状の登録数を維持し、希望により通所曜日を増加するとともに入所からの同日利用を受け入れました。今後も生活支援センター（相談支援事業）及び入所（ソーレ平塚）と連携を図りながら通所者の受け入れを検討して行きます。【資料 7】

(2) 活動の展開

活動では、達成感や向上心を感じてもらえるよう、利用者のみならず、職員も一緒になって楽しみ、一体感を共有するよう努めました。また、職員は利用者一人一人の生活に目を向け、個々のペースに合わせて活動を提供しました。【表 8-1】

(3) デイサービスの役割

本人・家族から具体的なニーズを聞き取り、個別支援計画を立て職員全体で統一した関わりを持つようにしました。また、提供したサービスが安定した生活に結びつくのかを意識し、計画的な支援を実践することが重要と考えます。必要に応じて、生活支援センターと連携をとり、在宅生活を支援しました。

(4) その他の課題

利用者と家族の高齢化が進む中、介助度も高くなっている事が大きな課題となっています。一人一人に関わる介助の時間が長くなり、設備もトイレ数や静養スペースの確保をはじめ、送迎車における車椅子固定の増加に伴う車両増加、自宅での送り出し、迎え入れに関するヘルパー利用の必要性等がその例です。関係機関が一体となったサービス展開が求められます。学校を卒業し、福祉事業所に通所する利用者にとって通所時間の問題があり、放課後支援で対応していた時間をどう保障するのが、引き続き課題となっています。

2. 運営課題

(1) 活動の更なる充実と地域展開

- ① 毎週月曜日に活動しているローリングバレーボールクラブ（ベルソーレ平塚）は、パス練習とミニゲームを中心とした練習を行い、楽しみながら試合感覚を養いました。各大会に全てのメンバーが出場し、会場の雰囲気と緊張感を楽しみました。
- ② 水曜日のパソコン教室は、ボランティアの先生が高齢のため辞めてしまいましたが、入所の職員 1 名が指導者としてつくことができるようになり、利用者からの細かな要望に応えることが出来ました。

- ③ 毎週水曜日に活動しているコーラス部（コーロ・ピアチェーレ）は、指揮・指導ボランティアとピアノボランティア、利用者、職員と協力して選曲や練習方法を考え取り組みました。また、午後の自主練習にも積極的に参加しています。今年度は3回、発表の機会がありました。
- ④ 月に2回、囲碁ボランティアの方から個別指導を受け、充実した時間を過ごしました。
- ⑤ 小グループでの日帰り外出は、今年度も幾つかのコースから選択してもらい、実施しました。「ズーラシア」、「東海大学建学祭」、「買い物・食事」等、利用者やご家族が喜ぶ外出を実施しました。今年度初めて実施した「日産テクニカルセンター祭り」も好評でした。
- ⑥ 4月に開催予定だったフライングディスク競技会は悪天候のため中止になってしまいました。5月の陸上競技会では、5名の利用者がソフトボール、ビーンバッグ、に出場しました。 【表 8-3, 8-4, 8-5】

(2) グループ活動の充実

- ① 風（知的障害）グループではカレンダー作りや、季節に合った制作を行い、ご家族にも好評でした。また、年に数回ある作品展に向けて、計画的に制作に取り組みました。体を動かす機会も意識して作り、楽しみながら体が動かせる活動を提供しました。
- ② 午後を中心に行っている合同での音楽活動は、ピアノを使用し童謡から歌謡曲まで、利用者からのリクエストに応えながら、参加者全員で歌を楽しみました。
- ③ 空（中途障害者）グループでは、利用者からの要望をもとに身体を動かす活動を取り入れ、身体機能の維持を図りました。午後の時間も、ちぎり絵、麻雀、パソコン、運動等、個々のニーズに合わせて活動の幅を広げました。
- ④ 陶芸の活動では、販売やご家庭での使用目的に合わせ、箸置きや一輪挿し、コーヒーカップや湯呑、人形等、様々な実用的な作品を作りました。
- ⑤ 喫茶ア・モーレを利用者の要望に応え、水曜日以外も活動として取り入れ、利用者同士の憩いの場を提供しました。
- ⑥ 書道教室では、展示機会を増やすことを目標に取り組みました。納涼祭での展示や展示場所を3階作業室前に移し、より多くの方に見て頂けるよう配慮しました。
- ⑦ 七宝教室は、利用者の要望に応え、ボランティアの先生の協力もあって、月2回から3回に増やして実施しました。キットも利用者が選び購入してもらいました。
- ⑧ ゲーム機 Wii を利用したカラオケを新たに行いました。利用者にも好評で、今後も定期的に行っていきます。 【表 8-2】 【資料 9, 10, 11】

(3) 可能な限りのニーズ対応

- ① 2名の利用者に対し、週の通所回数をそれぞれ1回増加し、個々のニーズに応えつつ在宅生活が安定するよう努めました。また、退院後の在宅生活をフォローするために、一時的に通所回数を増加した利用者もいました。

- ② 入浴サービスを一日通して提供する事により、ゆっくりと入浴時間を持てるようにしたことは、利用者にも好評でした。さらに入浴を希望されている方を一人でも多く受け入れられるように職員配置の工夫を行いました。入浴時間を臨機応変に設定したことで、活動を充実させることが出来ました。

(4) 専門職との連携とスーパーバイズの充実

- ① リハビリについては、整形の医師による診察のもと、個別プログラムを作成しました。支援職員を中心に看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師、鍼灸按摩マッサージ師等の専門分野からの意見を取り入れ、支援の参考とすることでリハビリの充実及び、プログラムの改善を図りました。利用者同士の関わりを目的としたグループリハビリを、新たに実施しました。
- ② 理学療法士や作業療法士と連携し、介助の困難な方への介助方法を検討し、職員間で介助方法の統一を図りました。また、これを会議で報告し、チームアプローチによる支援の方向性を明確にしました。
- ③ リハビリニーズに応えるため、理学療法士や作業療法士による個別のリハビリ時間を設け、1日7名程度の利用者に対し、個別リハビリを提供しました。
- ④ 看護師を中心に、日々の健康面に配慮し、本人・家族と相談して健康に通所できるように関わりました。また、体調変化にも気を配り、各関係機関と連携を図りながら、在宅での生活を安心して過ごせるように対応しました。
- ⑤ 運営会議、サービス推進会議、センター会議を通じ、利用者へのサービス向上と職員間での共通認識を図りました。 【表 8-6】

(5) ソーレ愛の12か条の実践

毎月テーマを変え、朝の打合せ時に全員で復唱し常に意識するように努めました。

(6) 個別支援計画

- ① 利用者の希望をもとに個別支援計画を作成し、日々の支援に活かしました。また、各グループに1名の個別支援計画担当者を設け、計画や内容の確認を行いました。会議で検討し、計画と支援方法を職員間で共有することで、適切なサービスの提供に努めました。
- ② 自己選択、自己決定の困難な利用者においては、家族を含めた話し合いの中で、本人が望むもの、好きなことを探し実践しました。

(7) 在宅生活の支援、相談サービスの充実、関係機関との連携

- ① 複数のサービスを利用している方に関しては、ソーレ平塚生活支援センターと連携して他機関からの情報収集を行い、支援の統一を図り、サービスの向上に努めました。
- ② 通所が安定しない利用者に対しては定期的に自宅を訪問し、健康状況の確認とコミュニケーションを取ることで通所の再開を促しました。これにより1名が通所再開につながりました。

(8) ヒヤリはっと・事故報告

- ① 衣類や物の紛失で、「事故報告」が 4 件発生してしまいました。又「ヒヤリはっと」は 17 件あり、一番多かったのは入浴時でした。
- ② ヒヤリはっと・事故が発生した場合は、当日中に職員間で発生した原因や課題を検討し、同じミスが発生させない様に情報を共有しながら改善策を立てました。

(9) 苦情・その他

- ① 8 月台風接近に伴い特別警報が発令された為、ソーレ平塚短期入所の方のみ同日で受け入れ、送迎サービスは困難と判断し営業を中止しました。

3. 防災・防犯対策

4 月、消防設備説明と消火訓練を職員に対して実施し、5 月に消火体験、7 月には水害想定 of 訓練を行い、9 月には防災倉庫点検を行いました。防災倉庫点検では、備品の確認と使用方法を学び、防災に対する意識の向上に努めました。11 月に緊急連絡網を活用した連絡訓練、2 月に火災想定をした通報訓練を実施。また、送迎時の対策として平塚市のハザードマップを参考に、ケアセンター独自のハザードマップを各車両に常備し、大地震に伴う津波からの避難経路、避難場所を各職員が確認し、防災に備えています。実際に送迎車にて、津波想定 of 訓練も実施しました。

防犯対策としては 9 月と 2 月に平塚警察署職員による講話と実技研修を実施し、防犯に対する意識向上に努めました。

4. 委員会・会議

(1) 運営会議

月 1 回 役職者により、課題の整理・検討、外部研修参加の調整、センター会議に向けた内容の検討等を行いました。

(2) サービス推進会議

月 1 回 常勤職員により、利用者調整、課題の具体的な検討、行事の実施計画の打合せ等を行いました。

(3) センター会議

月に 1 回 職員全体で個別支援計画及びモニタリングの検討、課題の検討、研修報告等を行いました。当日は利用者の送り時間を 2 時間早めて実施しました。

(4) グループ会議

センター会議の前には各グループで、個別支援計画及びモニタリングの検討と共有、当月の活動の反省と翌月の予定の打合せ等を行い、充実した支援を目指しました。

(5) その他

- ① ソーレ平塚と合同で行っている委員会、係等について、定期的に課題検討を行いました。(防火管理委員会、食事委員会、編集図書委員会、ヒヤリはっと委員会、安全衛生委員会、ア・モーレ係、フロア一連携会議。)

(6) 外部会議等

神奈川県身体障害施設協会日中活動支援委員会、平塚市障がい者自立支援協議会(身障分科会、企画運営部会、こども部会)、相談支援ネットワーク会議等の施設外部の会議に委員として参加しました。

【表 5-3】

(7) 寄付金

1件 10万円

Ⅱ 児童発達支援事業・生活介護事業 『ソーレ平塚療育園』

1. 概況

(1) 利用者の動向

平成 24 年度より、未就学児を対象とする「児童発達支援事業」と成人利用者を対象とする「生活介護事業」の定員 5 名による多機能型として展開してきました。

今年度、「生活介護事業」は 12 名でスタートしました。7 月には 1 名が、入所施設移行により解約となり、3 月末の時点で登録人数は 11 名です。現在、施設入所移行への待機者は 2 名程挙がっており、親世代が高齢となったことで、在宅生活がますます厳しくなっています。

今年度の総延べ利用者数は 1,182 名で、出席率は 87.8%でした。前年度より利用者数は解約者 1 名分が減少しています。

「児童発達支援事業」は、年少児 1 名が新規に利用を開始しました。上半期は安定した利用ができましたが、12月に体調を崩して以降、入院が続いています。この入院を機に、日常的に医療的ケアを要とする状態となり通所を継続させていくためには、児童発達支援専任の看護師を常に配置している必要性があります。 【資料 12】

(2) 活動の展開

音楽、感覚、運動、外出等一人ひとりが参加して楽しみ、「個別支援計画」に基づいたプログラム展開を心掛けています。また、家族からは外出を希望する声が多く聞かれました。日々の生活から、一歩外へ出て普段と違う雰囲気や刺激を体験してもらいたいという家族の思いを受け止め、工夫をしながら個別の支援や外出の機会を作り、継続的な関わりの中で様々な反応や可能性を引き出しています。 【資料 13, 14, 15】

2. 運営課題

(1) 成人利用者に対するサービスの充実（生活介護事業）

- ① 一人ひとりの身体状況を確認しながら、環境づくりやプログラムを立案しています。健康状態の変化に迅速に対応し、排痰やリラックスを目的とした関わりを行いました。
- ② 個別支援計画は、本人と家族の意向や要望を確認しながら作成し、日々の生活に活かし、それぞれが掲げた目標に沿った取り組みをしています。

(2) 幼児に対する療育の充実（児童発達支援）

- ① 一人ひとりの発達状況や障害特性に合わせた療育を展開しています。療育日は月曜日と木曜日の週 2 回で、療育時間は 9 時 20 分から 13 時 30 分です。個別支援に基づき、日々の療育や関わりに目的と目標を持って取り組んでいます。
- ② 個別での療育が中心となりますが、じっくりと向き合いながら、楽しみを探索するようなプログラムを実施しています。毎年「海の日」に実施してきた卒園生との交流会は、今年で 10 回目となりましたが、卒園後は、ほとんどの児童が養護学校に通いながら、放課後等デイサービスや、タイムケア事業を利用し家庭と各事業所と

の結びつきがしっかり維持できるようになっており、情報交換を目的とした交流会の役目は、今年度をもって終了することとしました。

- ③ 12月にはリフレッシュデーを実施しました。通常より1時間延長し、14:30にお迎えが来るまでの間は、母親は兄弟との時間をゆっくりと過ごすことが出来、家族支援につながりました。

Ⅲ 平塚市地域活動支援センター事業『ソーレ平塚地域活動支援センター』

1. 概況

(1) 利用者の動向

重度重複障害児の放課後支援であるタイムケア事業は、3月末日で4名の登録数となりました。平成27年度の総利用者数261名に比べ、平成28年度は104名の利用と大幅に減少しました。これは卒業による解約者が4名に対し、地域の事業所が増えたことにより新たに利用希望が無かった事が大きな要因です。

一方、地域活動支援センター利用者延べ人数は、28名でした。今後も生活支援センター（相談支援事業所）と連携し、受け入れ先の無い方々に対応していきます。また、受け入れは年間を通して、入所部門と通所部門が協力して行い、細かな要望に応じていきます。 【資料16】

(2) 事業の展開

地域活動支援センターは、活動を目的とした定期利用と、通常の営業時間やサービスでは対応出来ない方の受け入れを実施しました。

学齢児の放課後支援については、平成22年6月よりタイムケア事業を展開し、専属の看護師と支援職員を配置して対応しています。タイムケア登録者は、現在登録している4名のうち3名は医療的ケアが必要な児童です。今後も本人と家族のニーズに応え、利用児が地域で安心した生活が送れるようサポートします。

2. 運営課題

(1) 新しい福祉サービスのニーズ

特別支援学校の卒業生の受け入れ先として生活介護事業が該当しますが、生活介護事業の終了時間は午後4時で、午後5時までには利用者を自宅に送迎しています。しかし、特別支援学校のほとんどの生徒が「家族の就労支援」、「レスパイト」等の目的で、学校終了後に午後6時までの放課後支援サービスを利用しています。つまり、学校を卒業し、福祉事業所に通所し始めると、放課後支援で対応していた時間をどう保障するのか、今後の対応が求められています。

(2) 関係機関との連携

タイムケア事業では、担当者が「放課後等支援事業所連絡会」、「学齢児サービス提供事業所情報交換会」に参加し、各施設の情報共有と今後の課題について検討しています。

IV 平塚市障がい児者相談支援事業『ソーレ平塚生活支援センター』

1. 概況

平塚市から事業を委託された平成 19 年度の相談件数は年間で 1,201 件でしたが、平成 28 年度の相談件数は 5,382 件と、大幅に増加しました。増加の理由は相談支援事業所の存在が地域や各関係機関に浸透したこと、サービス等利用計画作成・モニタリングに伴う電話連絡や調整、利用計画で関わりだしたことで生じた新たな障がい者、障がい者家族のニーズが見えて来たことが大きな要因です。サービス等利用計画作成は、平成 26 年度は 151 件、平成 27 年度は 123 件、そして平成 28 年度は 104 件と減少していますが、モニタリングに関しては、平成 26 年度は 331 件、平成 27 年度は 491 件、そして平成 28 年度は 508 件と増加しています。計画作成の減少とモニタリングの増加の理由に関しては、平塚市において平成 26 年度から本格的にサービス等利用計画作成に取り組んだこと、生活介護等の通所系のサービス支給利用者の利用計画作成サイクルは最長の 3 年であること、また、指定特定相談支援事業所が増加していることが考えられ、利用計画作成よりモニタリングが中心になったことが考えられます。

平成 27 年度は、常勤職員 2 名、パート職員 1 名体制で対応していましたが、平成 28 年 4 月 1 日からは、常勤職員 2 名、パート職員 1 名にケアセンターとの兼任（常勤）相談員を増員し、4 名体制で行いました。

相談支援とは、本人を取り巻く状況の共有による認識のすり合わせが基本であると考えます。本人が望んでないのに関係機関がサービスを提供しようとするのはよくあることです。相談員は利用者と関係を築きながら真意を組みとり、関係機関とも認識や価値観を共有することが大切です。障がい当事者や家族の前向きな気持ちをサポートし、本当にサービスが必要な時に支援できる環境を設定することが大事ではないでしょうか。その為に、相談員は、福祉サービス機関・行政機関・医療機関・教育機関等の地域資源を十分に理解し、機関との連携を深めながら、サービス等利用計画、モニタリングの内容を活用し、当事者一人一人が孤立しないような相談体制の確立を目指していきます。

2. 支援の状況

(1) 相談支援事業実績

平成 28 年度の相談の利用状況は、実人員 209 名、延べ件数 5,382 件。電話での対応が 77%と中心になっています。相談者は、医療・福祉関係者が 46%、本人が 23%、家族が 18%となり、行政からの相談が 13%と平成 27 年度とほぼ同等です。25 年度は本人からの相談が多く割合を占めていましたが、平成 26 年度以降は医療・福祉関係者からの相談が多く、関係機関との連携や相談が多かったということです。内容は、利用調整が 61%、次いで保険・医療・健康管理関係が 10%、施設関係が 6%となっています。

一方、新規相談者は 52 名で、内訳は、制度の案内や紹介、見学同行やサービス調整等をおこなって関係機関に繋がったケースが 26 名。介護保険被保険者の支援に関して担当ケアマネージャーと連携し調整するケースが 3 名。電話や来所相談にて情報収集と情報提供のみで終了となったケースが 22 名でした。その他に、他市からの利用計画作成の相談依頼などもありました。平成 28 年度から新たなサービス等利用計画を作成し、関わりを持ちだした方は 13 名です。

3. 運営課題

(1) 相談員の質の確保

平成 26 年度の上半期の途中にアルバイトの職員の雇用形態を変更することで、勤務時間を増やし、常勤職員 2 名と合わせて 3 名体制で応じてきました。平成 28 年 4 月からは、ケアセンターとの兼任（常勤）相談員を増員し、4 名体制で行っています。相談数の増加、相談の多様化・複雑化に伴う業務量の増加に対応し、一般相談にも力を入れ、よりよい生活への支援を行います。相談スキル向上のために定期的に職員間でケースの検討や意見交換を行い、月に 1 回入所施設（ソーレ平塚）と通所施設（ソーレ平塚ケアセンター・療育園）が相談連絡会を開催し、必要に応じて上司からのスーパーバイズを受けてレベルアップを図っています。また、利用計画は、本人を含めた家族の意向と状況把握に基づき福祉サービスを計画・提供し、その効果をモニタリングで評価するので、PDCA サイクルを書面にて実践していることから、相談スキルは事例を通して向上しています。

(2) 一般的な相談と利用計画のバランスに配慮した業務の推進

毎月、平塚市役所障がい福祉課とのサービス等利用計画作成該当者の事前の調整により、計画作成人数を把握し、業務内容に偏りのないよう心がけています。また、認定調査業務や新規の利用者の相談業務には相談員単独で関わるのではなく、複数の相談員で関わることで広い視野と状況に応じた相談ができる体制を作りました。

(3) 地域ネットワーク化の推進

「ネットワーク会議」、「養護学校との業務連絡会」、「虐待防止ネットワーク」「サロンハッピーひだまり」（視覚障がい者の集い）等に出席しました。学齡児から高齢者、また視覚障がい者まで幅広く関係者・当事者と意見を交換し、ネットワーク化の推進に結び付けました。地域包括支援センター、養護学校や民生委員、地域の自治会等との連携はこれからの地域福祉を作っていく上で欠かすことのできない要素です。平成 26 年度より、会議等に複数の職員で参加することにより、組織内に置いて会議の意味や役割を職員間で共通認識できるように取り組みました。その結果として、職員一人一人が地域におけるソーレ平塚生活支援センターの位置づけを理解し、役割と業務内容の明確化を課題としてとらえています。

(4) 平塚市障がい者自立支援協議会の運営

自立支援協議会が 3 回、企画運営部会が 3 回、身障分科会が 4 回、こども部会に 2

回、計画相談支援分科会に 10 回、当事者参加検討会等に 8 回、出席しました。

(5) 当事者の声を反映させる支援の模索

福祉制度やサービスの展開だけでは、障がい者やその家族の生活が成り立たない現実があります。それは、社会保障費の抑制、貧富の格差拡大、地域や家族力の低下、母（父）子家庭の増加等の社会構造の変化に負うところが大きいです。こうした社会を少しでも障がい者が生きやすい社会に近づけるには、まずは、障がい者のことを地域の人たちに知ってもらう必要があります。平塚市自立支援協議会の中の身障分科会では当事者が中心になり学校、企業、福祉村等に向けて啓発活動を継続的に実施していくことを検討しています。平成 28 年度は旭北地区の民生委員の定例会に参加し、委員でもある視覚障がい当事者が実際の日常の生活を伝えることで、普及啓発を行いました。普及啓発の方法や対象者、手段について課題はありますが、まずはできることから企画し、実施していくことを考えています。

(6) 認定調査の実施

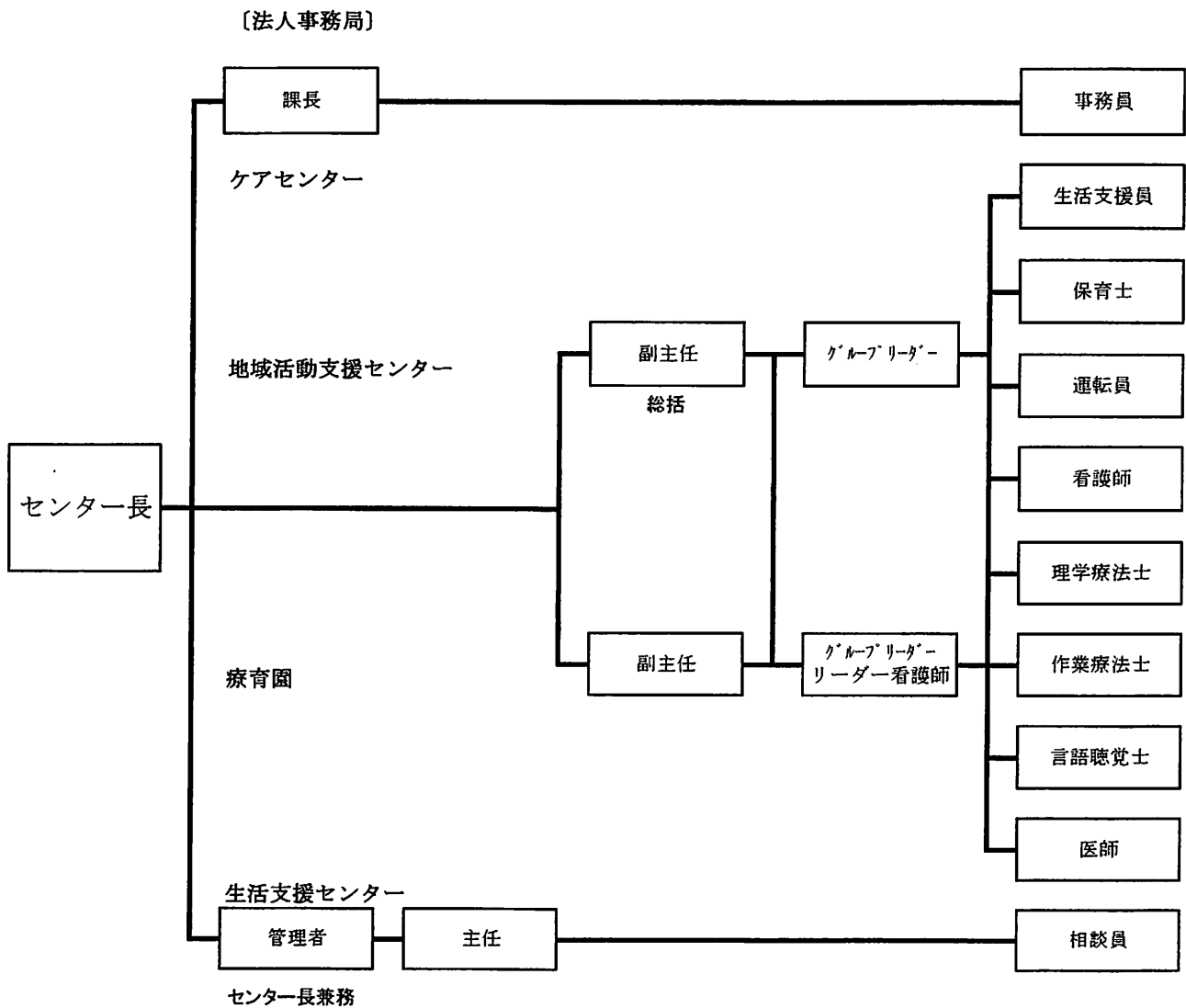
知的・精神・身体障がいと多様な障がい者の方の障害支援区分の認定調査を合計 30 件行いました。平成 26 年 4 月より障害程度区分から障害支援区分に変更したことで着目点が変わり、本人、家族からの意見だけでなく客観的な判断が必要になり、調査員の技量が問われています。

【資料 17】

(資料1) 平成28年度 ソーレ平塚地域支援センター 職員構成図

	常勤	準職員	パート	アルバイト	業務委託	合計
ソーレ平塚ケアセンター	8	0	1	0	6	15
ソーレ平塚療育園	2	0	2	2	2	8
ソーレ平塚地域活動支援センター	0	0	1	0	0	1
ソーレ平塚生活支援センター	2	0	1	0	0	3
法人事務局	1	0	0	0	0	1
合計	13	0	5	2	8	28

(資料2) 平成28年度 ソーレ平塚地域支援センター 組織図



(資料3)

ソーレ平塚ケアセンター・療育園・地域活動支援センター

平成28年度 通所カレンダー

4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				


2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

 → 会議の為14:00早送りです。

 → お盆・お正月休みです。

* 月～金曜日の祝日は営業いたします。

* 上記予定は変更する場合があります。

(資料4) 組織、施設の運営状況

職員採用、退職職員(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

		法人内異動		採用					退職				
		転入	転出	常勤	準職員	パート	アルバイト	委託	常勤	準職員	パート	アルバイト	委託
ケア	センター長												
	サービス管理												
	生活支援員	1	2										
	看護師												
	理学療法士												
	作業療法士												
	言語聴覚士												
	運転手												
療育	嘱託医												
	児童発達支援管理												
	保育士												
	看護師												
	理学療法士												
	作業療法士												
	言語聴覚士												
地活	生活支援員												
支援	相談員												
兼務	管理栄養士												
兼務	事務員												
合計		1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(資料5) 施設内・外部研修及び外部会議・業務連絡会

表5-1 施設内部研修

実施日	内容	講師	対象者
	全体職員会議(4/22. 25. 27. 28)	施設長、センター長等	全職員(運転手を除く)
	非常勤研修	センター長	山崎麻・飯尾・工藤・佐々木・花城・佐藤正・竹内・山崎朋・武藤
	リーダー研修	清水施設長・島田課長・佐藤副主任	中島・小池・荻野
	新人腰痛予防研修	池谷理学療法士	星野
	2・3・4・5年目研修	清水施設長・佐藤副主任・古山副主任	庄司
	防犯研修講習	平塚警察署	向井・福田
	1年目研修	島田課長・福田副主任・星野副主任	星野(未)
	6・7年目研修	辻センター長・中川副主任・小原主任	奥田・羽生田・向井・田島
	8～18年目研修	清水施設長・宮副主任・福田	田島

表5-2 外部研修

実施日	研修内容	場所	出席者
6月15日 7月5日 7月13日	持ち上げない移動・移乗技術	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター	荻野
7月5日～7月6日	複合的なサービス（保険・医療・就労・教育等）	サンピアかわさき	福田
7月16日	全国重症心身障害日中活動支援協議会 第11回関東地区研修会	東京八重洲ホール	中島
6月29日	小児の地域包括ケアシステム作り講習会	平塚保健福祉事務所	中島
7月23日	全国身体障害者施設協議会 研究大会	名古屋国際会議場	田島
8月5日	高次脳機能障害の理解と支援	平塚養護学校	佐藤（正）・竹内・山崎
9月4日	食べる事の障害や問題を持つ子どもへのかかわり方	秦野市北公民館	向井・中島
10月6日～10月7日	第20回全国重症心身障害日中活動支援協議会（2日間）	ホテルグリーンタワー幕張	中島
10月19日	平成28年度早期療育布普及研修	神奈川県総合療育センター	中島
11月18日	平成28年度 にじの会交流会	平塚保健福祉事務所	中島
10月6日	安全運転管理者方定講習会	平塚市中央公民館	佐藤（智）
11月30日	排泄ケアの知識と実践	神奈川リハビリテーションセンター	向井
11月24日 12月13日	障害福祉施設協議会 新任職員研修会	アガペセンター 神奈川社会福祉会館	庄司
12月10日	平成28年度重度重複障害者等支援看護師養成研修	神奈川ナースセンター研修室	小池
平成29年1月12日	社会福祉法人・施設職員災害対応研修会	神奈川社会福祉会館	向井

表5-3 外部会議及び業務連絡会

実施日	内容	場所	出席者
4月1日	法人辞令交付式	ソーレ平塚	荻野 星野
4月6日	経営会議	ソーレ平塚	センター長
4月11日	新人研修（トランスファー）	ソーレ平塚	星野
4月12日	平塚養護学校進路打ち合わせ	ソーレ平塚	佐藤智
4月13日	療育室 精陽学園見学	ソーレ平塚	中島
4月15日	YES, 愛, DO! 音楽祭 実行委員会	平塚なでしこライオンズクラブ	中島
4月18日	経営会議	あけぼの園	センター長
4月21日	身障協 体育委員会 実行委員会	ソーレ平塚	羽生田
4月28日	全体職員会議	ソーレ平塚	全職員
5月9日	YES, 愛, DO! 音楽祭 実行委員会（出演者団体会議）	平塚なでしこライオンズクラブ	中島、星野
5月12日	平塚市福祉事業所合同説明会	平塚市教育会館	佐藤
5月13日	YES, 愛, DO! 音楽祭 実行委員会	平塚なでしこライオンズクラブ	中島
5月16日	経営会議	精陽学園	センター長
5月17日	監事監査	ソーレ平塚	佐藤
5月21日	YES, 愛, DO! 音楽祭 実行委員会	平塚なでしこライオンズクラブ	中島
5月30日	防災訓練	ソーレ平塚	向井
6月2日	平塚市作業所連絡会	平塚市社会福祉会館	田島
6月3日	YES, 愛, DO! 音楽祭 実行委員会	龍泉桜	中島
6月11日	法人就職説明会	ソーレ平塚	羽生田
6月20日	経営会議	ソーレ平塚	センター長
6月24日	身障協体育委員会	神奈川県社会福祉会館	羽生田
6月28日	児童発達支援事業所情報交換会	通園センター	中島
7月14日	卓上協議委員会	翔の会	中島
7月16日	全国重症心身障害日中活動支援協議会	東京八重洲ホール	中島
7月19日	経営会議	すこやか園	センター長
7月22日	全国身体障害者研究発表全国大会	名古屋国際会議場	田島
7月27日	学齢児サービス提供事業所情報交換会	平塚市勤労会館	佐藤 向井
8月5日	高次脳機能障害の理解と支援について	平塚養護学校	山崎 佐藤（正） 竹内
8月22日	経営会議	あけぼの園	センター長
8月25日	平塚市高齢者及び障害者虐待防止ネットワーク会議	平塚市勤労会館	佐藤智
9月4日	摂食研修	あけぼの園	中島 向井
9月5日	防犯研修	貴峯荘	佐藤 福田 向井
9月8日	卓上協議委員会	翔の会	中島
9月9日	湘南西部圏域重心ネットワーク会議	平塚養護学校	佐藤
9月9日	総括安全衛生委員会	ソーレ平塚	センター長、佐藤智
9月20日	経営会議	精陽学園	センター長
10月6日～7日	第20回全国重症心身障害児者日中活動支援協議会	ホテルグリーンタワー幕張	中島
10月18日	経営会議	ソーレ平塚	センター長
10月18日	児童発達支援事業所情報交換会	アグネス園	中島
11月14日	経営会議	すこやか園	センター長
11月18日	にじの会交流会	平塚保険福祉事務所	中島
12月15日	身体障害者施設協議会 卓上競技委員会	太陽の家	中島
12月19日	経営会議	あけぼの園	センター長
1月8日	公民館祭り実行委員会	金田公民館	庄司、中島
1月14日	身障協卓上競技委員会	水平線	向井
1月16日	経営会議	精陽学園	センター長

表5-3 外部会議及び業務連絡会

実施日	内容	場所	出席者
1月18日	肢体不自由部門進路連絡会	平塚養護学校	佐藤
1月19日	公民館祭り実行委員会	金田公民館	庄司
1月19日	平塚市高齢者及び障害者虐待防止等ネットワーク協議会	平塚市勤労会館	佐藤
1月30日	相談連絡会	ソーレ平塚	センター長、佐藤智
2月2日	福祉事業所合同説明会・見学会に関する説明会	平塚養護学校	佐藤
2月3日	身障協 卓上競技実行委員会	太陽の家	中島
2月13日	相談連絡会	ソーレ平塚	センター長、佐藤智
2月21日	経営会議	ソーレ平塚	センター長
2月22日	平成28年度第二回放課後支援関係事業所連絡会	平塚養護学校	向井
3月2日	公民館祭り実行委員会	金田公民館	庄司
3月16日	身障協卓上競技委員会	水平線	中島
3月24日	YES.愛.DO実行委員会	ライオンズクラブ	中島
3月28日	放課後事業所情報交換会	平塚市勤労会館	向井

(資料6) 見学・実習生の受け入れ

表6-1 見学等

実施日	見学、交流、一般開放	人数
6月10日	神奈川社会福祉専門学校1年生施設見学	32名
7月30日	平塚養護学校 高校2年生 親子3組見学	7名

表6-2 実習生の受け入れ

学校名等	期間	日数	人数	受け入れ先
聖ヶ丘教育福祉専門学校	6月6日～6月20日	11日	1人	ケアセンター
鎌倉女子短期大学	10月3日～10月17日	11日	1人	ケアセンター
鎌倉女子短期大学	9月12日～9月26日	11日	1人	ケアセンター
神奈川社会福祉専門学校	9月7日～9月9日 9月24日～9月25日	5日	1人	ケアセンター
神奈川社会福祉専門学校	9月26日～9月30日	5日	1人	ケアセンター
関東学院大学	2月22日～3月9日	11日	1人	ケアセンター

(資料7) ソーレ平塚ケアセンター

支援の状況

表7-1 利用者の状況

平成28年3月31日現在

	登録者	新規	終了	予定数	延べ人員	一般浴	特殊浴	給食	実習生	延べ人数
4月	40	0	0	361	304	25	117	290	0	0
5月	40	0	0	391	330	26	125	306	0	0
6月	40	0	0	377	339	25	121	319	1	1
7月	40	0	0	359	312	23	109	295	0	0
8月	40	0	0	312	260	17	93	245	1	1
9月	40	0	0	378	331	26	123	313	0	0
10月	40	0	0	359	300	23	113	288	0	0
11月	40	0	0	384	330	21	127	306	1	1
12月	40	0	0	343	298	22	108	284	1	1
1月	40	0	0	321	288	24	110	268	0	0
2月	40	0	0	347	299	24	110	277	0	0
3月	39	0	1	409	361	26	121	337	1	1
合計		0	1	4341	3752	282	1377	3528	5	5
平成27年度実績				4480	3806	317	1337			
平成26年度実績				5029	4479	344	1718			
平成25年度実績				5294	4285	304	1791			
平成24年度実績				5064	4166	325	1869			

表7-2 市町村別人数

	平塚市	藤沢市	伊勢原市	二宮町	大磯町	合計
男	22	0	0	1	1	24
女	13	0	1	1	0	15
合計	35	0	1	2	1	39

表7-3 障害別

性別/障害	脳性麻痺	脳血管障害	頸椎損傷	頭部外傷	筋ジス	その他	合計
男	6	4	4	3	2	4	23
女	4	5	0	2	1	4	16
合計	10	9	4	5	3	8	39

表7-4 身障等級別

性別／等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
男	20	2	0	0	0	0	22
女	14	2	0	0	0	0	16
合計	34	4	0	0	0	0	38

表7-5 療育手帳別

性別／療育手帳	A1	A2	B1	B2	合計
男	4	1	0	0	5
女	3	2	0	0	5
合計	7	3	0	0	10

表7-6 精神障害者保健福祉手帳別

性別／等級	1級	2級	3級	合計
男	0	1	1	2
女	1	1	0	2
合計	1	2	1	4

表7-7 障害程度区分別

性別／障害程度区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0	0	4	3	5	12	24
女	0	1	3	2	3	6	15
合計	0	1	7	5	8	18	39

表7-8 年齢別

性別／障害	18～ 19	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 64	65～	合計
男	0	2	6	6	6	2	2	24
女	0	0	1	8	4	1	1	15
合計	0	2	7	14	10	3	3	39

(資料8) 日中活動

表8-1 行事

	内 容
4月	花水川河川敷花見外出、花菜ガーデン花見外出、ソーレ周辺散歩、フライングディスク大会
5月	菖蒲湯入浴、YES, 愛DO!、避難訓練、陸上競技大会
6月	日帰り外出①、施設内卓上交流会、ドッグヒーリングローリングバレー神奈川交流大会、七夕飾りつけ、夏の展示即売会
7月	日帰り外出②、防災訓練
8月	日帰り外出③、日帰り外出④、かつぱ祭り展示会、ローリングバレー審判講習会
9月	日帰り外出⑤⑥神奈川県ローリングバレーボール大会 喫茶ア・モーレイベント①
10月	日帰り外出⑦⑧、秋の市役所展示即売会 ドッグヒーリング、秦野市文化祭の茶席 ふじみ園展示会、福祉フェスティバル、喫茶ア・モーレイベント②
11月	日帰り外出⑨⑩⑪⑫、喫茶ア・モーレイベント③ 身障協ステージ発表、施設内卓上競技大会
12月	地域支援センターお楽しみ会、茶道クリスマス会 日帰り外出⑬⑭、ゆず湯、社会福祉展、冬の展示即売会
1月	日帰り外出⑮⑯、身障協作品展示、コーラス施設内発表会 市民プラザ障がい者作品展示即売会、餅つき
2月	日帰り外出⑰節分豆まき、防災訓練、喫茶アモーレイベント④ 卓上競技大会
3月	ローリングバレーボールぱっする杯、コーラス公民館祭り発表会 地域支援センター懇談会①②、日帰り外出⑱⑲、喫茶ア・モーレイベント⑤

表8-2 創作的活動

	グループ活動	自主活動
知的障害グループ	ショットdeビンゴ、玉入れ、ボッチャ ボール運動、紙すき、風船バレーボール 絵本読み聞かせ、季節にあわせた制作、散歩 壁面制作、音楽活動、カレンダー制作、カルタ 水活動、カラオケ、ゴロ卓球、ボーリング	折り紙、音楽活動、検食簿のお届け ジグソーパズル、ストレッチ体操 日記、学習ドリル、歩行練習、カルタ 塗り絵、似顔絵、お花摘み、読書 ショットdeビンゴ、トランプ、ジェンガ、ドミノ
中途障害グループ	七宝焼き、ちぎり絵、フライングディスク、販売会準備 パソコン、手工芸、カラオケ、コーラス、紙すき、避難訓練 ショットdeビンゴ、ボーリング、ボッチャ、ゴロ卓球、散歩 風船バレーボール、卓上ゲーム、季節にあわせた制作 華道、茶道、陶芸、書道、言語訓練、壁面制作	アロンビーズ、折り紙、クラフト制作、ボッチャ ジグソーパズル、紙芝居制作、連想ゲーム、模写 ショットdeビンゴ、コーラス練習、大人の塗り絵 麻雀、トランプ、ウイ、ジェンガ、坊主めくり 将棋、連珠、将棋、連珠、囲碁、読書、陶芸

表8-3 主な外出先一覧

日帰り旅行等	新江ノ島水族館、辻堂海浜公園プール、 生命の星地球博物館、新江の島水族館、シネプレックス カラオケ・ジグザク、湘南モールフィル、東海大学建学祭 ららぽーと海老名、テラスモール湘南
その他	ソーレ周辺散歩、花菜ガーデン 平塚市役所等の展示即売会

表8-4 趣味活動、ボランティアとの関わり

活動種目	活動内容	回数	ボラ	1回の参加者
書道教室	書道の指導	週1	1名	5~7名
パソコン教室	基本的な使用方法の指導	週1	1名	2~3名
陶芸教室	基本的な作り方の指導	週1	2名	8名
華道・茶道教室	お花、お抹茶の指導	月1	4名	6~8名
囲碁教室	囲碁の指導	月2	1名	1名
ボーリングバレーボールクラブ	大会への参加、練習	週1	1名	5名
七宝焼きクラブ	基本的な作り方の指導	月2	1名	3~5名
ボッチャ	基本的なボッチャの練習	週1	0名	10名
コー・ピアノチェレ	歌の発声、ピアノの伴奏、指導	週1	2名	9名
絵画教室	絵画の指導	月2	1名	1名
美容	美容(有償)	適宜	1名	希望
喫茶アモーレ	喫茶店のウェイトレス	隔週1	14名	希望
オセロ・将棋	オセロ・将棋の指導	適宜	1名	希望
麻雀	マージャンの指導	週1	1名	3~4名

表8-5 スポーツ大会等への参加者

日 時	内 容	参加者人数	会 場
4/17 (日)	県FD競技会	4名	横須賀不入斗運動競技場
5/22 (日)	YES, 愛 DO	7名	トッケイセキュリティー平塚 総合体育館
5/29 (日)	県陸上競技大会	5名	神奈川県立体育センター 陸上競技場
6/11 (土)	ローリングバレーボール大会	7名	藤沢市秋葉台体育館
9/24 (土)	ローリングバレーボール大会	7名	座間市立体育館
10/23 (日)	秦野市文化祭・茶席	2名	秦野市保健福祉センター
11/26 (土)	身障協ステージ発表	7名	藤沢市太陽の家体育館
2/4 (土)	身障協卓上競技大会	2名	藤沢市太陽の家体育館
3/4 (土)	金田公民館まつり	9名	金田公民館
3/11 (土)	ローリングバレーボール大会	6名	座間市立体育館

表8-6 医師の診察

(整形外科/補装具健診・リハビリに伴う診察、歯科、皮膚科)

診察科目	人数	回数
整形外科	19人	10回
歯科	0人	0回
皮膚科	0人	0回

(資料9) 年間行事予定表

4月	花見	9月	お月見	1月	県身障協作品展示
	県卓球・フライングディスク大会		県ローリングバレーボール大会	2月	節分
5月	菖蒲湯				県身障協卓上競技大会
	チャリティーコンサートYes, 愛, do	11月	平塚市福祉まつり	3月	懇談会
	県陸上競技大会		県身障協ステージ発表		ボランティア懇談会
6月	卓上競技ソーレ杯		卓上競技ソーレ杯		ひな祭り
	県ローリングバレーボール大会	12月	クリスマス会		県ローリングバレーボール大会
8月	コーラス部コンサート		餅つき大会		金田公民館祭り
			柚子湯	(通年)	日帰り旅行

(資料10) 週間行事予定表

	午前	頻度	午後	頻度
月	書道	1/週	卓上競技	2/月
	パソコン	1/週	ローリングバレーボール	4/月
	理容	1/月	歯科医往診	2/月
	鍼灸マッサージ師	1/週	臨床心理士	2/月
	作業療法士	1/週	コーラス	1/月
	言語聴覚士	1/週	将棋・オセロ	2/月
火	七宝焼き	4/月	囲碁	2/月
			将棋・オセロ	2/月
水	喫茶アモーレ	1/隔週	喫茶アモーレ	1/隔週
	パソコン	1/週	コーラス	1/週
	七宝焼き	1/月		
	理学療法士	1/週		
	コーラス	1/週		
木	鍼灸マッサージ師	1/週	前田産業医	1/月
	整形外科医			
金	陶芸	1/週	スポーツ	1/月
	華道・茶道	1/月	創作	1/月
			料理	1/月
			カラオケ	1/月
			絵画	2/月
他	美容	適宜		

(資料11) 日課表 (ソーレ平塚ケアセンター)

時間	活動内容	時間	活動内容
8:30	職員打合せ	13:00	バトルチェック
8:50	お迎え出発		入浴、リハビリ、活動
9:50	利用者到着	15:30	利用者帰りの会
10:10	利用者朝の会	16:00	送り出発
	活動、リハビリ、入浴		
11:30	昼食準備	17:00	送迎終了、職員打合せ
12:00	昼食	17:30	業務終了

(資料12)

表12-1 機関別人数

機関名		神奈川県中央児童相談所			厚木児童相談所		合計
市町村名		平塚市	大磯町	二宮町	伊勢原市	秦野市	
成人	男	4	2	0	0	0	6
	女	4	0	0	1	0	5
幼児	男	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	0
合計		8	2	0	1	1	12

表12-2 利用状況・成人

	登録者	新規	終了	予定数	延べ人数	一般浴	特殊浴	給食	実習生	延べ人数
4月	12	0	0	118	99	0	62	95	0	0
5月	12	0	0	125	113	0	71	98	0	0
6月	12	0	0	123	112	0	69	98	0	0
7月	12	0	1	115	103	0	62	88	0	0
8月	11	0	0	95	84	0	45	68	0	0
9月	11	0	0	116	96	0	61	87	0	0
10月	11	0	0	109	81	0	54	85	0	0
11月	11	0	0	115	102	0	58	88	0	0
12月	11	0	0	105	98	0	56	81	0	0
1月	11	0	0	100	90	0	52	77	0	0
2月	11	0	0	104	93	0	54	77	0	0
3月	11	0	0	121	111	0	67	94	0	0
合計		0	1	1346	1182	0	711	1036	0	0
平成27年度実績				1383	1272	0	793	1076		
平成26年度実績				702	624	0	361	528		
平成25年度実績				677	575	0	344	575		

表12-3 利用状況・幼児

	登録者	新規	終了	予定数	延べ人数	給食
4月	1	1	0	7	6	6
5月	1	0	0	10	1	1
6月	1	0	0	9	0	0
7月	1	0	0	8	6	6
8月	1	0	0	7	4	4
9月	1	0	0	9	7	7
10月	1	0	0	9	7	7
11月	1	0	0	8	5	6
12月	1	0	0	8	4	5
1月	1	0	0	8	0	0
2月	1	0	0	8	0	0
3月	1	0	0	9	0	0
合計		1	0	100	40	42
平成27年度実績				100	32	30
平成26年度実績				255	88	88
平成25年度実績				374	214	68

表12-4 欠席理由

	SS	入院	通院	体調	その他	合計
成人	5.7	10.9	16.9	44.3	22.2	100
幼児	0	44.9	2.8	7.6	44.7	100

(表示は%)

表12-5 障害名別人数

性別/障害	脳性マヒ	小頭症	てんかん	その他	合計
男	4	0	2	1	7
女	2	0	2	1	5
合計	6	0	4	2	12

表12-6 身体障害者手帳別人数

性別/等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
男	5	2	0	0	0	0	7
女	4	1	0	0	0	0	5
合計	9	3	0	0	0	0	12

表12-7 療育手帳別人数

性別/療育手帳	A1	A2	B1	B2	合計
男	7	0	0	0	7
女	5	0	0	0	5
合計	12	0	0	0	12

表12-8 年齢別人数

性別/年齢	0~2	年少	年中	年長	18~19	20~29	30~39	40~49	合計
男	0	0	1	0	0	2	2	2	7
女	0	0	0	0	0	1	4	0	5
合計	0	0	1	0	0	3	6	2	12

表12-9 大島分類

21	22	23	24	25	80 (IQ)
20	13	14	15	16	70
19	12	7	8	9	50
18	11	6	3	4	35
17	10		2 (1名)	1 (11名)	25
走れる	歩ける	歩行障害	すわれる	ねたきり	0

(資料13) 療育活動

表13-1 活動内容

感覚	外気浴、スノーズレン、感触
音楽	リトミック、楽器演奏、歌
お話し	パネルシアター、紙芝居、ブラックシアター、絵本
制作	壁面（海、干支の酉）、クリスマスカード
運動	バルーン、散歩、ストレッチ、トランポリン
その他	水遊び、風船遊び、ペープサート

表13-2 行事

	成人	幼児
4月	花見外出、花菜ガーデン花見外出	入園式、人形劇鑑賞
5月	菖蒲湯入浴、YES、愛DO!、避難訓練	
6月	ドッグヒーリング、七夕飾りつけ、夏の展示即売会、ローリングバレー神奈川交流大会	
7月	防災訓練、日帰り外出②	ひよこイベント、水遊び
8月	かっぱ祭り展示会、日帰り外出③・④	
9月	神奈川県ローリングバレーボール大会	
10月	ドッグヒーリング、ふじみ園展示会、アモーレイベント、日帰り外出⑦	ハロウィン
11月	アモーレイベント、秋の市役所展示即売会、身障協ステージ発表、社会福祉展、日帰り外出⑩	
12月	お楽しみ会、餅つき、ゆず湯、平塚市役所展示即売会、社会福祉展、日帰り外出⑬・⑭	クリスマス発表会
1月	身障協作品展示、市民プラザ障がい者作品展示即売会、コーラス施設内発表、日帰り外出⑮・⑯	
2月	節分豆まき、防災訓練、アモーレイベント、公民館祭り、コーラス交流会、日帰り外出⑰	
3月	地域支援センター懇談会、	

表13-3 主な外出先一覧

日帰り外出等	ズーラシア・金沢動物園・ららぽーと湘南平塚・湘南モールフィル・はまぎんこども科学館
その他の外出	花菜ガーデン・ソーレ周辺・金田小学校

表13-4 関係機関との連携

月日		目的・内容	対応職員
6月28日	児童発達支援事業所情報交換会①	情報交換会	中島
10月18日	児童発達支援事業所情報交換会②	情報交換会	中島
2月27日	児童発達支援事業所情報交換会③	情報交換会	中島
5月18日	にじの会	療育紹介	中島

表13-5 養護学校実習生の受け入れ

実施日	利用者	日数	学校名 学年
	なし		

(資料14) 年間行事予定表 (ソーレ平塚療育園)

4月	入園・進級式	12月	クリスマス発表会
5月	菖蒲湯		餅つき
	遠足		柚子湯
6月	保育参観	1月	書初め
7月	プール	2月	節分
	卒園生との交流会	3月	遠足・卒園式
8月	プール		懇談会・ボランティア懇談会
9月	保育参観	(通年) 日帰り旅行	
10月	運動会	金田保育園との交流会	

(資料15) 日課表 (ソーレ平塚療育園)

時間	活動内容(幼児)	時間	活動内容(成人)
8:30	職員打合せ	8:30	職員打合せ
8:50	活動準備	8:50	お迎え出発
9:20	登園(母子)、相談	9:50	利用者到着
10:00	バイタルチェック、リハビリ	10:10	利用者朝の会
10:30	朝の会		活動、リハビリ、入浴
	療育活動	11:30	昼食準備
11:30	昼食	12:00	昼食
12:30	自由保育	13:00	バイタルチェック
13:20	帰りの会		入浴、リハビリ、活動
13:30	降園	15:30	利用者帰りの会
		16:00	送り出発
		17:00	送迎終了、職員打合せ
		17:30	業務終了

(資料16) ソーレ平塚地域活動支援センター
支援の状況

表16-1 利用件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ソーレ平塚	男性1F	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	女性2F	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
地域支援 センター	男性	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
	女性	1	1	1	1	0	1	1	2	1	0	0	1	10
タイムケア	男性	10	13	13	5	2	16	12	8	9	8	4	4	104
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活支援 センター	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		12	4	2	7	1	2	15	11	14	0	5	6	132

表16-2 利用時間

		2h	3h	4h	5h	6h	7h	8h	9h	10h	11h	合計
ソーレ平塚	男性1F	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	女性2F	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	13
地域支援 センター	男性	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	女性	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10
タイムケア	男性	11	57	36	0	0	0	0	0	0	0	104
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活支援 センター	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		23	57	0	0	0	2	13	0	0	1	132

※h=時間

表16-3 利用の理由

		タイムケア	デイサービス	放課後支援	一時預かり	アクティビティ	その他	合計
	男性	104	0	0	5	0	0	109
	女性	0	0	0	23	0	0	23
合計		104	0	0	28	0	0	132

(資料17)ソーレ平塚生活支援センター

表17-1 施設内部研修会

実施日	内容	講師	対象者
4月22日	平成28年度全体職員会議(25日、27日、28日)	施設長、センター長他	加藤、津野、水越

表17-2 外部研修

実施日	内容	場所	出席者
6月14日	計画相談支援分科会スキルアップ研修	平塚市役所 本館	加藤、津野
8月4日	計画相談支援分科会スキルアップ研修	平塚市役所 本館	加藤、津野
9月13日(他2日)	神奈川県相談支援従事者現認研修	県立保健福祉大学実践教育センター	水越
10月13日	計画相談支援分科会スキルアップ研修	平塚市役所 本館	加藤、寺澤
10月10日	高次脳機能障害セミナー実務編	神奈川工科大学厚木市子ども科学館	寺澤
12月15日	計画相談支援分科会スキルアップ研修	平塚市役所 本館	加藤、寺澤
12月15日	計画相談と個別支援の関係性について	平塚市教育会館	加藤、寺澤、水越
1月21日	計画相談支援分科会スキルアップ研修	平塚市役所 本館	加藤、寺澤
2月4日	在宅医療人材育成セミナー	平塚市民活動センター	寺澤、水越

表17-3 外部会議など①

実施日	内容	場所	出席者
4月5日	第1回計画相談支援分科会	平塚市役所 本館	津野
4月7日	第1回利用調整会議	平塚市役所 本館	津野
5月10日	第2回利用調整会議	平塚市役所 本館	津野
5月16日	第1回身障分科会	平塚市役所 本館	加藤、津野
5月17日	第2回計画相談支援分科会	平塚市役所 本館	加藤、津野
5月31日	第1回企画運営部会	平塚市役所 本館	加藤、津野
6月14日	第1回計画相談支援分科会スキルアップ研修	平塚市役所 本館	加藤、津野
6月22日	虐待防止ネットワーク実務検討会議	平塚市役所 本館	加藤
6月23日	第2回身障分科会	平塚市役所 本館	加藤、津野
6月30日	第3回計画相談支援分科会	平塚市役所 本館	加藤、津野
6月30日	成年後見支援ネットワーク会議	平塚市役所 本館	加藤
7月5日	第1回相談支援ネットワーク会議	二宮町民センター	加藤、津野
7月14日	平塚養護学校情報交換会	平塚養護学校	加藤、津野
7月26日	第4回計画相談支援分科会	平塚市役所 本館	加藤、津野
7月27日	第1回自立支援協議会	平塚市役所 本館	加藤、津野
7月27日	こども部会 第1回学齢児サービス提供事業所情報交換会	平塚市役所 本館	加藤、津野
8月25日	第7回平塚市高齢者及び障がい者虐待防止ネットワーク	平塚市役所 本館	加藤
9月6日	第5回計画相談支援分科会	平塚市役所 本館	加藤、津野
9月12日	第3回身障分科会	平塚市役所 本館	加藤、津野
9月16日	身障分科会主催 視覚障害についての講演会	西部福祉会館	加藤、津野
9月23日	第2回相談支援ネットワーク会議	平塚市役所 本館	加藤、津野
9月27日	第2回企画運営部会	平塚市役所 本館	加藤、津野
10月10日	利用者ケースカンファレンス	福祉会館会議室	加藤、寺澤

表17-4 外部会議など②

実施日	内容	場所	出席者
10月18日	こども部会 第2回学齢児サービス提供事業所情報交換会	平塚市役所 本館	加藤、寺澤
10月25日	第6回計画相談支援分委会	平塚市役所 本館	加藤、寺澤
10月25日	平塚養護学校肢体不自由教育部門生徒の進路に関わる連絡会	平塚養護学校	加藤、寺澤
10月26日	第3回身障分科会	平塚市役所 本館	加藤、寺澤
10月26日	第1回当事者参加検討会	平塚市役所 本館	加藤
11月9日	利用者ケースカンファレンス	利用者宅	寺澤
11月15日	利用者ケースカンファレンス	福祉会館会議室	加藤、寺澤
11月16日	第2回当事者参加検討会	平塚市役所 本館	加藤
11月22日	第7回計画相談支援分委会	平塚市役所 本館	加藤、寺澤
11月25日	第2回自立支援協議会	平塚市役所 本館	加藤、寺澤
11月26日	ハッピーひだまりの会	福祉会館会議室	加藤、寺澤
12月7日	利用者ケースカンファレンス	平塚養護学校	加藤
12月8日	第3回当事者参加検討会	平塚市役所 本館	加藤
12月13日	第3回相談支援ネットワーク会議	伊勢原市役所	加藤、寺澤
12月20日	第8回計画相談支援分委会	平塚市役所 本館	加藤、寺澤
12月21日	第4回当事者参加検討会	平塚市役所 本館	加藤
1月12日	第5回当事者参加検討会	サンシティ平塚	加藤
1月17日	第9回計画相談支援分委会	平塚市役所 本館	加藤、寺澤
1月18日	平塚養護学校肢体不自由教育部門生徒の進路に関わる連絡会	平塚養護学校	加藤、寺澤
1月18日	相談員の集い	ソーレ平塚	センター長、他相談員
1月20日	第4回身障分科会	平塚市役所 本館	加藤、寺澤
1月23日	第3回企画運営部会	平塚市役所 本館	加藤、寺澤
1月27日	第6回当事者参加検討会	サンシティ平塚	加藤
2月16日	第7回当事者参加検討会	サンシティ平塚	加藤
2月16日	利用者ケースカンファレンス	平塚済生会病院	寺澤
2月20日	委託3事業所打ち合わせ	平塚市役所 本館	加藤
2月24日	第4回相談支援ネットワーク会議	平塚市役所 本館	加藤、寺澤
3月1日	第9回計画相談支援分委会	平塚市役所 本館	加藤、寺澤
3月13日	第8回当事者参加検討会	サンシティ平塚	加藤
3月9日	利用者ケースカンファレンス	大野公民館	加藤
3月15日	第4回虐待防止のための関係機関管理者・中堅実務者向け研修会	教育会館	加藤、寺澤
3月23日	第3回自立支援協議会	平塚市役所 本館	加藤、寺澤
3月28日	こども部会 第3回学齢児サービス提供事業所情報交換会	平塚市役所 本館	寺澤

表17-5 相談支援事業実績 総括表

1 対応方法(延べ件数)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
個別対応	電話相談	391	328	410	348	292	358	276	319	347	320	437	340	4166
	来所相談	5	5	7	8	2	6	3	7	9	4	8	6	70
	訪問相談	76	70	95	73	65	68	80	82	76	73	76	96	930
	同行(病院・施設等)	4	4	1	6	1	4	2	2	1	0	4	3	32
	その他	30	15	25	21	11	19	8	18	11	5	10	11	184
合 計		506	422	538	456	371	455	369	428	444	402	535	456	5382

2 年齢(延べ件数及び実人員件数)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ件数	0~17歳まで	21	18	29	40	25	73	32	51	96	58	121	44	608
	18~39歳まで	162	120	189	207	152	173	129	149	142	130	148	177	1878
	40~64歳まで	299	273	312	189	191	197	194	217	199	194	264	220	2749
	65歳以上	21	8	5	17	2	11	14	8	7	20	2	14	129
	その他	3	3	3	3	1	1	0	3	0	0	0	1	18
合 計		506	422	538	456	371	455	369	428	444	402	535	456	5382
実人員	0~17歳まで	6	3	2	2	3	1	1	0	1	0	0	0	19
	18~39歳まで	29	5	5	2	1	0	1	6	2	1	1	1	54
	40~64歳まで	58	19	9	5	1	1	1	4	1	6	4	5	114
	65歳以上	4	1	0	2	0	0	0	2	0	2	0	3	14
	その他	1	2	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	8
合 計		98	30	18	13	5	3	3	12	4	9	5	9	209

3 新規・継続相談(実人員)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規	9	10	5	3	3	3	2	4	2	4	3	4	52
継続	89	20	13	10	2	0	1	8	2	5	2	5	157
合 計	98	30	18	13	5	3	3	12	4	9	5	9	209

4 障害種別(実人数)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
身体障害	肢体	71	18	12	7	4	1	2	10	1	7	4	9	146
	その他	10	1	2	1	0	1	0	0	1	1	0	1	18
知的	8	2	2	1	0	0	1	4	2	0	1	1	22	
発達障害	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
精神	0	4	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	6	
高次脳機能障害	0	1	1	1	0	0	0	2	0	1	0	1	7	
重心	13	6	4	3	1	1	1	2	1	0	1	1	34	
その他	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	4	
合 計	103	34	21	15	5	3	4	18	6	10	6	13	238	

(注) 一人で複数の障害を重複している場合は、それぞれ算定。

5 個別相談の相談事由(延べ件数)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福祉制度・障害福祉サービスの問い合わせ	31	21	28	30	32	31	15	10	34	19	6	31	288
雇用・就労関係	6	3	4	2	0	2	0	0	1	6	3	25	52
住居・住宅関係	1	1	40	10	11	9	16	1	2	14	8	8	121
教育・発達関係	0	0	0	0	3	5	6	1	0	3	2	2	22
保健・医療・健康管理関係	70	38	70	59	28	27	45	37	44	41	70	60	589
家族関係	3	19	14	10	5	21	21	16	8	13	3	16	149
対人間関係	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	3	7
経済・年金関係	7	0	1	1	3	2	9	3	1	8	0	6	41
放課後支援	0	0	0	0	1	0	0	8	0	1	0	0	10
施設関係	55	38	43	39	21	20	9	15	15	22	65	26	368
引きこもり	0	0	0	0	1	1	1	1	3	1	0	6	14
不安感傾聴	16	18	9	4	5	10	2	16	12	13	33	20	158
利用調整	309	279	345	301	246	326	261	319	341	295	399	337	3758
福祉用具	13	3	20	37	28	19	16	17	25	14	16	2	210
支給決定	30	14	30	21	28	27	13	8	10	12	21	19	233
障害の理解	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
苦情対応	15	4	7	1	2	2	0	3	0	0	0	2	36
権利擁護	0	0	1	2	0	14	0	0	0	8	0	1	26
虐待	1	3	3	1	0	8	0	0	0	3	1	2	22
その他(区分不可能)	0	1	2	0	0	1	0	9	0	2	1	6	22
合 計	558	442	617	518	415	525	418	464	497	475	628	572	6129

(注) 1件の相談で複数の内容について相談を受けたものは、重複して算定。

5-2 (参考) サービス等利用計画作成に係る相談件数(延べ件数)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	402	354	469	400	327	403	346	373	397	380	455	380	4686

6 個別相談の相談者区分(延べ件数)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本人	103	106	115	96	84	106	109	120	100	88	107	120	1254
家族	85	67	93	71	66	79	49	61	79	83	128	96	957
行政・教育関係	47	61	76	62	53	74	46	43	55	57	72	60	706
医療・福祉関係	271	188	251	226	168	195	165	199	207	174	228	178	2450
その他	0	0	3	1	0	1	0	5	3	0	0	2	15
合 計	506	422	538	456	371	455	369	428	444	402	535	456	5382

7 その他の要素

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ケア会議	1	0	6	3	1	1	1	3	1	1	2	1	21
障害程度区分認定調査	1	4	1	2	4	1	0	0	9	2	6	0	30
サービス利用計画作成	8	9	9	10	10	6	8	6	5	9	9	15	104
モニタリング	39	35	40	44	47	42	43	38	41	37	49	53	508
講演・研修会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成 28 年度

事業報告書

社会福祉法人 至泉会

すこやか園

I すこやか園全体

1 概況

平成 28 年度は、伊勢原市障害福祉センター指定管理者の運営受託（H27. 4. 1～H32. 3. 31）2 年目（通算 13 年目の運営受託）を迎え、新たに保育士 1 名を採用しスタートしました。また 8 月には運転員 1 名を採用し、送迎業務の安定化を図りました。2 月に看護師 1 名を雇用し、平成 29 年 4 月以降に見込まれている、医療ケアが必要な利用者の増に備えました。入浴介助員など、まだ補充できていない職種があり、継続的な求人活動に取り組んでいます。なお、清掃員として昨年度より雇用している障がい者 2 名ですが、個々の特性や体調面を配慮する中で、就労を継続しています。

【表 1-8 参照】

その他、全体的な取り組みとして、次のとおり報告いたします。

(1) 防犯対策

4 月に、「不審者対策マニュアル」および「不審者対応フローチャート」の見直しを行い、防犯対策の強化を図りました。7 月の相模原事件を受け、9 月に伊勢原警察署員を講師に迎え、不審者の侵入を想定した「防犯訓練」を実施しました。実際の対応やさすまたの使用方法を学ぶ中、今後の改善点が明確になったとともに、職員の防犯に対する意識が高まりました。さすまたの本数を 2 本から 4 本に増やし、各部署の手に取りやすい位置に設置しました。また、名札の着用や防犯ベルの設置など、防犯に関する具体策を示した「防犯対策について」の掲示を行い、利用者にも発信することで、安全・安心な施設運営に努めました。

(2) 防災対策

6 月に、伊勢原消防署員を講師に迎え、「消火訓練」を実施し、消火器の位置や使用方法の確認、初期消火の重要性や避難方法について学ぶことができました。また、今年度より 9 月を「防火・防災月間」とし、コンセントやプラグ周りの埃など、普段行き届かない箇所の清掃を行いました。10 月にはすこやか園利用者が参加しての総合訓練を行い、災害発生時における迅速かつ適切な行動が取れることを目的に、避難ルートや避難方法の確認を行いました。【表 1-5 参照】

(3) 事故防止対策

事故防止の一環として、「ヒヤリ・ハット報告書」作成を継続的に取り組みました。年間のヒヤリ・ハット報告延べ件数は、186 件となりました。ヒヤリ・ハット報告を職員が意識することで、事故を未然に防ぐ意識が年々高まっています。

【表 1-9 参照】

(4) ストレスチェック

今年度より、産業医を導入し、9月にストレスチェックを実施しました。また、1月には健康診断の結果をもとに、面談希望職員との面談を依頼し、健康に関するアドバイスをいただきました。職員が心身の健康状態を知るきっかけとなり、日々の業務を振り返る機会にもなりました。

(5) 特殊浴槽の更新

旧式の特殊浴槽が、メーカー廃版から10年経過したため、新たな臥位浴タイプの特殊浴槽を設置しました。詳細はP10「IV地域活動支援センター」参照。

2 平成28年度の施設運営目標に対する評価

(1) 利用児者を中心とした支援について

今年度は、利用児者が園の療育や支援を受けつつ、豊かな地域生活を送ることができるよう意識しながら支援を行ってきました。特に、利用児者を中心として、保護者、保育士、看護師、支援員、相談支援専門員、関係機関等が密に連携を取り合う「切れ目ない支援」を心掛けながら、日常業務の「報・連・相」を職員間で意識しました。

その一方で、個人情報の管理についても十分留意して対応しました。個人情報関係書類の園外持ち出しは原則禁止としながらも、家庭訪問やケア会議の際に持ち出す場合は、個人が特定されないよう加工した写しを使用し、「重要情報持ち出し許可願」のもと、組織的な管理徹底を図りました。また、サービス等利用計画などの書類を他事業所に郵送する場合は、誤送を防ぐために、簡易書留にて郵送することとしました。

(2) 事務分担表に基づいた組織的な運営について

4月の全体職員会議にて、事務分担表を配布し、各職員が自分の業務内容や役割分担を確認する中、全体で共有する機会を持ちました。また、運営会議（毎月開催）の決定事項について、各事業の責任者が、確実に所属職員へ伝えることにより、速やかに情報共有され、一体的な組織運営が図られました。また、朝の打ち合わせ時には、各職員が、全体で共有すべき情報の発信を意識することで、スムーズな外部からの電話対応や来客者への案内にも繋がり、職員間の連携も深まりました。

(3) 労働衛生について

4月より2か月に1度、計6回安全衛生委員会を開催しました。園内の環境整備や職員の労働衛生、労災状況の確認などを行いました。また、年次休暇についても、各職員の取得状況を把握しながら、少なくとも年間5日以上の取得を目指していくことを確認しました。今年度より、産業医の原山先生に園内の巡視を行っていただき、安全衛生や環境整備に関する様々なアドバイスをいただきました。

3 事業内容

(1) 事業概要および(2) 事業内容

①児童発達支援事業報告

「Ⅱ児童発達支援事業報告」参照。

②保育所等訪問支援事業報告

「Ⅲ保育所等訪問支援事業報告」参照。

③地域活動支援センター事業報告

「Ⅳ地域活動支援センター事業報告」参照。

④生活支援センター事業報告

「Ⅴ生活支援センター事業報告」参照。

⑤日中一時支援事業報告

「Ⅵ日中一時支援事業報告」参照。

4 その他

(1) 運営委員会について

今年度は民生委員・児童委員の改選に伴い、1名の委員の変更がありました。

7月1日と2月10日の年2回、7名の委員の出席のもと、開催しました。7月には療育・支援の様子を見学していただき、出席した委員からは「実際に見学したことで、事業内容がよりイメージできてよかった」と好評でした。そのほか、各事業の報告やヒヤリ・ハットの取り組みと現状分析等の報告を行いました。

Ⅱ 児童発達支援事業

1 概況

今年度のグループ療育の利用児数は、4月からの新規利用児13名を含めた37名でスタートしました。年度の中での新規利用児22名、退園児5名、個別療育へ1名の移動があり3月末には52名になりました。

個別療育は、年度のはじめより定員枠がいっぱいなため、4月から利用人数は変わらずにきましたが、12月にグループ療育からの移動児が1名いたため、3月末は46名となりました。【表2-8参照】

4月に伊勢原市発達療育支援連携調整会が開かれ、新規利用児受け入れの流れが変更となりました。その変更に伴い、利用希望者との見学日調整等は市の子ども家庭相談室が間に入らず、園に直接電話をいただく形に変わりました。園内では、現状を踏まえ新たな見学の仕方を検討して対応をしました。その結果、見学に至るまでの期間を短くでき、在園児の支援に対しても支障の無い形で、48名の方に見学をしていただきました。

環境面では、昨年度プレイルーム2のパーテーションにマジックミラーを設置し、新たにプレイルーム5ができたことを踏まえて、プレイルーム2で実施するグループ療育は、部屋の構造を変えて使用しました。また、ミラー観察をしやすい状況になったため、保護者がお子さんの様子を見ることや見学希望者が療育の様子を見るなど対応しやすくなりました。またプレイルーム1のマジックミラーの交換を行い、活用しやすくなりました。

職員の状況としては、副園長が異動となり、新たな組織編成となりました。主任2名、副主任1名のもと、新たに採用した常勤保育士1名が加わりました。児童発達支援管理責任者を務める職員も変わりました。外部研修(13件)に参加するなど、各職員のスキルアップに努めました。【表2-1参照】

また、日常点検チェックリスト、虐待防止セルフチェックリストを月に1度の児童療育課会議の中で確認し、基本的なことの順守と各職員の気づきを全体で共有し、職員としての意識を高く持ち業務にあたりました。ヒヤリ・ハット報告は引き続き活性化させ、大きな事故なく過ごせました。

2 平成28年度の運営目標に対する評価

(1) 業務の可視化と、職員一人ひとりが自身と他職員の役割を理解する。

- ・ 事務分担表にて各職員が組織の中で担う役割を明確にしました。
- ・ 月1回の児童療育課会議で、職員各々の気づきを共有し、必要なときは事

務分担表で示された係を中心に動くようにしました。また、グループ療育、個別療育の出席状況についても報告し合い、職員の共有を図りました。

(2) その子らしい生活を支え、理解する人を増やす。

- ・ 職員が利用児一人ひとりの「その子らしさ」を理解し、さらに保護者と共有できるように意識をして支援にあたりました。
- ・ 利用児の併行通園先の幼稚園・保育園訪問を実施し、「その子らしさ」という観点を意識して行動観察や話し合いを行いました。【表 2-2・2-4 参照】
- ・ 啓発事業として幼稚園・保育園の先生方に向けて講演会を実施しました。

【表 2-3 参照】

3 事業の実施状況

(1) 利用児の状況（平成 29 年 3 月末現在）

- ・ グループ療育 52 名、個別療育 46 名、合計 98 名が在籍しました。
- ・ 年齢構成としては、年長児 32 名、年中児 28 名、年少児 23 名、2 歳児 13 名、1 歳児 1 名、0 歳児 1 名になります。（1 歳児、0 歳児はいずれも重心児のグループに在籍）（年長児 32 名全員が個別療育に在籍）
- ・ グループの在籍状況は、週 3 回グループの利用児は転居や週 1 回グループからの移動等があり利用児の変更はありましたが、年間の平均出席率は 81.3% で比較的安定した出席率となりました。週 1 回グループについては、年間出席率が 56% から 90% までとグループによって差が生じました。併行通園先がある利用児に比べて、就園していない低年齢児が在籍しているグループの出席率は高くなりました。また、在籍はしていても家族の体調不良等で長期的にお休みする利用児が数名いたため出席率が低くなったグループもありました。重心児のグループは 5 名の定員枠がいっぱいとなりましたが、月の平均出席率は利用児の体調や入院等の理由により 33% から 87% と差が大きくなりました。【表 2-6・2-7 参照】
- ・ 延べ利用人数（延べ登園数）の合計は昨年度と比べ、361 人少ない 2602 人となりました。少なくなった要因としては、スタート時から利用児が前年度より少なかったことが影響しています。【表 2-5 参照】

(2) 事業内容

①利用者支援

(療育)

- ・ お子さんの状態にあった適切な支援をしていけるよう、所属の変更等を考える際は、療育支援方針会議を開き、園全体で確認しながら進めました。

- ・ 個別療育は、利用者支援の内容を精査し、既定の枠にこだわることなく月 2 回、月 1 回、不定期の頻度で支援を行いました。

(就学支援)

- ・ 新入学児について小学校への引継ぎを行いました。
- ・ 就学相談を利用した子どもについて教育センターからの依頼により情報提供を行いました。

②保護者支援

(保護者面談)

- ・ 個別支援計画作成や保護者からの相談等、必要に応じて保護者面談を実施しました。 【表 2-9 参照】

(児童発達支援センター見学)

- ・ 希望者に対し、アグネス園とあけぼの園の見学会を実施し、お子さんの進路を考えてもらう機会にしました。

(交流保育)

- ・ 週 3 回グループ児を対象とし、近隣の保育園への交流を前期に 3 回実施し、お子さんの現状理解や進路について、保護者に参考にしてもらう機会としました。

(家族参加日)

- ・ 週 3 回グループを対象とし 8 月の土曜日の午前中に登園日を 1 日設け、父親を主にご家族の方に療育の様子を知っていただく機会としました。

(嘱託医による相談等)

- ・ 月 1 回、嘱託医が来園して 10 名の保護者の相談に応えました。また週 3 回グループの懇談会に参加しました。

(保護者講演会)

- ・ 『子どもの気になる行動の理解と支援－感覚統合の観点から』をテーマに実施しました。 【表 2-10 参照】

③関係機関との連携について

- ・ 幼稚園・保育園、行政等へ必要に応じて訪問、電話連絡等の連携を図りました。(対応については、個人情報管理マニュアルに基づき行いました。)
- ・ 伊勢原市要保護児童対策地域協議会の代表者会議と実務者会議に出席しました
- ・ 伊勢原市障がい者とくらしを考える協議会子ども支援部会に出席しました。
- ・ 伊勢原市相談支援チーム会議に出席しました。
- ・ 伊勢原市子ども家庭相談室から依頼を受けて、幼稚園・保育園の先生を対象

とした発達支援研修会に協力し、見学対応と振り返りの話し合いに参加しました。

- ・ 伊勢原市障がい者とくらしを考える協議会子ども支援部会から依頼を受けて伊勢原市の福祉事業所の職員を対象とした見学会に協力し、療育の見学と説明を行いました。

Ⅲ 保育所等訪問支援事業

1 概況

今年度より、支援の対象児について、すこやか園児童発達支援事業を利用（利用歴も含む）し、幼稚園・保育園・認定こども園等の集団生活の適応のために、専門的な支援が必要なお子さんとしてしました。今年度は個別療育在籍児4名が利用しました。

運営体制については、訪問支援員が1名で、児童発達支援事業と兼務しているため、開設日が第3木曜日のみとなりました。そのため、登録児や支援頻度に限りがあり、さらに、訪問支援先と都合が合わない時には訪問ができない状況がありました。今後は必要な支援をタイムリーに実施できるよう職員体制を整備していきます。

2 平成28年度の運営目標に対しての評価

(1) 保育所等訪問支援事業への理解とよりよい支援について

- ・児童発達支援管理責任者同席のもと、事業について説明した上で、支援を開始し事業の周知を図りました。
- ・児童発達支援事業と連携を図ることで訪問支援先の対象児の理解や配慮について深めることに繋がりました。

(2) 児童発達支援事業との連携について

- ・児童発達支援事業の療育場面でみられる発達の特徴を踏まえ、対象児の発達の見通しや関わりの工夫について訪問支援先に伝えることができました。
- ・保護者に対して、療育場面で訪問支援先の様子を保護者と共有することで、対象児の理解がより深まりました。

3 事業内容

(1) 事業実績

登録児：4名（年少1名、年中2名、年長1名）

訪問支援先：3園（保育園2園、幼稚園1園）

実施月：4月、5月、6月、7月、9月、10月、11月、12月、2月

（8月、1月、3月は訪問支援先との都合が合わず実施できず）

(2) 事業内容

支援頻度：1園について2～3ヶ月に1回

支援の方法：午前中に集団における対象児の行動観察を行い、その後に訪問支援先と話し合いをしました。

IV 地域活動支援センター

1 概況

平成 29 年 3 月 31 日現在の利用登録者数は、18 名となっています。利用実績として、3 月 31 日現在の延べ利用者数は 1,833 名で、出席予定数の 86% でした。11 月に 1 名、3 月に 1 名の退所がありました。また、1 月～3 月にかけて、長期入院された方が 2 名おり、家族と連絡をとり合いました。

支援の設備面に関して、9 月に設置から 10 年を経過した特殊浴槽（臥位浴タイプ）を更新しました。浴槽の選定においては、市障害福祉課と連携を図りながら、対応しました。

防犯対策については、毎月発行している「すこやか園通信」などを通じて、当園の防犯に関する取り組み状況を、利用者、家族にお知らせしました。

年末に利用者アンケートを行いました。また、2 月には懇談会を行い、多くの利用者の意見をうかがう機会としました。

2 平成 28 年度の施設運営目標に対するの評価

(1) 活動支援について

「創作活動」「スヌーズレン活動」「サークル活動」の三つを柱として、各活動の年間計画に基づいた支援を行いました。実施内容においては、夏祭りイベント企画時に、その時期にオリンピックで話題となっていた「ブラジル」をテーマに掲げ、利用者には「サッカー」や「コーヒー」といったように、具体的なイメージをあげていただき、そのイメージをまつり準備のための作品作りの中で表現していただきました。「活動のテーマ」を明確にする事で、参加者に活動の準備から作品の完成までの工程を具体的にイメージできる支援に取り組みました。その結果、「デコスweetsグループ」の創作活動で、作品の内容や活動の進め方に関する積極的な提案が多く聞かれる様になり、「テーマ」に沿った作品作りの事前準備を利用者が自発的に行い、活動に持ち寄るといった行動が見られる様になりました。

12 月には障がい者週間に関する取材の一環で「広報いせはら」にデコスweetsの活動が取り上げられました、また伊勢原市の福祉展に地活利用者の作品を出品し、その様子が読売新聞で取り上げられました。このような事もあり、多くの地域の方々より声をかけていただく機会が増え、参加された利用者様お一人お一人にとって、地域の方々と交流する貴重な機会となりました。

(2) 活動環境について

来年度4月に、2名の方の新規利用されることを見据え、活動スペースの拡大を検討しました。現在、使用している活動室内のベッドの配置を見直し、室内において、大きな車椅子でも通れるように通路の確保を行いました。集会室においては、寝て過ごされる利用者のために、天井の装飾をやや低く設定することで、より身近に感じていただけるよう環境設定を行いました。さらには、試行的に作業室の活用に取り組んでおり、火曜日と金曜日の週2日、創作活動の他に、スペースの広さを生かし、これまではあまりなかった体操、ダンスといった運動プログラムを導入しました。

活動スペースの課題については、市障害福祉課と3回にわたって協議し、活動スペースが不足している現状の報告と、今後活動スペースを確保していく方向性を確認しました。

(3) 支援の質の向上について

職員を対象に、どのような研修に参加したいかのアンケートを行いました。その結果、7月に「アサーション研修」に1名が参加し、9月には、内部研修を行い、理学療法士を講師に招きました。「生活の中で目的に合った座位姿勢とは何か」をテーマにシーティングの基礎を学び、自分たちの日々の支援を振り返る大変有意義な機会となりました。2月には障がい者虐待防止講習会に職員1名が参加し、それをもとに会議において話し合い、虐待セルフチェックリストを用いて日々の業務を振り返る事や、すこやか園の虐待防止委員会の活用についてなど、虐待防止へ向けてどう取り組むか、虐待に気づいた時、どう行動するのかを考える機会を作りました。

月1回来園される臨床心理士に、対応で苦慮しているケースについてアドバイスをいただき、職員間で情報共有しながら、継続的な支援に努めました。

3 支援の状況

(1) 理学療法士によるリハビリテーション支援

- ① 理学療法士1名が月3回（水・木曜中心）来園しました。嘱託医の整形外科医の指示のもとリハビリテーションの実施と幅広い利用者のニーズに応えることができました。対象者への機能訓練、ストレッチやマッサージ等を継続的に実施し、心身のリラクゼーションに繋がっています。
- ② 車椅子の修理が1件と装具の修理が1件あり、利用者、家族、業者と連携し対応しました。

(2) 関係機関との連携

- ① 利用者の家族より福祉サービスの活用に関する相談があり、市障害福祉課や当園の相談支援専門員、関係事業所（ソーレ平塚）と連携を図りました。
- ② 伊勢原市内外の作品展などへの出品や、伊勢原市ふれあい福祉まつりを始めとする、障がい者週間の啓発活動への出品を通じて他施設や地域の方々との交流を図りました。

(3) 実習生の受け入れ

9月に東海大学医学部2年生1名を4日間受け入れました。障がい者支援を通じ、人とのコミュニケーションの取り方を学ぶという実習の目的を確認し、それに沿った実習指導を行うことができました。

4 事業の実施状況

(1) 事業の名称

地域活動支援センター

利用者の状況（利用人数）

P27表 4-1-1～P28表 4-1-8 参照。

(2) 活動

内容および支援方法

P28表 4-1-9～P29表 4-1-12 参照。

(3) 各関係機関との連絡連携

P29表 4-2-1～P30表 4-2-4 参照

V 相談支援事業（生活支援センター）

1 概況

伊勢原市において、計画相談支援の達成率はほぼ 100%となりました。障害福祉サービス受給者証をお持ちの方は相談支援専門員が担当し、サービス等利用計画を作成しています。

しかし、相談支援事業所ごとの担当件数にはバラつきがあり、偏った負担割合になっており、相談支援部会ワーキンググループの中で、割り振り方について協議しています。新規に立ち上がった相談支援事業所の育成及び既存の相談支援事業所のスキルアップを目的として、障害福祉制度の勉強会や事例検討会、意見交換会などが行われました。

平成 29 年 3 月 31 日現在のすこやか園生活支援センターの計画相談支援実施状況は、特定相談支援事業契約者数が 83 名で去年同期比 2 名増、障害児相談支援事業契約者数が 119 名で去年同期比 4 名増となっています。

2 平成 28 年度の運営目標に対する評価

(1) 市内の相談支援事業所間での情報共有について

毎月開催されている相談支援部会には必ず 1 名は出席するようにしました。参加事業所は、幼児期から成人期までと対象が広いと、ライフステージごとの課題や、それぞれの考え方と視点の違いなどを知る良い機会となりました。事例検討会を通じて、お互いのアイデアを出し合うことで、偏った視点に陥らないようにすることができました。

また、グループに分かれての意見交換会を通じて、各事業所の抱えている課題や支援方法の工夫などを共有することができました。

一人職場となりがちな相談支援事業を、相談支援部会に参加することで、皆で地域を支えているという一体感を感じることができ、その後の事業所間連携も取りやすくなりました。

(2) 多様な勤務形態に対応するための業務の工夫について

平成 28 年度の職員体制としては、上半期は、常勤職員 1 名、非常勤職員 2 名でした。平成 27 年度に比べ、非常勤職員の割合が増えたことにより、相談員の勤務時間が重なる時間が少なくなり、情報共有を行う時間が減ってしまいました。しかし、記録と伝言メモを必ず残すよう徹底したことにより、引継ぎの漏れは防ぐことができました。

下半期の職員体制としては、異動及び退職があり、常勤職員 2 名、非常勤職員 1 名となりました。職員体制が変化した中でも業務の質を維持できるよう、事務作業に工夫を施しました。「サービス等利用計画作成シート」を事前に保護者に記入して頂いたことで、面談時の聞き取りをスムーズに行えたとともに、面談内容を充実させることができました。

また、非常勤職員が限られた勤務時間で相談者との予定を合わせることができるよう、柔軟な働き方ができるよう変更しました。勤務時間や曜日の設定に融通を利かせ、相談者との予定を合わせ易くしました。

3 事業の実施状況

(1) 事業の名称

- ・指定特定相談支援事業（伊勢原市指定）
- ・指定障害児相談支援事業（伊勢原市指定）

(2) 相談者の状況（相談件数）

P31 表 5-1-1 参照。

(3) 相談内容および支援方法

P32 表 5-1-2 参照。

VI 日中一時支援事業

1 概況

平成 29 年 3 月 31 日現在の利用登録児数は、16 名となっています。利用児の内訳として、小学部 3 年生から高等部 3 年生までの学齢児 12 名、児童発達支援事業のグループ療育所属の幼児 4 名です。そのうち医療的ケアを必要とする利用児（重心加算医療ケア対象）が 10 名で約半数以上の割合となっています。また、3 月 31 日現在の延べ利用児数は 285 名で昨年度より、45 名減となりました。これは、利用児の体調不良や入院が昨年度に比べて多かったことが主な要因でした。

今年度も学校の夏休み期間中（7/21～8/26）に 1 日預かりを 10 日間開催しました。日中はプール活動を毎回行い、利用児や保護者にも大変好評でした。また、地域活動支援センターの夏祭りへ参加し、賑やかな雰囲気の中、多くの利用者や職員と交流し、楽しい時間を過ごすことができました。

2 平成 28 年度の施設運営目標に対する評価

(1) 居心地よく切れ目ない支援について

利用児の意志を尊重した関わりを大切にするため、排せつの有無やオムツ交換時や、間食の際などは、必ず声掛けをして、本人の意志（声や表情など）を確認してから介助にあたりました。また、今年度は利用児を中心とした「切れ目ない支援」を意識し、保護者、学校関係者、相談支援専門員、関係事業所との連携を積極的に図りました。送迎時のクラス担任との情報交換や情報共有、保護者との連絡帳の活用、お迎え時の情報交換など、なるべく多くの情報を得ながら、状況に応じた支援を心掛けました。

(2) 利用児の安心安全な過ごしについて

作業療法士による利用児の姿勢評価、移乗方法の見直し等の助言をもらい、より安全な介助で支援することができました。また、利用児の臥床時に、クッション性のあるマットを敷くことで、身体への圧迫を和らげることができ、より楽な姿勢で臥床できるよう配慮しました。また、ジョイントマットを活用し、寝返りや動きのある利用児にも安全に過ごせるようにしました。

(3) 職員間の連携について

職員用の連絡ノートを用意し、保護者や学校からの連絡事項、その他利用児の細かい情報などをその都度記入しておくことで、職員間の情報共有に役立ちました。連絡ノートについては、必ず支援に入る前に確認し、各職員がサインすることで、全体の情報共有が明確になりました。また、支援後は必ず振り返りを行い、対応の見直しや

必要な改善に向けて、話し合いを持ちました。

3 事業の実施状況

(1) 利用者支援

移乗介助については、二人介助を基本とし、安全面を考慮しました。また、クッション性のあるマットやジョイントマットを活用して、褥瘡予防やより安楽な姿勢が保たれるように配慮しました。定期的に作業療法士が入り、マッサージの施行や姿勢の評価を行いました。移乗時は、介助者の腰への負担を軽減するために、利用児を段差のある場所まで移動した上で抱え、なるべく車椅子までの移乗距離を短くするように工夫しました。環境面では、天井や窓ガラスなどに季節に応じた装飾を行い、臥床時でも、目で楽しめ、リラックスできるような空間を作りました。また、プール活動のため、テラスにタイルを敷いたことで、安心安全な活動ができるようになりました。また、家族より駐車場の段差について改善の要望があり、市に依頼しました。

(2) 家族支援

定期的な利用と併せて、急な利用希望や空きが生じた際の追加利用など、できる限り柔軟に対応しました。

夏休み開催については、利用希望も多くあり、午前からの1日利用や、保護者の都合に応じた時間の受け入れを可能としました。雨天時の際は、玄関前での乗降ができるように、臨機応変に対応しました。

(3) サービスの質の向上

利用児の個別支援目標を通じて、一人ひとりの興味・関心、身体状況など職員間で共通認識しアプローチすることで、より一層利用児が安心して利用することができました。また、職員会議にてヒヤリ・ハット報告及び事故報告の内容を共有し、事故を未然に防ぐ改善策の検討を行いました。

アンケートを実施し、意見の中で開催日増の希望が多くあり、次年度へ向け、土曜日開催やひと月当たりの利用上限の撤廃等の検討を行いました。

(4) 関係機関との連携

6月と3月に平塚養護学校主催の放課後支援事業所連絡会に出席し、児童の利用状況、懸案事項の確認や各事業所からの情報収集に努めました。

相談支援専門員との情報交換やサービス等利用計画の共有により、利用児の状態が把握しやすくなりました。

夏休み期間中の開催では、平塚養護学校の教員ボランティア7名が来園し、利用児の情報交換を行い、今後の支援の参考となりました。

4 事業の実施状況

(1) 事業の名称

日中一時支援事業

(2) 利用者の状況（利用人数）

P34 表 6-1-1～表 6-1-4 参照。

(3) 各関係機関との連絡連携

P34 表 6-1-5～表 6-1-6 参照

関係資料1 すこやか園の状況（全体に関わるもの）

表1-1 全体等に関わる会議・説明会・式典等

	内 容	場 所	出席者
4/1	入職式・辞令交付式、法人新採用職員オリエンテーション	ソーレ平塚	本間
4/4	法人永年勤続表彰授与式	ソーレ平塚	佐藤、中村、南川
4/20	障害福祉施設・事業所団体説明会	県民ホール	園長
5/17	法人監事監査	ソーレ平塚	園長、佐藤
5/20	法人機関誌編集委員会①	ソーレ平塚	小川
5/21	法人理事会	秦野市文化会館	園長、勝山
5/23	こども支援部会	伊勢原市役所	石川
6/14	災害時支援部会	伊勢原市役所	勝山
6/20	伊勢原市障がい者と暮らしを考える協議会企画運営会議	伊勢原市役所	矢野
7/1	すこやか園運営委員会①	すこやか園	園長、勝山、佐木、矢野、石川
7/1	伊勢原市要保護児童対策地域協議会実務者会議	伊勢原市役所	石川
7/8	法人機関誌編集委員会②	ソーレ平塚	小川
7/12	職員健康診断	すこやか園	対象職員
7/14	伊勢原市障がい者と暮らしを考える協議会	伊勢原市役所	園長、矢野
7/22	すこやか園利用団体連絡会	すこやか園	園長、勝山、佐藤
7/22	法人職員交流会	伊勢原ボウル	職員
7/26	伊勢原市要保護児童対策地域協議会代表者会議	伊勢原市役所	園長
8/8	法人機関誌編集委員会③	ソーレ平塚	小川
8/30	JSYネット定例会	松寿苑	園長
8/31	法人施設事務員会議	ソーレ平塚	佐藤
9/9	法人総括安全衛生委員会	ソーレ平塚	園長、勝山
9/14	災害時支援部会	伊勢原市役所	勝山
9/27	伊勢原市障がい者と暮らしを考える協議会企画運営会議	伊勢原市役所	矢野
10/5	伊勢原市障がい者と暮らしを考える協議会	伊勢原市役所	園長、矢野
10/11	赤い羽根街頭募金	伊勢原駅前	小俣、黒部
10/11	こども支援部会	伊勢原市	石川
11/1	児童虐待防止オレンジリボン街頭キャンペーン	伊勢原駅前	石川
11/11	インフルエンザ予防接種	すこやか園	利用者・職員
11/15	年末調整説明会	伊勢原市民文化会館	佐藤
11/19	法人理事会	秦野市立北公民館	園長、勝山
11/22	災害時支援部会	防災センター	勝山
11/25	法人内部監査	すこやか園	園長、佐藤
11/25	法人施設事務員会議	すこやか園	園長、佐藤
12/5	年末たすけあい街頭募金	伊勢原駅前	佐藤、関根
12/6	障害者週間街頭キャンペーン	伊勢原駅前	小川
12/19	災害時支援部会	伊勢原市役所	勝山

1/17	法人表彰・懲戒委員会	ソーレ平塚	園長、勝山
1/18	こども支援部会	伊勢原市役所	石川
1/24	伊勢原市障がい者と暮らしを考える協議会企画運営会議	伊勢原市役所	矢野
1/31	法人理事会（臨時）	あけぼの園	園長
2/3	伊勢原市障がい者と暮らしを考える協議会	伊勢原市役所	園長、矢野
2/3	圏域重心及び医ケア支援ネットワーク事業所情報交換会	ソーレ平塚	勝山、春木
2/10	すこやか園運営委員会②	すこやか園	園長、勝山、春木、矢野、石川
2/16	JSYネット定例会	松寿苑	園長
2/17	伊勢原市要保護児童対策地域協議会実務者会議	伊勢原市役所	石川
2/17	法人総括安全衛生委員会	すこやか園	園長、勝山
2/20	障害者施策説明会	神奈川県自治会館	勝山
3/15	法人新採用職員研修	ソーレ平塚	本間
3/18	法人理事会	精陽学園	園長、勝山
3/24	あけぼの園卒園式	あけぼの園	園長

※相談支援部会については、生活支援センター事業報告書参照。

表1-2 内部会議

※法人経営会議は毎月園長が出席。

運営会議	園長、勝山、石川、矢野 大豆生田、春木、佐藤	19
全体職員会議	各事業の定例会議出席職員	1
児童療育課会議	園長、 児童療育課職員	9
日中一時支援会議（ひなたぼっこ会議）	園長、勝山、日中一時支援職員	9
センター会議	園長、 地域活動支援センター職員	12

表1-3 全体等に関わる研修

実施日	内 容	場 所	参加者
7/5, 6	相談支援初任者研修	サンビアン川崎	小俣
7/28, 29	相談支援初任者研修	サンビアン川崎	小俣
8/29, 30, 31	相談支援初任者研修	神奈川県公文書館など	小俣
9/13	安全運転管理者法定講習会	伊勢原市文化会館	春木
10/14, 21	新会計基準社会福祉法人会計簿記研修会	神奈川県社会福祉会館	佐藤
11/22	社会福祉法一部改正に伴う事務手続きについて	足柄療護園	佐藤
12/6	苦情対応研修（基礎編）	神奈川県社会福祉会館	石川
12/9	障害者差別解消法研修会	みどり園	黒部、中村
1/12	災害時対応研修	神奈川県社会福祉会館	春木
1/18	苦情対応研修（応用編）	神奈川県社会福祉会館	石川
1/26	人事・労務担当者研修	損保ジャパン日本興亜馬車道ビル	勝山
2/7	高齢者・障害者虐待防止講演会	伊勢原市民文化会館	小川
2/15	人材育成体制研修	神奈川県社会福祉会館	石川
2/15	安全運転講習会	自動車整備振興会教育センター	春木

表1-4 ふれあい福祉まつり関係

内 容	実施日
主管打ち合わせ	7/28、
実施委員会	8/26、 10/7 、11/11 、12/16
日産（株）への挨拶・打ち合わせ	9/14
ふれあい福祉まつり(当日)	12/3

表1-5 防災・防犯訓練

実施日	内 容	実施者	備 考
6/29	消火訓練	伊勢原市消防署職員	当日の勤務職員
7/2	災害時被害状況確認訓練	神奈川県	防災訓練係対応
9/26	防犯訓練	伊勢原市警察署職員	当日の勤務職員
10/18	地震・火災想定総合防災訓練	防災訓練係	職員及び館内利用児者
10/25	総合訓練実施後の振り返り	防災訓練係	当日の勤務職員
2/13	応急救護訓練	伊勢原市消防署職員	当日の勤務職員

表1-6 工事・修繕関係

期 間	内 容	場 所
4/30	送迎車レジアスバッテリーオルタネーター修理	
6/30	送迎車キャラバン(24時間) 塗装修理	
7/9	照度改善工事	1階正面玄関ホール
7/31	送迎車レジアスリフト修理	
8/16	浴槽ライラック塩素タンク修理	浴室
8/30	門扉修繕	すこやか園正門
8/30	プレイルームマジックミラー交換	1階プレイルーム1
8/31	送迎車レジアス車椅子固定テーブル修理	
8/31	送迎車レジアスラジエーターファン修理	
8/31	キューブ塗装修理	
10/20~21	正面玄関屋上庇防水修繕	正面玄関
10/25	電話機設置位置変更(機器配線工事)	
10/31	送迎車レジアススライドローラー修理	
11/28	蛍光灯修繕	2階作業室
12/10	トイレ便器フラッシュバルブ交換	2階女子トイレ
12/10	避難口誘導灯設備交換	地活活動室通路奥
12/28	送迎車キャラバン(赤い羽根) 塗装修理	
1/12	トイレアコーディオンカーテン間仕切り	1階女子トイレ
2/4~13	1階女子トイレ改装工事	1階女子トイレ
2/18	転落防止柵設置	2階階段付近
3/30	送迎車キャラバン(24時間) 塗装修理	

表1-7 利用団体利用人数

(単位：人)

	録音奉仕団	点訳奉仕団	拡大写本奉仕団	手話サークル	ことばの教室	その他
4月	91	80	39	79	6	0
5月	83	59	34	67	162	0
6月	91	96	59	79	185	0
7月	75	90	45	40	100	0
8月	70	46	39	51	30	0
9月	87	68	54	65	142	0
10月	87	68	54	95	165	0
11月	79	52	58	44	163	0
12月	80	84	42	86	102	0
1月	80	84	42	86	124	0
2月	93	64	45	70	153	0
3月	91	127	51	80	106	0
計	1,007	918	562	842	1,438	0
利用者総数	4,767					

表1-8 職員の現状・動向

H29. 3. 31現在 (単位:人)

職 員					内 訳 等							その他
					法人内異動		平成28年度採用					
職 種	常勤	準職員	雇用契約等	委託	転入	転出	常勤	雇用契約	委託	準職員	委託	
園 長		1										
事務	1		1									
児 童 療 育 課	課長	(1)									園長が兼務	
	保育士	6					1					
	児童指導員	2										
	臨床発達心理士	1										
	言語聴覚士			1								
	作業療法士			1								
	医師				1							
	看護師			(2)								地話より派遣
臨床心理士				1								
添乗員			1									
職 種	常勤	準職員	雇用契約等	委託	転入	転出	常勤	雇用契約	委託	準職員	委託	
地 域 支 援 課	課長	(1)									園長が兼務	
	課長代理	1										
	相談員	2		1	1							
	支援員	2	1	5								
	看護師			4					1			
	理学療法士				1							
	医師				1							
	入浴介助			3								運転兼務1名 入浴兼務1名
運転員			3 (1)						1		入浴兼務1名	
清掃員			2									
合 計	15 (2)	2	22 (3)	4	1		1		2			

※ () はカウント人数に入らない兼務職員の数

平成28年度 ヒヤリハット・事故報告のまとめ（地域支援課）

平成29年3月3 1日 現在

日課	種別	負傷怪我	送迎関係	器物破損	トラブル	誤業関係	食物関係	感染症関係	情報伝達	物品管理	運営管理	個人情報関係	その他	計内()事故
08:35	迎え出発～		○○○○○ ○○ ●自損											8(1)
10:00	送迎車到着		●自損 ●迎え忘れ								○○		△駐車場未確保 ▲車当逃げ被害	6(3)
10:00	朝の会、体操、水分補給、バイタルチェック													0
10:30	午前の活動、入浴		●自損 ●自損							○	○ ●爪切出血			5(3)
11:30	午前の活動終了、昼食準備										○			1
11:45	昼食、歯磨き 休息					●ラコール漏	●弁当注文忘 ○弁当注文忘				○			4(2)
13:00	午後の活動、入浴									●CD未管理	○		○	3(1)
15:40	帰りの会		●自損								□○			3(1)
16:00	送り出発～		●自損							●衣類間違 □マドラー返				3(2)
17:00	送迎車帰園		○							■私物タオル取置き		●手帳返却忘		3(2)
17:30	振り返り等													0
17:30	～		●自損											1(1)
	発生時間不明等										○		△案内忘れ ▲初回加算漏	3(1)
	計内()事故	0	16(8)	0	0	1(1)	2(1)	0	0	5(3)	10(1)	1(1)	5(2)	○19△2□2 ●14■1▲2 合計 40(17)

○；地活ヒヤリハット □；日中ヒヤリハット △；相談ヒヤリハット ●；地活事故報告 ■；日中事故報告 ▲；相談事故報告

平成28年度 ヒヤリハット・事故報告のまとめ (児童療育課)

平成29年3月31日現在

日課	種別	負傷・怪我	子ども同士のトラブル	器物破損	送迎バス	情報伝達	物品管理	運営管理	個人情報関係	その他	計 内()事故
08:30	バス迎え～				●乗車確認ミス						1(1)
09:50	バス帰園					□					1
09:50	登園 おしたく 自由あそび							○33 ●おでこ腫			34(1)
10:30	朝のあいさつ 運動あそび 中休み・おあつまり	●指先出血 ●同士の衝突 ●打撲による口内出血						○31		●自損交通事故	35(4)
11:30	活動～							○20●異食			23(1)
12:00	昼食 はみがき				●時間間違			○14		●作品渡し間違 ●公用車施錠忘	17(3)
13:00	自由遊び 活動							○22		●書類の渡し間違	23(1)
13:20	帰りのあつまり						●タオル間違	○5			6(1)
13:30	降園			○○				○			3
13:30	バス送り～										0
14:30	バス帰園										0
14:30	療育等										0
17:30	～					●電話相手間違					1(1)
発生時間不明等										■二重予約 ▲領収書日付間違 ▲請求の日付間違 ■実績サイン漏	4(4)
計 内()事故		3(3)	0	0	4(2)	2(1)	1(1)	128(2)	0	8(8)	○128□1 ●13■2▲2 合計 146(17)

○；グループヒヤリハット □；個別ヒヤリハット △；事務ヒヤリハット ●；G事故報告 ■；個別事故報告 ▲；事務

関係資料2 児童発達支援事業利用者の状況

表2-1 職員外部研修

実施月	内 容	参加者
7月	「不器用さ」への理解と指導	原
7月	基礎から学ぶ発達障害・知的障害	本間
8月	チームビルディング研修	黒部
8月	ダウン症児への理解と生涯発達を踏まえたサポート	楢原
9月	子どもたちの「食べる力」は「生きる力」の原動力	本間・原
9月	乳幼児のこころと子育て	島崎
9月	コミュニケーション研修	楢原
10月	早期療育普及研修	小俣
10月	知的障害・発達障害のある子の褒め方・叱り方・伝え方	本間
11月	コーチング研修	関根
11月	保護者とのコミュニケーション充実させるために	石川
11月	アサーティブコミュニケーション研修	石川
2月	こうさい療育セミナー	小俣

表2-2 幼稚園・保育園訪問、来園

項 目	回数
幼稚園・保育園訪問	68
幼稚園・保育園からの来園	2

表2-3 啓発事業講演会

項 目	内 容
日時	H29年1月27日（金）15:00～17:00
場所	すこやか園プレイルーム
講師	妹尾洋之（県平塚児童相談所）
テーマ	制度を知り制度を生かす子育て支援
出席者	市、幼稚園・保育園関係者など14名

表2-4 併行通園状況（単位：人）

	幼稚園	保育園	合計
グループ	26	3	29
個別	30	14	44
計	56	17	73

表2-5 児童発達支援事業 全体

	登録数	新規児	全登園日数	延べ登園数	出席率
4月	82	0	182	158	86.8
5月	82	0	269	218	81.0
6月	81	1	281	250	89.0
7月	86	5	259	212	81.9
8月	86	0	272	206	75.7
9月	91	6	290	225	77.6
10月	92	2	277	238	85.9
11月	92	1	318	238	74.8
12月	92	0	261	203	77.8
1月	97	5	283	216	76.3
2月	97	1	318	238	74.8
3月	98	1	255	200	78.4
合計/平均		22	3265	2602	79.7

表2-6 グループ合計(週3回+週1回)

	登録数	増減	全登園日数	延べ登園数	出席率
4月	34	0	131	113	86.3
5月	34	0	191	156	81.7
6月	33	1	216	190	88.0
7月	38	5	194	155	79.9
8月	37	-1	199	150	75.4
9月	42	6	208	156	75.0
10月	43	2	196	164	83.7
11月	43	1	238	172	72.3
12月	42	-1	187	144	77.0
1月	46	4	201	149	74.1
2月	46	1	240	175	72.9
3月	47	1	172	131	76.2
合計/平均		19	2558	1855	78.5

表2-7 週1回重心児グループ

	登録数	新規児	全登園日数	延べ登園数	出席率
4月	3		9	5	55.6
5月	3		12	4	33.3
6月	3		12	8	66.7
7月	3		15	10	66.7
8月	4	1	10	7	70.0
9月	4		20	14	70.0
10月	4		16	10	62.5
11月	4		16	11	68.8
12月	5	1	15	13	86.7
1月	5		20	9	45.0
2月	5		20	9	45.0
3月	5		20	10	50.0
合計/平均		2	185	110	59.5

表2-8 個別療育

	登録数	療育予定枠	新規児	延べ登園数	出席率
4月	45	42		40	95.2
5月	45	66		58	87.9
6月	45	53		52	98.1
7月	45	50		47	94.0
8月	45	63		49	77.8
9月	45	62		55	88.7
10月	45	65		63	96.9
11月	45	64		55	85.9
12月	45	59		46	78.0
1月	46	62	1	59	95.2
2月	46	58		54	93.1
3月	46	63		59	93.7
合計/平均		707	1	637	90.1

表2-9 保護者面談実施数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
グループ児	32	6	3	6	1	6
個別児	3	0	2	1	1	4

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 (人)
グループ児	40	3	0	4	4	45	150
個別児	3	8	6	5	4	6	43

表2-10 保護者向け講演会

項 目	内 容
日時	H28年7月9日（土）10:00～12:00
場所	すこやか園作業室
講師	酒井康年氏（うめだ・あけぼの学園作業療法士）
テーマ	子どもの気になる行動の理解と支援ー感覚統合の観点からー
出席者	21名

関係資料4 地域活動支援センター 利用者の状況

表4-1-1 登録者、利用実績状況 H29. 3. 31現在

	新規	終了	登録者	前年実績	予定数	延べ人員	入浴
4月	0	0	20	168	179	154	101
5月	0	0	20	127	171	149	104
6月	0	0	20	155	195	160	112
7月	0	0	20	178	187	156	100
8月	0	0	20	116	161	147	106
9月	0	0	20	156	179	156	111
10月	0	0	20	153	188	168	115
11月	0	1	20	161	194	171	119
12月	0	0	19	128	155	130	92
1月	0	0	20	144	169	148	104
2月	0	0	20	165	170	139	100
3月	0	1	18	170	175	154	108
合計	0	2	18	1,821	2,123	1,832	1,272

表4-1-2

曜日別契約者、入浴者 H29. 3. 31現在

曜日	契約者数	入浴
月曜日	10	6
火曜日	9	6
水曜日	8	5
木曜日	8	6
金曜日	8	5
合計	43	28

表4-1-3 障害別利用者数 H29. 3. 31現在

	脳性麻痺	脳血管障害	特定疾患	筋ジス	脳外傷	その他	合計
男	4	2	0	0	2	2	10
女	3	3	1	0	0	1	8
合計	7	5	1	0	2	3	18

表4-1-4 身障手帳等級別 H29. 3. 31現在

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
男	8	2	0	0	0	0	10
女	2	5	1	0	0	0	8
合計	10	7	1	0	0	0	18

表4-1-5 療育手帳等級別 H29. 3. 31現在

	A 1	A 2	B 1	B 2	合計
男	3	1	1	1	6
女	5	0	0	0	5
合計	8	1	1	1	11

表4-1-6 障害程度区分 H29. 3. 31現在

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0	0	1	1	2	6	10
女	0	0	0	3	3	2	8
合計	0	0	1	4	5	8	18

表4-1-7 年齢層別 H29. 3. 31現在

	18~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~	合計
男	0	5	3	2	0	0	0	10
女	0	3	1	2	2	0	0	8
合計	0	8	4	4	2	0	0	18

表4-1-8 日常生活動作状況

H29. 3. 31現在

性別	項目	食事			排泄			オムツ				更衣			入浴		
		自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	あり	なし	夜間のみ	導尿	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助
男		5	1	4	4	0	6	5	5			3	1	6	2	2	6
女		4	3	2	1	2	5	5	2		1	1	2	5	0	2	6
合計		9	4	6	5	2	11	10	7	0	1	4	3	11	2	4	12

性別	項目	車椅子			歩行			椅座			立位			寝返り			
		不要	自立	一部介助	全部介助	独歩	一部介助	できない	自立	一部介助	できない	自立	一部介助	できない	自立	一部介助	全部介助
男		3	1	1	5	3	2	5	4	2	4	4	3	3	4	2	4
女		0	2	1	1	0	4	4	3	3	2	1	4	3	3	1	4
合計		3	3	2	9	3	6	9	7	5	6	5	7	6	7	3	8

表4-1-9 行事

日付	行事名	場所
4月2日～15日	バースデーカード作り	すこやか園
4月14日15日	平塚市春のてんそく (ソーレ平塚と共同出品)	平塚市役所
5月16日～6月3日	5月の創作企画 (デコパージュ石鹸作り)	すこやか園
6月30日～7月1日	夏のてんそく (ソーレ平塚と共同出品)	平塚市役所
6月13日～7月1日	創作 (シュレッダー紙で作る壁面作り)	すこやか園
7月4. 5. 11日	スヌーズレン外出	花菜ガーデン
7月21. 22日	夏祭り	すこやか園
7月21. 22日	夏祭り企画 (ハヤシライス作り)	すこやか園
10月24. 27. 28日 11月4. 8. 9日	日帰り旅行	横浜ズーラシア 宮ヶ瀬水の郷 ららぽーと海老名
10月13日～14日	平塚市秋のてんそく (ソーレ平塚と共同出品)	平塚市役所
10月18日	避難訓練 (利用者参加)	すこやか園
10月25日～30日	伊勢原市民文化祭	伊勢原市中央公民館
11月11日	インフルエンザ予防接種	すこやか園
12月3日	ふれあい福祉まつり (フェルトせっけんデコスーツ販売出品)	すこやか園
12月13. 16日	クリスマス会	すこやか園
12月13. 16日	調理 (ケーキデコレーション作り)	すこやか園
12月19日～21日	ゆず湯	すこやか園
1月4. 5日	新年会	すこやか園
1月18日～22日	伊勢原市福祉展	伊勢原市中央公民館
2月2. 3日	節分豆まき	すこやか園
2月14日	利用者・家族懇談会	すこやか園
3月～	創作 (バースデーカード作り)	すこやか園
その他、定例活動：創作 (フェルト手芸) (茶々のデコスーツ)、調理、スヌーズレン、書道、各種活動ミーティング		

表4-1-10 活動

活動内容	活動日
フェルト手芸	火 (AM) ・ 木 (AM)
プラ版製作	火 (AM)
スヌーズレン	月 (PM) ・ 木 (AM)
バルーンストレッチ	火 (AM)
書道	水 (PM)
エアクッション	金 (AM)
体操・ダンス	金 (AM)
茶々のデコスweets	水 (AM) 金 (PM)
個別活動：散歩、パソコン、音楽鑑賞、絵本の読み聞かせ、言語訓練、歩行訓練、車椅子自走訓練、ペグさし、卓上競技、ドリル、楽器演奏、彫金、園芸、塗り絵、折り紙、フェルトせっけん、ジグソーパズル等	

表4-1-11 PTによるリハビリテーション

内 容	対象人数
ストレッチ (拘縮予防)	14名
歩行訓練 (運動)	5名

表4-1-12 ボランティアの受け入れ

内 容	人数	活動日
書道	1名	水曜日

表4-2-1 関係機関との連携

機 関 名	内 容
JA訪問看護ステーション	利用者の健康状態の情報交換
ハーモニーケア訪問看護ステーション	利用者の健康状態の情報交換
いせはら訪問看護ステーション	利用者の健康状態の情報交換
いせはら居宅介護支援事業所	利用者の情報交換
居宅介護支援事業所きずな	利用者の情報交換
ケアマネのぞみ	利用者の情報交換
ケアステーションいたど	利用者の情報交換
ツクイ	利用者の情報交換
STサービス	利用者の情報交換
オンリーワンケアサービス	利用者の情報交換
平塚二葉会	利用者の情報交換
伊勢原市西部地区生活介護事業所ひびた	利用者の情報交換
泉心荘	利用者の情報交換
ソーレ平塚	作品展関係
地域作業所ドリーム	作品展関係
伊勢原協同病院	利用者の情報交換
木村義肢製作所	車椅子作製・修理
天本ブレース	補装具修理
ヘルスケア	入浴物品関係
いわしや西方医科器械	医療物品関係
宅配クック123	利用者のお弁当
伊勢原市社会福祉協議会	ボランティア募集依頼
伊勢原市障害福祉課	利用者の情報交換、相談、報告

表4-2-2 施設外部会議等

実施日	内 容	場 所	出席者
1 月 18 日	進路に関わる連絡会	平塚養護学校	勝山
2 月 3 日	事業所情報交換会	ソーレ平塚	勝山・春木
2 月 10 日	重心及び医療ケア支援NW会議	平塚養護学校	勝山
2 月 28 日	利用者ケア会議	利用者宅	勝山・小野田
3 月 2 日	新規利用者医療ケアに関する打ち合わせ	東海大学病院	勝山・重田
3 月 6 日	日中活動委員会	アガペセンター	春木

表4-2-3 施設外部研修等

実施日	内 容	場 所	出席者
7 月 6 日	障がい者事業所基本研修	神奈川県社会福祉会館	勝山
7 月 28 日	アサーション研修	神奈川県社会福祉会館	小川
11 月 10 日	福祉施設のためのリスクマネジメント研修	損保ジャパン	勝山
12 月 9 日	障害者差別解消法について	みどり園	中村
1 月 12 日	施設職員災害対応研修	神奈川県社会福祉会館	春木
2 月 7 日	高齢者障害者虐待防止講話会	伊勢原市民文化会館	小川

表4-2-4 実習生の受け入れ

実施日	学校	人数
9月26日～10月1日	東海大学 医学部	1名

関係資料5 生活支援センターの状況

表5-1-1 平成28年度 相談件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談者	本人	94	41	29	54	45	41	25	26	19	29	15	20	438
	家族	86	62	81	69	65	71	39	55	63	103	115	95	904
	関係機関	109	102	145	97	100	128	96	96	87	96	147	121	1,324
	その他	0	2	0	1	1	1	3	0	0	0	0	0	8
	合計	289	207	255	221	211	241	163	177	169	228	277	236	2,674
性別	男性	175	129	169	128	131	154	105	75	89	126	199	151	1,631
	女性	61	45	69	55	45	62	41	88	74	87	71	67	765
	合計	236	174	238	183	176	216	146	163	163	213	270	218	2,396
年齢	幼稚園・保育園	90	24	86	35	45	67	50	39	39	55	75	59	664
	未就学(その他)	52	42	23	31	42	36	22	33	43	79	99	47	549
	小学校	7	14	31	11	19	11	7	5	6	5	38	25	179
	中学校	2	5	12	12	7	7	3	3	1	5	8	6	71
	高等学校	3	2	0	0	1	6	0	4	7	7	14	7	51
	18歳以上	19	25	31	47	30	22	13	16	14	8	11	24	260
	40歳以上	50	58	48	28	32	55	44	57	52	54	22	47	547
	65歳以上	13	4	7	19	0	12	7	6	1	0	3	3	75
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	236	174	238	183	176	216	146	163	163	213	270	218	2,396
障害種別	身体障害	74	86	91	100	66	93	61	71	69	66	67	79	923
	知的障害	40	27	60	42	35	32	19	22	23	18	49	57	424
	重症心身障害	8	10	17	24	19	18	13	10	15	19	34	16	203
	精神障害	24	20	22	14	19	16	9	8	13	10	12	7	174
	発達障害	24	20	13	9	16	12	14	5	10	8	20	18	169
	高次脳障害	26	11	12	1	12	8	6	4	6	12	7	21	126
	その他	106	50	88	36	62	76	39	64	60	113	125	89	908
	合計	302	224	303	226	229	255	161	184	196	246	314	287	2,927

表5-1-2 平成28年度 相談内容・対応方法

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談内容	福祉サービス	166	122	162	138	115	153	97	107	123	138	190	171	1,682
	障害・病状	19	10	9	4	9	18	12	14	8	17	9	11	140
	健康・医療	5	10	12	14	10	12	6	6	3	12	4	6	100
	不安・情緒不安定	1	0	0	2	3	5	0	2	1	1	0	1	16
	保育・教育	4	0	6	9	18	8	2	13	9	26	24	2	121
	家族・人間関係	9	9	11	7	2	10	14	8	12	10	13	15	120
	家計・経済	3	12	13	3	5	0	10	4	0	2	3	0	55
	生活技術	19	7	21	4	13	9	5	7	4	4	2	1	96
	就労	6	2	1	1	1	1	0	1	1	2	2	1	19
	社会参加・余暇	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	4
	権利擁護	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	22	9	39
	その他	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	4
合計	236	174	238	183	176	216	146	163	163	213	270	218	2,396	
支援方法	訪問	29	24	31	45	11	33	14	32	26	22	49	41	357
	来所	67	31	29	21	41	30	19	25	33	67	59	42	464
	同行	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	1	9
	電話・FAX	36	25	35	31	30	32	22	34	33	21	39	31	369
	メール	0	3	4	0	0	3	2	10	3	9	5	3	42
	会議	1	3	8	3	3	3	4	7	0	3	1	9	45
	関係機関	103	86	131	82	90	115	85	53	68	91	115	91	1,110
	合計	236	174	238	183	176	216	146	163	163	213	270	218	2,396

表5-2-1 施設外部会議等

実施日	内 容	場 所	出席者
4月 22日	相談支援部会	伊勢原市役所	矢野・内藤
5月 13日	相談支援部会	伊勢原市役所	矢野
13日	相談支援事業検討ワーキング	伊勢原市役所	矢野
6月 10日	相談支援部会（事業所見学会）	貴峯社第2ワークピア 七沢更生ライトホーム カサ・デ・いせはら	矢野
20日	企画運営会議	伊勢原市役所	矢野
7月 5日	相談支援ネットワーク会議	二宮町民センター	矢野
12日	虐待防止ネットワーク実務担当者会議	伊勢原市青少年センター	矢野
14日	伊勢原市障がい者と暮らしを考える協議会	伊勢原市役所	矢野
15日	平塚養護学校市町別情報連絡会	平塚養護学校	矢野
21日	湘南西部圏域自立支援協議会	平塚保健福祉事務所	矢野
21日	障害者差別解消支援地域協議会	平塚保健福祉事務所	矢野
27日	相談支援部会	伊勢原市役所	矢野
27日	相談支援事業検討ワーキング	伊勢原市役所	矢野
9月 9日	重心・医療的ケア支援ネットワーク会議	平塚養護学校	矢野
20日	相談支援部会（事業所見学会）	伊勢原市役所	矢野
27日	企画運営会議	伊勢原市役所	矢野
10月 5日	伊勢原市障がい者と暮らしを考える協議会	伊勢原市役所	矢野
11日	こども支援部会（事業所見学会）	ファミリーキッズ伊勢原 めだかくらぶ	矢野・津野
20日	湘南西部圏域自立支援協議会	平塚保健福祉事務所	矢野
25日	相談支援部会	伊勢原市役所	矢野・津野
25日	相談支援事業検討ワーキング	伊勢原市役所	矢野・津野
11月 30日	相談支援部会（事業所見学会）	レインツリー伊勢原 アトリエ・ヴェルデ そよ風ハウス、クローバー	矢野・津野
12月 13日	相談支援ネットワーク会議	伊勢原市役所	矢野・津野
1月 18日	こども支援部会	伊勢原市役所	津野
18日	肢体不自由教育部門生徒の進路に関わる連絡会	平塚養護学校	矢野
24日	企画運営会議	伊勢原図書館	矢野
27日	相談支援部会	伊勢原市役所	矢野・津野
2月 3日	伊勢原市障がい者と暮らしを考える協議会	伊勢原市役所	矢野
10日	重心・医療的ケア支援ネットワーク会議	平塚養護学校	矢野
14日	相談支援部会	伊勢原市役所	矢野・津野
14日	相談支援事業検討ワーキング	伊勢原市役所	矢野・津野
16日	湘南西部圏域自立支援協議会	平塚保健福祉事務所	矢野
3月 7日	虐待防止ネットワーク会議	伊勢原シティープラザ	矢野
15日	相談支援部会	伊勢原図書館	矢野・津野

関係資料6 日中一時支援事業 利用者の状況

表6-1-1 登録者、利用実績状況 H29. 3. 31現在

	登録者	予定数	延べ人員	平均	開催数
4月	17	32	28	4	7
5月	17	26	23	3.2	7
6月	17	35	23	2.5	9
7月	17	45	33	3.6	9
8月	17	32	26	4.3	6
9月	17	31	27	3	9
10月	17	30	26	3.2	8
11月	17	30	24	3.4	7
12月	16	18	15	2.5	6
1月	16	24	13	2.1	6
2月	16	30	20	2.5	8
3月	16	29	27	3.3	8
合計	16	362	285	3.1	90

表6-1-2 障害別利用者数 H29. 3. 31現在

	脳性麻痺	水頭症	脳炎	低酸素脳症	白質形成不全	ダウン症	脳幹形性不全	ウェスト症候群	四肢麻痺	ヒトヘルペス脳症	合計
男	2			4		2	1	1			10
女		1	1	1	1				1	1	6
合計	2	1	1	5	1	2	1	1	1	1	16

表6-1-3 医療状況 H29. 3. 31現在

	吸引	酸素吸入	経管栄養	気管切開	発作
男	2		5		9
女	4	1	3	2	5
合計	6	1	8	2	14

表6-1-4 学齢 H29. 3. 31現在

	幼児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
男	4			1		1	3		1			1		11
女					1	1				1	1	1		5
合計	4	0	0	1	1	2	3	0	1	1	1	2		16

表6-1-5 研修・見学

実施日	内容	場所	出席者
10月27日	学校へ行く週間	平塚養護学校	米満・服部・行田・武田・勝山
2月23日	学校見学(食事場面)	平塚養護学校	米満・服部・行田・武田・勝山

表6-1-6 関係機関との連携・会議

実施日	内容	場所	出席者
6月20日	放課後支援事業所連絡会	平塚養護学校	勝山
2月22日	放課後支援事業所連絡会	平塚養護学校	勝山